

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()										
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()										
	2 目	事務局費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()										
実施計画掲載ページ		P 30	中 事 業	学校施設整備保全計画策定事業費													
事業コード		002-001-003-01352	事 業 名	学校施設整備保全計画策定事業													
目的及び事業内容		石巻市公共施設等総合管理計画に基づき、学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、施設に求められる機能・性能を確保するため、学校施設に係る個別施設計画として、「石巻市学校施設整備保全計画（以下「保全計画」）」を策定する。															
取組実績		<p>保全計画を策定するため、令和元年10月に計画策定支援業務契約を締結。学校施設の老朽化実態調査を行った。</p> <p>1 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R1予算額</th> <th>R1事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>12,494,000</td> <td>12,493,800</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,494,000</td> <td>12,493,800</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R1予算額	R1事業費	委託料	12,494,000	12,493,800	合計	12,494,000	12,493,800
内訳	R1予算額	R1事業費															
委託料	12,494,000	12,493,800															
合計	12,494,000	12,493,800															
成 果		<p>令和元年度は、学校施設の老朽化状況の把握をするため、学校施設台帳や工事履歴、耐震補強等の資料を活用しながら、現地調査及び施設管理者へのヒアリングにより劣化状況を調査し、構造躯体及び構造躯体以外の劣化状況の評価を行った。</p>															
成果に係る評価		<p>現地調査等により、各施設の劣化状況を把握することができた。この結果を踏まえ、トータルコストの縮減と予算の平準化を図りながら、整備水準の設定や施設整備の類型化などを行い、今年度末までの計画策定を目指していく。</p>															
(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳												
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	12,494,000		12,493,800					12,493,800									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																									
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																									
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																									
実施計画掲載ページ		P 24	中 事 業	教育指導奨励費																												
事業コード		002-001-002-00237	事 業 名	小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業																												
目的及び事業内容		<p>小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、各種大会へ出場する際の交通費、宿泊費の一部助成等により保護者負担を軽減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付について、平成23年度から文化活動と体育活動を一体化した。 ・平成29年度から、県大会及び東北大会50%、全国大会70%だった補助率を75%に改定した。 ・平成30年度から、地区大会と県大会以上に分かれていた体育活動の補助金を一本化した。 																														
取組実績		<p>補助金の交付</p> <p>音楽コンクール県大会以上に参加した小・中学校に対し交通費等の一部及び楽器輸送費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県大会参加回数 11回 (8校) ・東北大会参加回数 2回 (2校) ・補助金交付額 1,137,563円 <p>体育活動各種大会に参加した中学校に対し、交通費等の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区大会参加回数 70回 (19校) ・県大会参加回数 46回 (18校) ・東北大会参加回数 10回 (8校) ・全国大会参加回数 0回 (0校) ・補助金交付額 22,472,140円 																														
成 果		<p>音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校(補助件数)</td> <td>7校(10件)</td> <td>6校(11件)</td> <td>8校(13件)</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>780,790円</td> <td>726,640円</td> <td>1,137,563円</td> </tr> </tbody> </table> <p>体育活動における県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H29</th> <th>H30 (地区大会含む)</th> <th>R1 (地区大会含む)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校(補助件数)</td> <td>16校(54件)</td> <td>17校(140件)</td> <td>19校(126件)</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>6,143,009円</td> <td>24,450,615円</td> <td>22,472,140円</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H29	H30	R1	補助対象校(補助件数)	7校(10件)	6校(11件)	8校(13件)	補助金交付額	780,790円	726,640円	1,137,563円	主な指標項目	H29	H30 (地区大会含む)	R1 (地区大会含む)	補助対象校(補助件数)	16校(54件)	17校(140件)	19校(126件)	補助金交付額	6,143,009円	24,450,615円	22,472,140円
主な指標項目	H29	H30	R1																													
補助対象校(補助件数)	7校(10件)	6校(11件)	8校(13件)																													
補助金交付額	780,790円	726,640円	1,137,563円																													
主な指標項目	H29	H30 (地区大会含む)	R1 (地区大会含む)																													
補助対象校(補助件数)	16校(54件)	17校(140件)	19校(126件)																													
補助金交付額	6,143,009円	24,450,615円	22,472,140円																													
成果に係る評価		<p>補助が必要な学校に補助することで保護者の負担軽減が図られた。今後も、小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、本事業を継続して実施することが必要である。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	25,000,000		23,609,703					23,609,703																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																					
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																					
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																					
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業	奨学資金費																								
事業コード		002-001-003-00230	事 業 名	奨学金貸与事業																								
目的及び事業内容		石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学資を貸与し、有能な人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償還																										
取組実績		<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会で14名の新規採用者を決定した。 平成27年度より大学生、専修学校専門課程、高等専門学校第4学年以上の貸与額を35,000円から45,000円に変更した。</p> <p>(2) 貸与区分（月額）</p> <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> <tr> <td>高校在学</td> <td>15,000円</td> <td>高専在学</td> <td>第3学年まで 第4学年以上</td> <td>15,000円 45,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>45,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td></td> <td>45,000円</td> </tr> </table> <p>(3) 貸与者数 72名 (4) 貸与金額 37,440,000円</p>							区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 第4学年以上	15,000円 45,000円	大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）		45,000円						
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																									
高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 第4学年以上	15,000円 45,000円																								
大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）		45,000円																								
成 果		<p>有能にも関わらず経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <table border="1"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> <tr> <td>奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)</td> <td>80名(27名)</td> <td>91名(26名)</td> <td>72名(14名)</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>39,000,000円</td> <td>46,395,000円</td> <td>37,440,000円</td> </tr> <tr> <td>滞納者数</td> <td>223人</td> <td>203人</td> <td>174人</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>66,779,000円</td> <td>65,311,600円</td> <td>59,865,600円</td> </tr> </table>							主な指標項目	H29	H30	R1	奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	80名(27名)	91名(26名)	72名(14名)	貸与金額	39,000,000円	46,395,000円	37,440,000円	滞納者数	223人	203人	174人	滞納額	66,779,000円	65,311,600円	59,865,600円
主な指標項目	H29	H30	R1																									
奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	80名(27名)	91名(26名)	72名(14名)																									
貸与金額	39,000,000円	46,395,000円	37,440,000円																									
滞納者数	223人	203人	174人																									
滞納額	66,779,000円	65,311,600円	59,865,600円																									
成果に係る評価		<p>奨学金の貸与を希望する生徒及び学生に対し、公平な審査を経たうえでニーズに対応できたと考えられる。今後も市報、ホームページへの掲載、管内学校への周知などにより募集を行い、希望者に対し施策を実施していくこととする。</p> <p>償還については、滞納者の本籍地照会等住所追跡による所在確認や面談の強化により、前年度より滞納額を減らすことができた。引き続き滞納者の状況を把握し、効果的な滞納対策に努める。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	40,485,000	40,077,696			37,440,000	2,637,696																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																					
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																					
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																					
実施計画掲載ページ		P 23	中 事 業	いじめ・生徒指導問題対策費																								
事業コード		002-001-002-00235	事 業 名	いじめ・生徒指導問題対策事業																								
目的及び事業内容		いじめやその他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。																										
取組実績		<p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施</p> <p>2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決に係る研修会、講演会の実施</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布</p> <p>4 「St o p いじめ! 石巻市子どもサミット」の実施</p>																										
取組実績		<p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施</p> <p>市内のいじめの諸問題、生徒指導問題について、各3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決に係る研修会の実施</p> <p>(1) 生徒指導上の基本である学級づくり、人間関係づくりについての講演会を市内教職員を対象に実施した。</p> <p>(2) 裁判における判例からいじめ問題を考える講演会を、市内教職員を対象に大学教授を招いて開催した。</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布</p> <p>いじめ防止標語(小)、いじめ防止メッセージ(中・高)を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「St o p いじめ! 石巻市子どもサミット」は、市内全中学校の代表が参加し、いじめの防止について話し合いを行った。</p> <p>5 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、情報交換、重大事態が起きた際の対応検討等を行った。</p>																										
成 果		<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>いじめの認知件数</th> <th>解消件数</th> <th>解消率</th> </tr> <tr> <td>小 学 校</td> <td>263件</td> <td>216件</td> <td>82.1%</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>82件</td> <td>48件</td> <td>58.5%</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>346件</td> <td>264件</td> <td>76.3%</td> </tr> </table> <p>※上記は文部科学省実施の令和元年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査による。</p>							区 分	いじめの認知件数	解消件数	解消率	小 学 校	263件	216件	82.1%	中 学 校	82件	48件	58.5%	高 校	1件	0件	0%	計	346件	264件	76.3%
区 分	いじめの認知件数	解消件数	解消率																									
小 学 校	263件	216件	82.1%																									
中 学 校	82件	48件	58.5%																									
高 校	1件	0件	0%																									
計	346件	264件	76.3%																									
成果に係る評価		<p>いじめの認知件数については各学校において、意識を高くして児童生徒の見守りし、組織的に早期発見、早期解決に向けて取り組んだ成果であると捉えている。解消率は増加しており、学校の丁寧な見守りと指導の継続が結果として表れている。</p> <p>今後も、未然防止に向けての取組が必要であり、いじめについては積極的に認知し、学校全体で組織的に解決、解消に努めることが大切である。SNS等のネットトラブルのように、表面化していない問題も懸念される。児童生徒同士の人間関係づくり(石巻市子どもの未来づくり事業の取組)の推進や道徳教育の充実に全力で取り組むよう各学校に働き掛ける。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	1,619,000	472,558				472,558																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()											
	1 項	教育総務費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()											
	3 目	教育指導奨励費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()											
実施計画掲載ページ		P 35	中 事 業		外国青年英語指導費													
事業コード		002-003-001-00225	事 業 名		国際理解教育推進事業													
目的及び事業内容		幼稚園、小・中学校及び高等学校におけるALT（外国語指導助手）を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。 1 市立中学校、高等学校における外国語教育の充実 2 市立小学校における外国語活動の充実 3 市立幼稚園、こども園、けやき教室における国際理解教育の推進																
取組実績		1 市立中学校・高等学校 市立全ての幼・小・中・高を14のブロックに分け、それぞれに1名ずつALTを配置した。2名のJET-AALTと12名の民間ALT（業務委託）を配置しており、JETプログラムのALTについては、部活動等課外活動にも意欲的に取り組み、授業以外の場でも生徒と積極的に接した。ALT配置率は中学校で約30%、高校で約20%となっている。 また、学校での業務のほか、広域行政事務組合「おにぎり大使派遣事業」の英語事前研修の講師を務めるなど、広く地域の国際理解や国際交流に寄与している。 2 市立小学校 中・高学年で行われている外国語活動の時間に合わせてALTを配置した。学級担任や外国語担当教員と共同し、児童が楽しみながら外国語を使用し、コミュニケーション能力の素地を養えるような授業づくりに努めた。一学級のALTの配置率は小学校中学年で75%、高学年で53%となっている。 3 市立幼稚園・けやき教室 月1回程度の配置で、英語を使った活動等を行い、国際理解教育の充実を図った。 ※JETプログラム…「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称 外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下に実施。																
成 果		ALTを幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校・けやき教室に配置し、外国語活動や外国語教育、国際理解教育を推進することができた。引き続き高い水準で授業を「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できており、外国語や国際理解に関する学習に対するモチベーションを高めることに大いに貢献している。 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> <tr> <td>ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）</td> <td>82.9%</td> <td>78.1%</td> <td>82.3%</td> <td>89.2%</td> </tr> </table>							主な指標項目	H28	H29	H30	R1	ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	82.9%	78.1%	82.3%	89.2%
主な指標項目	H28	H29	H30	R1														
ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	82.9%	78.1%	82.3%	89.2%														
成果に係る評価		各校に1名のALTを配置し、児童生徒が常にネイティブスピーカーの英語に触れる学習環境を作っていくことが望ましいが、予算や人員確保の面からは難しい。しかし、グローバル化の進展や小学校高学年の英語の教科化等に対応するために、学校のクラス数や児童・生徒数、地理的条件等に応じたブロックの見直しによる効率的な配置を今後も目指していく。 授業では担任教員とのTT（ティームティーチング）により、子どもたちが異文化への興味・関心を高め、身の回りにある様々なリソースを活用して自ら英語力を高めていこうとする意欲を培うことで国際理解教育の充実を図っていく。																
（単位：円）																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳													
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
	64,031,795		63,921,442					63,921,442										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 23	中 事 業		子どもの未来づくり事業費			
事業コード		002-001-002-00232	事 業 名		石巻・子どもの未来づくり事業			
目的及び事業内容		石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒の学力の定着と向上を通じ、未来を生き抜く力の育成を図る。 1 子どもの未来づくり推進委員会の設置 2 小・中学校長会との連携による「子どもの未来づくり推進地区連絡協議会」の設置 3 学習指導の改善を図る研修会の開催						
取組実績		1 子どもの未来づくり推進委員会の設置取組 (1) 学力調査結果の分析等に基づき、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成の在り方等について検討し、中学校区ごとに家庭学習の進め方について、リーフレットを作成し働き掛けた。 (2) 子どもの未来づくりフォーラムを1回、子どもの未来づくり講演会・実践報告会を1回実施し、児童生徒、教員がともに話し合い、子どもたちの志を高めた。 (3) 家庭学習・生活習慣リーフレットの内容及び活用状況を検証し、内容を改善していくことを確認した。 (4) 子どもの未来づくり推進地区・実践校の取組状況や成果を「事業報告書、実践事例集」にまとめ活用を図った。 (5) 志を強くもって生き抜くための具体的な実践として、小・中学校が連携して運動会（体育祭）や体験活動の交流会等を実施した。 2 小・中学校との連携及び子どもの未来づくり推進地区の取組 (1) 学力向上のため、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成等の実践研究を実施した。 (2) 地区内での情報共有や共同実践について話し合い、講演会や研修会を実施した。 (3) 実践報告会において、各地区の取組について発表し、情報を共有した。 3 教員の指導力向上、学習指導の改善を図る取組 (1) 推進モデル校を2校定め、大学教授を招いての学習指導の改善を図る研修会を14回実施した。						
成 果		1 8地区内での合同の研修会や授業参観を実施し、小中だけではなく、小小の連携も図られ、地区内での共通理解が深まり、9年間を見通した指導が効果的になった。 フォーラムで話し合った、小学校「自分の良さが発揮できる学校」、中学校「みんなの良さが生かされる学校」のキャッチフレーズを全校に周知した。中学生のアンケート結果では、「自分の良さや個性があると感じている」と答えた生徒が増えた。 2 各校の小中連携主任が中心となり、それぞれの地域の実態に応じた小中の連携が図られた。 3 学習指導の改善を図る研修会に基づく取組は、市内全ての小・中学校で実践され、子どもの未来づくり実践報告会で、モデル校の取組が発表され、各学校の参考になった。						
成果に係る評価		年14回実施している「学習指導の改善を図る研修会」の内容が全小・中学校で実践され更に推進された。小・中学校で、教員が互いに授業参観や授業検討会等を実施し、子どもたちの主体的な学びを目指す授業改善が行われた。また、家庭学習カードの活用やリーフレット「5つのトライ」を小学校入学児童に配布し、家庭学習の習慣の形成についても、小中9年間を見通して地区ごとに実践し、児童生徒対象のアンケートでも家庭学習の定着率が向上している。 人間関係づくりを基盤にした授業の改善は、児童生徒の学びの育成に効果的であり、子どもの未来づくり実践報告会において、成果があった取組を全小・中学校で共有し、さらに充実した実践に結びつける必要がある。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	5,340,000		4,796,252				1,000,000	3,796,252

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																	
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	適応指導教室運営費																				
事業コード		002-001-002-00227	事 業 名	適応指導教室運営事業																				
<p>目的及び事業内容</p> <p>不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p>																								
<p>取 組 実 績</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <p>通所児童生徒や保護者との定期的教育相談や懇談会を行ったほか、機会を捉えての相談等も行い児童生徒の悩み等に対し、随時受容的に対応した。また、在籍校との情報共有を積極的に行った。</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導</p> <p>(1) 通所児童生徒の実態や学年を踏まえ、個に応じた指導・支援を行った。</p> <p>(2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、懇談会や適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属意識の育成を図った。</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p> <p>絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、清掃活動等の体験活動を通して仲間とともに活動する楽しさや一体感の醸成が図られた。</p>																								
<p>成 果</p> <p>個に応じた学習支援により、学習することの楽しさや自己有用感を味わわせることができた。また、様々な体験活動を通して仲間とともに活動することによる一体感を醸成したり、他者とのコミュニケーション能力を高めたりしながら、適応指導教室に通所することによって自信をもつことができた児童生徒がいた。また、懇談会の開催で、保護者や在籍校と密に連携を図ることにより、児童生徒の些細な変化に迅速に対応することができた。適応指導教室の親身な相談活動によって、再登校の意欲を高め、部分登校や再登校（学校復帰）を果たした生徒もいた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数</td> <td>89件</td> <td>83件</td> <td>49件</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の再登校率</td> <td>12.5%</td> <td>15.8%</td> <td>13.6%</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の部分登校率（再登校者を含む）</td> <td>75.0%</td> <td>78.9%</td> <td>77.2%</td> </tr> </tbody> </table>									主な指標項目	H29	H30	R1	不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	89件	83件	49件	通所児童生徒の再登校率	12.5%	15.8%	13.6%	通所児童生徒の部分登校率（再登校者を含む）	75.0%	78.9%	77.2%
主な指標項目	H29	H30	R1																					
不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	89件	83件	49件																					
通所児童生徒の再登校率	12.5%	15.8%	13.6%																					
通所児童生徒の部分登校率（再登校者を含む）	75.0%	78.9%	77.2%																					
<p>成果に係る評価</p> <p>サポートハウススーパーバイザーの的確な調整により、「石巻市子どものサポートハウス」との連携が図られ、それぞれの特徴を生かした役割に合った対応ができた。年度末の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、相談件数が減少したものの、これまでに登校できなかった児童生徒が通所に至るなどの実績が功を奏し、通所人数は高止まりとなっている。一方で、保護者の協力を得られず体験通所につなげることが難しいケースや発達に障害をもつケースへの対応が課題である。今後も心のサポーターによる訪問支援などの連携を継続し、きめ細やかな支援の強化とともに、適応指導教室から学校復帰に結びつける効果的な運用について、個に応じた対応を図っていく。</p>																								
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	5,296,000		5,155,076					5,155,076																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 23	中 事 業	特別支援教育事業費				
事業コード		002-001-002-00228	事 業 名	特別支援教育支援員配置事業				
<p>目的及び事業内容</p> <p>通常の学級に在籍している発達障害がある児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>1 小・中学校への特別支援教育支援員の配置</p> <p>2 当該児童生徒への日常生活支援及び学習指導補助</p>								
<p>取 組 実 績</p> <p>1 支援員の配置状況</p> <p>市内小・中学校 40校に85人配置（平成26年度 31校 55人、平成27年度 28校 55人、平成28年度 30校 76人、平成29年度 31校 79人、平成30年度 35校 82人）</p> <p>石巻小、住吉小、湊小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、真山小、開北小、万石浦小、大街道小、中里小、鹿妻小、飯野川小、大谷地小、二俣小、雄勝小、大淵小、須江小、北村小、前谷地小、和測小、鹿又小、中津山第一小、中津山第二小、桃生小、北上小、大原小、石巻中、住吉中、門脇中、湊中、蛇田中、山下中、青葉中、河南東中、桃生中、北上中</p> <p>2 通常の学級における当該児童生徒への支援</p> <p>本人が個別の支援を必要としており、校内就学支援委員会等で支援の必要性があると認めた児童生徒について支援員が支援を行っている。支援の内容は、特別支援教育コーディネーターや担任の指示を受けて進めている。</p> <p>特別支援教育支援員の声掛けや安全の見守りを必要とする児童生徒が増えている。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会の実施</p> <p>年度初めに市教委担当者を講師として「特別支援教育支援員としての心構え」の研修を行い、8月に生涯発達支援 代表：桜井育子氏を講師として「一人一人の個性を生かす生涯発達支援」をテーマに研修会を行った。疑似体験やワークショップを取り入れ、児童生徒理解を深め、適切な支援を考えることができるように進めた。</p>								
<p>成 果</p> <p>特別支援教育支援員を必要とする学校が増加傾向にある。支援員の見守り等が必要な児童は296名（前年度223名）、生徒は36名（42名）であった。</p> <p>中学校においては、支援員を必要とする生徒の困難さが複雑化、固定化していることが多く、配置を求める中学校が増えている現状である。</p> <p>そこで、増員した3名を新たに中学校に配置することにより、困難さが見過ごされてしまいがちな生徒の姿を把握したり、教室を離れてクールダウンする生徒に寄り添ったりすることができるようになった。</p> <p>また小学校においては、不注意傾向の強いADHDや人とのかわりが苦手な自閉傾向等の児童に支援員を配置することにより、学習が中断することがなくなり、すべての児童が安心して学べる環境が整ってきている。</p> <p>現状として、配置希望に対しすべて対応できている訳ではないが、支援員の配置により、学校が適時適切に児童生徒に支援できる体制を整えることができている。</p>								
<p>成果に係る評価</p> <p>令和元年度の支援員配置希望に対する配置率は48.9%で前年度の45.3%より高くなった。支援員を必要とする児童生徒に対する配置は十分ではないが、各学校の支援員配置に対する満足度は高い。支援員を児童生徒に対する固定配置にするのではなく、必要場面で効果的に活用する形をとる学校が増えてきている。</p> <p>特別支援教育コーディネーターを中心に、教員と支援員が対象となる児童生徒について話し合う体制整備も進み、連携した対応を取ることができるようになってきている。</p>								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	90,733,205		90,438,911					90,438,911

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																			
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																			
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																			
実施計画掲載ページ		P24	中 事 業	定住外国人就学支援事業費																						
事業コード	002-001-002-00238	事 業 名	定住外国人就学支援事業																							
目的及び事業内容	石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を市立小中学校において円滑に受け入れるため、外国語を話すことができる定住外国人就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートを行う。																									
取組実績	<p>支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる定住外国人就学支援員を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数(校数)</td> <td>6人(5校)</td> <td>7人(6校)</td> <td>7人(6校)</td> <td>7人(5校)</td> <td>9人(5校)</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>支援を必要とする児童生徒の母国語は、中国語、ベンガル語、モンゴル語、英語である。ベンガル語、モンゴル語に対応できる人材が見つからないため、ベンガル語を母国語とする児童には英語による支援を行った。モンゴル語を母国語とする児童に対しては、当該校が県に外国人等日本語指導非常勤講師の派遣を申請し、6月より配置となり、その非常勤講師を中心に支援を行った。</p>								主な指標項目	H27	H28	H29	H30	R1	支援を必要とする外国籍の児童生徒数(校数)	6人(5校)	7人(6校)	7人(6校)	7人(5校)	9人(5校)	配置した支援員数	6人	6人	5人	4人	5人
主な指標項目	H27	H28	H29	H30	R1																					
支援を必要とする外国籍の児童生徒数(校数)	6人(5校)	7人(6校)	7人(6校)	7人(5校)	9人(5校)																					
配置した支援員数	6人	6人	5人	4人	5人																					
成 果	令和元年度は、支援を必要とする児童生徒9人のうち、5人の児童生徒（市立幼稚園1人、小学校2人、中学校2人）に対し、支援員をそれぞれ配置することにより、学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。併せて、当該学校や担当教員への支援の役割も担った。																									
成果に係る評価	ベンガル語、モンゴル語を母国語とする児童生徒への支援員の確保ができなかった。今後も支援が必要な外国籍の児童生徒が増えてくることが予想されるので、宮城県国際化協会等の関係機関との連携強化や、ハローワークへの求人等による人材確保で支援が必要な児童生徒のために確実に配置することが必要である。																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	3,181,000	3,043,200				3,043,200																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																
実施計画掲載ページ		P24	中 事 業	学校図書館担当配置事業費																			
事業コード	002-001-002-01076	事 業 名	学校図書館担当職員配置事業																				
目的及び事業内容	<p>各校の図書館担当教諭と協働し、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資する。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置 2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施</p>																						
取組実績	<p>平成28年度から、学校司書の配置をモデル校において開始した。令和元年度は配置校数を拡大し配置を行った。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>学 校 数</td> <td>6(小4・中2)</td> <td>12(小8・中4)</td> <td>24(小15・中9)</td> <td>36(小27・中9)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施 市図書館司書や外部支援団体の司書を講師とした研修会の開催や県図書館等講習会への参加により、技能向上に努めた。 内容：初任者研修2回（4日間、1日）、全体研修（実技、情報共有等）2回（各1日） 県等外部の研修会、研究会への参加3回（各1日）</p>								年 度	H28	H29	H30	R1	人 数	3	6	12	12	学 校 数	6(小4・中2)	12(小8・中4)	24(小15・中9)	36(小27・中9)
年 度	H28	H29	H30	R1																			
人 数	3	6	12	12																			
学 校 数	6(小4・中2)	12(小8・中4)	24(小15・中9)	36(小27・中9)																			
成 果	<p>1 既配置24校に加え、新たに12校の学校に学校図書館担当職員（学校司書）を配置することができた。</p> <p>2 初任者研修により基礎的知識の習得のほか、全体研修での図書紹介POP作成などの技術や、外部研修会での実践事例を学ぶことなどにより、学校司書の資質向上につなげることができた。</p> <p>3 学校司書の配置により図書館機能が向上し、前年度より図書の貸出数を増やすことができた。 ■図書貸出実績（H28～H30年度既配置24校。R元年度新規配置校は前年実績がないため除く） H30年度 70,777冊 R1年度 79,796冊</p>																						
成果に係る評価	未整理だった図書の分類整理をはじめ、図書カードの整備、定期的な壁面掲示物の更新や推奨コーナーの設置、授業で使用する図書の準備など、学校司書の取組により図書館機能が向上し、全体の児童生徒の利用貸し出し数の増加や、図書館担当教諭の業務軽減につなげることができたと考えられる。今後も学校図書館に対し求められる3つの役割「①読書活動の拠点となること（読書センター）」「②授業に役立つ資料を備え、学習支援を行うこと（学習センター）」「③情報活用能力を育むこと（情報センター）」が十分に果たせるよう、引き続き学校司書の能力の向上を図るとともに配置校の拡大に努める。																						
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	14,208,000	13,771,381				13,771,381																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 36	中 事 業	サイエンスラボ事業費				
事業コード		002-003-001-01138	事 業 名	サイエンスラボ事業				
目的及び事業内容		児童生徒が科学への興味・関心を持ち、自ら自然を調べようとする態度や能力の育成を目指すとともに、教員の理科指導力の向上、石巻市の理科教育の充実を図る。 1 科学巡回教室の実施 2 教材・教員の開発及び教員への提供 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 4 「親と子の科学教室」の実施 5 企業や研究機関との連携						
取組実績		1 科学巡回教室の実施 「原子・分子の学習」、「宇宙の学習」、「科学実験」、「ものづくり」等を行い、市内22小学校、2中学校、3幼稚園で実施した。 2 教材・教員の開発及び教員への提供 原子・分子の模型の作製や太陽系の惑星の大きさを示す模型の作製を行い科学巡回教室で活用した。 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 「科学巡回教室」で学校を訪問した際に、担当教師と情報交換を行った。また、教員向け研修会を7月に実施し、身近な昆虫の模型づくりを行う体験講座を実施した。 4 「親と子の科学教室」の実施 生涯学習課「まちなか実験室」と連携し、3回実施した。 5 企業や研究機関との連携 (1) パナソニック㈱ 次世代育成プログラムとして、7小学校でLED工作教室を実施した。						
成 果		1 市内小学校に加え、中学校、幼稚園についても幅広く科学巡回教室を開催した。分かりやすく楽しいプログラムを作成し、事後アンケートでは「楽しかった」96.9%、「分かった」96.8%と肯定的な意見が多かった。 2 原子・分子の模型は、子どもたちにその世界をイメージさせるのに有効であり、太陽系の惑星の模型は、地球との距離をイメージさせるのに役立った。 3 教員向け研修会として、塩釜市の教員を講師に迎え、小学1年生を対象とした昆虫の模型づくりを行った。児童の興味を引き付けるヒントを得られる研修となった。 4 サイエンススーパーバイザーは、地域の要請に応じて科学イベントを行い、科学への興味・関心を高めることができた。 5 LED工作教室では、オリジナルランプづくりを通して、ものづくりの楽しさを実感するとともに環境への意識を高めることができた。						
成果に係る評価		○本事業4年目となり、その趣旨や内容が各学校や関係機関に浸透し、各方面での活用が図られた。科学巡回教室では、小学校に加え、中学校や幼稚園でも実施した。今後も内容やプログラムを検討・充実させていく必要がある。 ○2人のサイエンススーパーバイザーが見通しを持って業務に従事している。教材教具の開発や教員への相談活動、研修会については、引き続き事業内容の充実に努めていく。 ○企業や関係機関、他課との連携により、事業に広がりや深まりを持たせることができた。今後も継続して連携し、子どもたちに科学や自然の魅力を伝えるとともに、理科教育の充実に資する取組を展開していく。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,188,000		5,061,075					5,061,075

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 節			()	
	7 目	東日本大震災関係費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	学び支援コーディネーター等配置事業費				
事業コード			事 業 名	学び支援コーディネーター等配置事業				
目的及び事業内容		東日本大震災により、地域コミュニティの崩壊や仮設住宅居住など環境が変化し、教育環境、特に家庭学習の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い、児童生徒に基礎基本を確実に定着させ、学力の全体的な底上げを図るもの。 1 地域に必要な学習の場をコーディネートする「学び支援コーディネーター」の配置 2 児童生徒の学習支援や保護者の学習相談等に携わる「学び相談員」「学び支援員」の配置 3 長期休業中と平日の放課後の学習支援のために学習の場・機会の提供						
取組実績		1 「夏休み学び教室」の開催 【会場：宮城県石巻工業高等学校】 (1) 開催日時 令和元年8月7日～9日 9:30～12:00 (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生 (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・児童生徒、保護者の希望者に学習相談を行った。 2 「放課後学び教室」の開催 【会場：市内各小中学校の教室等(小学校17校、中学校10校)】 (1) 開催日時 令和元年5月下旬～令和2年2月末 15:00～17:00 ※学校の実情に応じて計画を立てて学習支援を実施した。 (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生 (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。						
成 果		1 家庭学習が思うようにできないという児童生徒や保護者の思いに応えることができた。 <夏休み学び教室> 実施回数：6回(小学生 3回、中学生 3回) 参加者数：171名(小学生 140名、中学生 31名 延べ人数) 学び相談員・支援員：62名 高校生ボランティア：31名(延べ人数) <放課後学び教室> 実施回数：1,106回(小学生 865回、中学生 241回) 参加者数：21,907名(小学生 19,418名、中学生 2,489名 延べ人数) 学び相談員・支援員：2,145名(延べ人数) 2 夏休み学び教室は、参加した多くの児童生徒とその保護者に好評であり、「分かりやすく教えてもらってよかった」「苦手な所ができるようになり、うれしかった」「来年も参加したい」などという声が多く寄せられた。また、地元高校生のボランティアが参加したことで、児童生徒は気軽に質問などをしながら、意欲的に学習している姿が見られた。 3 家庭では十分に学習できなかった児童生徒も、放課後学び教室に参加することで学習習慣が身に付き、学習への自信と意欲をもつようになっている。アンケートでは参加した児童生徒のうち、8割以上が「主体的に学習に取り組んだ」「楽しく学ぶことができた」と肯定的な回答をしている。 4 学び相談員や支援員が児童生徒一人一人を理解し、温かく学習を見守り、困っているときには適切に対応したことで、児童生徒の自己肯定感を高めた。 5 放課後学び教室は、小学校17校、中学校10校で開設し、昨年度との比較で小・中学校ともに減少している。						
成果に係る評価		児童生徒アンケートや保護者アンケート、学校からの報告等からは、本事業が適切かつ効果的に実施され、成果を上げていることが読み取れた。今後も、本事業の趣旨を踏まえて実施することで、学校や児童生徒、保護者の要望や期待に応えることができるものと考えられる。 夏休み学び教室は、送迎等の課題があり参加を見送るケースもあるため、それを補う形で地区や学校において「夏休み学習会」を開催している。令和元年度は地区5小学校5中学校で開催された。平成30年度と比較すると小学校で1校減であった。「被災の影響」が開設条件となっているので増加はしない傾向にある。 中学校における相談員の確保や適切な配置が課題であるが、市報による広報、相談員同士のネットワーク、学び支援コーディネーターによるアプローチ等、様々な手段を講じて対応した。						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	7,231,000		6,450,270		6,450,000			270

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																										
	1 項	教育総務費				(1)	未来の人を育てる																										
	7 目	東日本大震災関係費				(3)	子どものケアの実施																										
実施計画掲載ページ		P214	中 事 業		スクールカウンセラー配置事業費																												
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名		スクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																												
目的及び事業内容		<p>カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施 3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p>																															
取組実績		<p>1 スクールカウンセラーの配置（任用は宮城県） 県外スクールカウンセラーや新規を含め、全小中学校に配置した。</p> <p>2 カウンセラーの配置状況 (1) 1人あたり 中学校各校年間20～40回、小学校各校年間12～40回 (2) 1回あたりの時間 6～8時間</p> <p>3 カウンセラーの活動内容 面談 カウンセリング研修等の実施 カウンセリングルームの環境整備 各学級巡回 各種ケース会議 おたよりの作成 等</p> <p>※3月の臨時休業期間中は、保護者からの相談件数が多くあり対応した。</p>																															
成 果		<p>スクールカウンセラーを配置することにより、児童生徒、保護者、教職員が相談できる体制が整備されつつある。それが相談につながっており、震災後の心のケアも含め、学校や家族の問題等の解決の一助としての役割を担っている。</p> <table border="1"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>6,492件</td> <td>5,740件</td> <td>6,304件</td> <td>6,192件</td> <td>5,376件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>7,657人</td> <td>6,399人</td> <td>7,027人</td> <td>6,706人</td> <td>6,157人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">R1相談人数割合</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>67.7%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>17.2%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>15.1%</td> </tr> </table>						主な指標項目	H27	H28	H29	H30	R1	相談件数	6,492件	5,740件	6,304件	6,192件	5,376件	相談人数	7,657人	6,399人	7,027人	6,706人	6,157人	R1相談人数割合		児童生徒	67.7%	教職員	17.2%	保護者	15.1%
主な指標項目	H27	H28	H29	H30	R1																												
相談件数	6,492件	5,740件	6,304件	6,192件	5,376件																												
相談人数	7,657人	6,399人	7,027人	6,706人	6,157人																												
R1相談人数割合																																	
児童生徒	67.7%																																
教職員	17.2%																																
保護者	15.1%																																
成果に係る評価		<p>平成29年度から全小中学校にスクールカウンセラーを配置している。相談活動のみならず、配置校内での情報交換やケース会議、教職員向けの研修会、相談しやすい環境づくり等も実施し、積極的な生徒指導に生かすことができた。諸問題の未然防止と早期対応、震災後の心のケアの面からも、スクールカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが引き続き重要である。ほとんどの学校から配置継続の要望が出ていることも受け、県に有資格者による継続配置を求めている。</p>																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	530,000	384,929			384,929																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	1 項	教育総務費				(1)	未来の人を育てる																														
	7 目	東日本大震災関係費				(3)	子どものケアの実施																														
実施計画掲載ページ		P214	中 事 業		スクールソーシャルワーカー配置事業費																																
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名		スクールソーシャルワーカー配置事業																																
目的及び事業内容		<p>小・中学校及び高等学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。</p> <p>1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）に対して面談などの働きかけを行う。 2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークを構築し、連携や調整に努める。 3 小・中学校及び高等学校において、校内で支援体制やチーム体制を整備することを支援する。 4 小・中学校及び高等学校の教職員・保護者への相談や研修会等での啓発活動・情報提供に努める。</p>																																			
取組実績		<p>1 スクールソーシャルワーカーについて（令和元年度6名配置） 児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市の相談機関などの関係機関と連携し対応した。また、震災後の児童生徒の心のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーや児童精神科医とも連携し、専門的な見地をもとにした適切な対応を働きかけた。 3月の臨時休業時は、学校で情報交換やケース会議、継続児童生徒に電話相談を行った。</p> <p>2 6名の配置状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>拠点校</td> <td>勤務時間、日数</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>石巻小、二俣小、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週2.5日</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>向陽小、青葉中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週1.5日</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>万石浦中、桃生中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>渡波中、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>桜坂高校</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> </table> <p>3 勤務総日数延べ470日</p> <p>4 連携した機関：保健・医療の関係機関（63件）、児童家庭福祉の関係機関（111件）、教育支援センター等の学校外の教育機関（12件）等、その他の機関（111件）合計297件</p>							拠点校	勤務時間、日数	1	石巻小、二俣小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2.5日	2	向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日	3	石巻市教育委員会	1日 6時間、週1.5日	4	万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日	5	渡波中、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2日	6	桜坂高校	1日 6時間、週1日									
	拠点校	勤務時間、日数																																			
1	石巻小、二俣小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2.5日																																			
2	向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日																																			
3	石巻市教育委員会	1日 6時間、週1.5日																																			
4	万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日																																			
5	渡波中、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2日																																			
6	桜坂高校	1日 6時間、週1日																																			
成 果		<p>1 スクールソーシャルワーカーの業務内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。</p> <p>2 学校、適応指導教室、福祉部関係課、国府台病院児童精神科医師、関係団体等と連携を図ることにより、問題を抱える児童生徒等に対し、家庭訪問や巡回相談、支援関係者会議等で速やかにケース対応することができた。</p> <p>3 全ての学校にスクールソーシャルワーカーを割り振り、継続的、定期的に巡回することで教職員・家庭への認知度や信頼 関係が高まり、ケースの掘り起こしを含め、丁寧に対応することができた。</p> <p>○相談後の状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>問題が解決</td> <td>支援中で好転</td> <td>支援中</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>R1年度相談件数（計467件）</td> <td>49件</td> <td>140件</td> <td>237件</td> <td>41件</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>10%</td> <td>30%</td> <td>51%</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>○令和元年度活動の状況</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">訪問回数</td> <td colspan="2">ケース会議</td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td>家庭</td> <td>関係機関等</td> <td>教職員等</td> <td>関係機関等</td> </tr> <tr> <td>854回</td> <td>349回</td> <td>64回</td> <td>78回（53件）</td> <td>73回（55件）</td> </tr> </table> <p>※対応学校数・・・要請のあった53校（小学校33校、中学校19校、高等学校1校）</p> <p>相談件数のうち最も多いのは家庭環境（児童虐待を含む）であり、そのうち解決・好転は30%、次に多いのが不登校で、解決・好転は51%であった。関係機関との連携件数は297件のにのり、関係機関との連携が図られ、児童生徒及び家庭への適切な支援につながっていると考えられる。不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題の未然防止や早期解決のためにも今後も事業を継続する必要がある。</p>							問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	R1年度相談件数（計467件）	49件	140件	237件	41件	割合	10%	30%	51%	9%	訪問回数			ケース会議		学校	家庭	関係機関等	教職員等	関係機関等	854回	349回	64回	78回（53件）	73回（55件）
	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																	
R1年度相談件数（計467件）	49件	140件	237件	41件																																	
割合	10%	30%	51%	9%																																	
訪問回数			ケース会議																																		
学校	家庭	関係機関等	教職員等	関係機関等																																	
854回	349回	64回	78回（53件）	73回（55件）																																	
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	12,881,000	12,519,970	12,519,970																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																												
	1 項	教育総務費				(1)	未来の人を育てる																												
	7 目	東日本大震災関係費				(3)	子どものケアの実施																												
実施計画掲載ページ		P214	中 事 業	ハイスクールカウンセラー配置事業費																															
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名	ハイスクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																															
目的及び事業内容		<p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 2 生徒、保護者及び教職員へのカウンセリングの実施 3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動</p>																																	
取 組 実 績		<p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 市立桜坂高等学校に1名配置 2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施 1日6時間、年間60日の勤務を原則とし、週2日(火・木)の勤務体制でカウンセリングを実施した。 3 カウンセリング講座等の支援活動 (1) 生徒を対象としたカウンセリング講話を各学年で実施 (2) 教職員を対象とした事例検討会、カウンセリングマインドの技術の習得をねらいとした研修会の実施 (3) 教育相談情報交換会・ケース会議(3回)の実施</p>																																	
成 果		<p>学校でも家庭でも相談をする相手がなく、一人で悩みを解決できずにいる生徒たちがカウンセリングを受けることにより、カウンセラーとの関わりの中で、問題を解決する糸口や対処法を見つけ、学校生活を送れるようになっていくケースが多かった。また、保護者の利用も多く、子どもへの接し方や、保護者自身の不安(経済的・時間的・精神的なゆとりがない)などについて、カウンセラーと相談していく中でよい方向へ向かうケースもあった。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>主な指標項目</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>226件</td> <td>233件</td> <td>268件</td> <td>301件</td> <td>252件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>333人</td> <td>324人</td> <td>333人</td> <td>420人</td> <td>340人</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>R1相談人数内訳</td> <td>生 徒</td> <td>教職員</td> <td>保護者</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>桜坂高校</td> <td>140人</td> <td>194人</td> <td>6人</td> <td>340人</td> </tr> </table> <p>※生徒の相談内容は、多い順に「友人・人間関係：53件」、「家庭関係：44件」、「学校生活22件」である。 ※教職員の相談件数194件の全てが「情報交換」である。 ※「震災関係」の相談は3件であった。</p>						主な指標項目	H27	H28	H29	H30	R1	相談件数	226件	233件	268件	301件	252件	相談人数	333人	324人	333人	420人	340人	R1相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計	桜坂高校	140人	194人	6人	340人
主な指標項目	H27	H28	H29	H30	R1																														
相談件数	226件	233件	268件	301件	252件																														
相談人数	333人	324人	333人	420人	340人																														
R1相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計																															
桜坂高校	140人	194人	6人	340人																															
成果に係る評価		<p>令和元年度の相談内容についての生徒の傾向は、平成30年度と同様に「友人・人間関係」、「家庭関係」、「学校生活」が多かった。また、相談人数、相談件数ともに例年並みである。生徒の相談人数は140人であったが、カウンセラーと相談を行ったほとんどの生徒が、相談後は担任のサポートを受けながら、学校生活を続けていくことができていること、ハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p>																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	1,882,000	1,880,980			1,880,980																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																											
	1 項	教育総務費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																											
	7 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援																											
実施計画掲載ページ		P182	中 事 業	震災奨学金給付事業費																														
事業コード		002-101-001-00355	事 業 名	震災奨学金給付事業																														
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。</p>																																
取 組 実 績		<p>1 対象者への給付 4月と9月に月額金、2月に中学校3年生と高校3年生に一時金を給付した。 (1) 対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。 (2) 給付額 ア 月額(年額) 小学校等に在学する者 10,000円(120,000円) 中学校等に在学する者 20,000円(240,000円) 高等学校等に在学する者 30,000円(360,000円) イ 一時金 中学校3年生 300,000円 高校3年生 500,000円 (3) 給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。</p>																																
成 果		<p>令和元年度は小学生2名、中学生4名、高校生11名の計17名の震災孤児に奨学金を給付した。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>区分</td> <td>人数</td> <td>給付額</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>2</td> <td>240,000円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>4</td> <td>960,000円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>11</td> <td>3,960,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17</td> <td>5,160,000円</td> </tr> </table> <p>一時金として、中学生2名、高校生6名の震災孤児に給付をした。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>区分</td> <td>人数</td> <td>給付額</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>2</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>6</td> <td>3,000,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8</td> <td>3,600,000円</td> </tr> </table>						区分	人数	給付額	小学生	2	240,000円	中学生	4	960,000円	高校生	11	3,960,000円	合計	17	5,160,000円	区分	人数	給付額	中学生	2	600,000円	高校生	6	3,000,000円	合計	8	3,600,000円
区分	人数	給付額																																
小学生	2	240,000円																																
中学生	4	960,000円																																
高校生	11	3,960,000円																																
合計	17	5,160,000円																																
区分	人数	給付額																																
中学生	2	600,000円																																
高校生	6	3,000,000円																																
合計	8	3,600,000円																																
成果に係る評価		<p>震災奨学金の給付により、対象となる全ての児童生徒に対し、修学の支援を行なうことができた。一時金は中学及び高校卒業時に給付しており、希望する進路選択の実現の支援を行なうことができた。 震災奨学金の給付により、安定した修学の機会を継続して提供することができており、今後も給付事業を行っていくことが必要である。</p>																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	8,760,000	8,760,000			8,760,000																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	1 項	教育総務費				(1)	未来の人を育てる	
	7 目	東日本大震災関係費				(3)	子どものケアの実施	
実施計画掲載ページ		P214	中 事 業	震災心のサポート事業費				
事業コード		004-103-002-00526	事 業 名	心のケア充実事業（震災心のサポート事業）〔復興基金〕				
目的及び事業内容		<p>1 児童精神科医による子ども支援関係者会議及び健康実態調査業務 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家等を交えた子ども関係者会議及び健康実態調査を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。</p> <p>2 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。</p>						
取 組 実 績		<p>1 児童精神科医による子ども支援関係者会議及び健康実態調査業務 (1) 園児、児童生徒に対する健康実態調査の実施・・・市立幼稚園、小・中学校及び高等学校の全園児、児童生徒に対して震災直後から「健康実態調査」を行い、震災後の園児、児童生徒の心身の健康状態やトラウマに関するデータを集約した。結果については、すべての園・学校に個別に児童精神科医が説明をしながらフィードバックを行い、校内での支援・指導に役立てた。</p> <p>(2) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立・・・関係機関が集まり、児童精神科の医師がスーパーバイザーとなって問題を抱える子どもたちに対するケース会議を年6回行った。</p> <p>2 震災心の支援室業務 (1) 相談員・臨床心理士による個別訪問や電話、来室による相談 (2) 交流会の開催（2回） (3) 支援室だよりの発行 (4) 支援室会議、ケース会議を月1回開催</p>						
成 果		<p>1 児童精神科医による子ども支援関係者会議及び健康実態調査業務 (1) 【健康実態調査】児童精神科医が、平成23年度から継続して健康実態調査を行い、データに基づいた支援や指導のアドバイスを行った。震災のトラウマについては、平成25年度以降で大きな変化が見られないことから全体としては落ち着いている状態である。フィードバックの際は、1月～2月の10日間をかけて学校ごとに面談し、全体の傾向や配慮を要する児童生徒への対応についての助言があり、教員の指導に大いに生かされている。</p> <p>(2) 【子ども支援関係者会議】6月、9月、11月、各月1回2日間、計6回開催し、関係機関が出席して問題を抱える児童生徒のケース会議を行い、支援に役立てている。 (メンバー) 国府台病院児童精神科医師、精神科医師、ソーシャルワーカー、児童相談所、虐待防止センター、健康推進課等関係課、スクールソーシャルワーカー、学校教育課、当該学校職員等</p> <p>2 震災心の支援室業務 (1) 個別訪問、電話、来室により御遺族から話を聞くことができた。 (2) ケース会議では精神科医等から助言を得て支援に生かされている。</p>						
成果に係る評価		<p>1 児童精神科医による子ども関係者会議及び健康実態調査業務 各学校、園では、関係者会議及び健康実態調査の結果を児童生徒の対応に生かしている。特に、配慮を要する児童生徒の対応について、専門医の意見や助言を得ることができることから、児童生徒、保護者、教員にとってニーズの高いものであり、今後も事業の継続の方法を探っていくことが必要である。</p> <p>2 震災心の支援室業務 御遺族の生活状況も変化し、新しい居住地での環境対応、高齢化、独居等心配される課題もある。それぞれの心情に寄り添いながら、今後も他の機関と連携しこれまで以上にきめ細やかなサポートの継続が必要である。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	6,046,000		5,466,364				5,466,364	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	1 項	教育総務費				(1)	未来の人を育てる	
	3 7 目	教育指導奨励費 東日本大震災関係費				(3)	子どものケアの実施	
実施計画掲載ページ		P215	中 事 業	学校安全推進費、学校安全総合支援事業費、防災教育充実事業費				
事業コード		004-103-002-00528	事 業 名	防災教育充実事業〔復興基金〕				
目的及び事業内容		<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な地域環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応力を育成するための教材等の作成</p>						
取 組 実 績		<p>1 学校防災推進会議 有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当で構成する学校防災推進会議において、本市の学校防災の今後の在り方について協議を行った。また、学校防災について、より専門的に調査・研究するための、3つのワーキンググループにおいて、学校防災の推進に向けた活動を行った。 【取組内容】 「防災研修」：安全担当主幹教諭や防災主任を対象とした研修会の実施、学校防災フォーラムの開催、クロスロードゲーム石巻版児童生徒編の作成、復興・防災マップの広域化 「防災管理」：学校防災マニュアルの点検及び改善指導、大川小学校事故検証報告書の提言に関する取組状況調査の実施、地域防災連絡会設置の促進と充実 「防災教育」：防災合言葉の募集、防災教育副読本の改訂版の作成</p> <p>2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練 児童生徒が災害から命を守り抜くための「主体的に行動する態度」を育成するため、緊急地震速報受信機を導入し、緊急地震速報を活用した避難訓練を実施した。</p> <p>3 防災教育副読本を活用した授業実践 本市の実態に即した防災教育推進のため、市内全ての小中学校で防災教育副読本を活用した防災教育を展開した。また、改訂版防災教育副読本を発行した。 ＜令和2年度版防災教育副読本発行部数＞ 小学校：1～5年生 各1,200冊、6年生 1,300冊 中学校：1～2年生 各1,300冊、3年生 1,200冊</p>						
成 果		<p>1 学校防災推進会議では、3つのワーキンググループごとに、具体的な事業を実践した。 「防災研修」では、学校防災上の課題を学校・地域・行政が連携して解決に向けて取り組むことの重要性を再確認することができた。また、復興・防災マップの作成を通じて、地域の復興を実感するとともに、地域の災害履歴や防災に関する知識の育成を図ることができた。 「防災管理」では、学校防災マニュアルの点検及び改善の指導を行い、学校防災マニュアルの充実が図られた。また、地域防災連絡会の設置促進を図り、設置率は、平成29年度は84.7%、平成30年度は93.1%、令和元年度は96.6%と向上し、学校及び地域の防災力を強化することができた。 「防災教育」では、防災合言葉コンクールを開催し、優秀作品を市報に掲載した。市全体の防災意識の高揚を図ることができた。また、前年度から取り組んできた防災副読本の改訂作業が完了し、新年度から大幅改訂した新版を使用できることになった。</p> <p>2 各学校では、立地条件や過去の災害状況等を踏まえた避難訓練が実施され、児童生徒らは円滑かつ迅速な避難行動をとることができている。また、緊急地震速報受信機（34校）においては、受信機を活用した訓練が実施され、より臨場感をもって訓練に取り組むことができた。</p> <p>3 防災教育副読本は全ての小中学校で活用されており、発達段階に応じた系統的な指導により、児童生徒に必要な知識や能力を身に付けさせることができた。また、防災学習の時間は、小学校、中学校共にしっかりと確保されており、災害に対する知識や災害対応力が向上している。</p>						
成果に係る評価		<p>東日本大震災では、大規模災害時における「公助」の限界が明らかとなり、「自助」、「共助」の力を向上させる防災教育への関心が高まっている。 今後、震災を体験していない児童生徒及び教職員が増え、街の復興も進み、目に見える震災の被害が少なくなっていく中で、児童生徒らに震災の事実や教訓を語り継いでいく必要がある。 児童生徒が「自分の命を自分で守る」ことができるよう、今後も継続して防災教育副読本を活用した防災教育の推進と児童生徒の主体的な行動を伴った避難訓練の実施が不可欠である。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	7,413,000		6,937,493		990,000		4,565,093	1,382,400

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																						
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																						
	1 目	学校管理費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																						
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業	小学校管理費（教育総務課）																																									
事業コード		002-001-003-00217	事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																																									
目的及び事業内容		小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付																																											
取組実績		小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。 1 スクールバス等の運行 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H30</td> <td>9校</td> <td>362人</td> <td>96,479,783 円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>9校</td> <td>364人</td> <td>98,879,599 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート (鮎川小学校)</td> <td>H30</td> <td>1校</td> <td>2人</td> <td>3,997,800 円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1校</td> <td>2人</td> <td>3,562,600 円</td> </tr> </tbody> </table> ※スクールバス等対象校（R1） 稲井小学校、東浜小学校、飯野川小学校、二俣小学校、雄勝小学校、中津山第一小学校、桃生小学校、大原小学校、万石浦小学校 2 遠距離通学費補助金の交付 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>H30</td> <td>2校</td> <td>40人</td> <td>1,340,786 円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2校</td> <td>34人</td> <td>1,522,600 円</td> </tr> </tbody> </table> ※遠距離通学費補助金対象校（R1） 大谷地小学校、二俣小学校							区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	H30	9校	362人	96,479,783 円	R1	9校	364人	98,879,599 円	スクールボート (鮎川小学校)	H30	1校	2人	3,997,800 円	R1	1校	2人	3,562,600 円	区分	年度	学校数	対象人数	補助額	遠距離通学費補助金	H30	2校	40人	1,340,786 円	R1	2校	34人	1,522,600 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																																									
スクールバス等	H30	9校	362人	96,479,783 円																																									
	R1	9校	364人	98,879,599 円																																									
スクールボート (鮎川小学校)	H30	1校	2人	3,997,800 円																																									
	R1	1校	2人	3,562,600 円																																									
区分	年度	学校数	対象人数	補助額																																									
遠距離通学費補助金	H30	2校	40人	1,340,786 円																																									
	R1	2校	34人	1,522,600 円																																									
成 果		小学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった児童のため、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保が図られた。																																											
成果に係る評価		通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる児童の安全・安心の確保を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要である。																																											
(単位：円)																																													
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																								
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	108,389,922		104,017,809		16,041,640			87,976,169																																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																			
	2 項	小学校費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																			
	1 目	学校管理費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()																			
実施計画掲載ページ		P 35	中 事 業	小学校管理費（学校教育課）																						
事業コード		002-003-001-00234	事 業 名	小学校外国語活動指導補助員活用事業																						
目的及び事業内容		小学校に外国語活動指導補助員を配置することによって、3・4学年の外国語活動及び学習指導要領の改訂に伴って教科化された5・6年生の外国語科の学習の充実と教員の指導力向上を図る。																								
取組実績		小学校外国語活動指導補助員による外国語活動の授業実践 補助員の1クラスあたりの配置率は中学年で平均29%、高学年で59%となっている。外国語活動指導補助員とALTとを併用し、授業において手厚く担任を補助することができた。補助員は、担任とのチームティーチングの中で教材の提示、児童への個別支援等を行い、授業時間以外にも活動のアイデアを担任に提供するなどした。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置を希望する学校数</td> <td>26校</td> <td>27校</td> <td>26校</td> <td>28校</td> <td>29校</td> </tr> <tr> <td>配置した補助員数</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H27	H28	H29	H30	R1	配置を希望する学校数	26校	27校	26校	28校	29校	配置した補助員数	10人	10人	9人	12人	12人
主な指標項目	H27	H28	H29	H30	R1																					
配置を希望する学校数	26校	27校	26校	28校	29校																					
配置した補助員数	10人	10人	9人	12人	12人																					
成 果		1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語が堪能で異文化に対する理解も深い補助員と一緒に外国語の活動に取り組むことで、児童の外国語学習に対する興味・関心を高め、外国語によるコミュニケーションに対して前向きな態度を養うことができた。（外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合…89%） (2) 担任と補助員が外国語を使う自然な場面設定を行い、デモンストレーションを行うことで、児童は活動に対する明確なイメージをもって意欲的に取り組むことができた。 2 コミュニケーション能力の向上 学級担任と補助員の共同による授業は、教室の中で生きた英語を聞くことや話す機会を増やし、児童のコミュニケーション能力を向上させる上で有効であった。 3 担任の指導力の向上 補助員と学級担任が授業の進め方について意見交換をすることで、お互いのアイデアをよりよいものにすることができ、学級担任の指導力の向上に繋がった。																								
成果に係る評価		外国語の運用能力に自信がもてない学級担任も少なくない状況で、英語が堪能な補助員の存在は心強く、授業内容の充実や指導力の向上に結び付いている。児童にとっても、補助員は英語使用者としてのよきモデルとなっており、学習への動機づけに繋がっている。新学習指導要領により、5・6年生の外国語が教科化されることに伴い、補助員の必要性はますます高まっているが、現場のニーズに対して人材がやや不足しており、未配置の学校もある。ハローワークなどを活用し、人材確保に努めていく必要がある。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	5,191,000		4,505,107					4,505,107																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																															
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業		小学校保健費																																	
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名		健康診断・検査等実施事業（小学校） 学校医・薬剤師配置事業（小学校）																																	
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																				
取組実績		<p>1 学校医の配置 小学校33校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施した。</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>28 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>5 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>28 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 小学校33校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>27 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1・4年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>2・4・6年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>							内 科 医	28 人	耳 鼻 科 医	5 人	眼 科 医	5 人	歯 科 医	28 人	薬 剤 師	27 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生	耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年		
内 科 医	28 人	耳 鼻 科 医	5 人																																			
眼 科 医	5 人	歯 科 医	28 人																																			
薬 剤 師	27 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生																																			
耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年																																					
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>小学生</td> <td>6,426人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> <td>1,044人</td> <td>4年生</td> <td>1,055人</td> <td></td> </tr> </table> <p>2 飲料水水質検査 小学校 33校</p>							1 定期健康診断	小学生	6,426人				心臓病検診	1年生	1,044人	4年生	1,055人																			
1 定期健康診断	小学生	6,426人																																				
心臓病検診	1年生	1,044人	4年生	1,055人																																		
成果に係る評価		<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、児童に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、児童の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	36,791,300		35,036,568		447,000			34,589,568																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業		小学校保健費			
事業コード		002-001-002-00220	事 業 名		就学時健康診断実施事業			
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、就学予定児に対して、あらかじめ健康診断を行うことにより、健康状況を把握し、必要な助言・指導を行うことを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学時健康診断の実施 						
取組実績		<p>1 就学時健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、視力検査、聴力検査</p> <p>2 就学時健康診断の合同開催について 平成30年度に引き続き、万石浦・荻浜・牡鹿地区については、万石浦小学校を会場に5校合同により就学時健康診断を実施した。 【万石浦小、東浜小、大原小、鮎川小、寄磯小】</p> <p>また、令和元年度より、石巻中央公民館を会場として石巻小学校と山下小学校を、かわまち交流センターを会場として住吉小学校と開北小学校を合同で実施した。</p>						
成 果		<p>就学予定児の保護者に対し、必要な助言・指導を行うことにより、小学校等への円滑な就学が図られた。 また、万石浦・荻浜・牡鹿地区による合同開催を実施したことにより、学校医の負担軽減及び経費削減が図られた。</p> <p>1 就学時健康診断 1,046人</p>						
成果に係る評価		<p>就学予定児の健康状態を把握し、保護者に対して必要な助言・指導を行い、次年度の小学校入学に備えるため、今後も継続して実施する必要がある。 また、学校医の負担を軽減するため、令和元年度は、旧市内一部の地区において合同開催を実施した。 今後も各校の状況を考慮しながら、学校医の負担軽減及び経費削減を踏まえた検討を進めていく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,813,000		3,221,520					3,221,520

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																															
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																															
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																															
実施計画掲載ページ		P27	中 事 業	小学校教育用コンピューター関係費																																																		
事業コード		002-001-003-00240	事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校）																																																		
目的及び事業内容		国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内小学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。																																																				
取組実績		<p>小学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="4">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピューター</th> <th>電子黒板</th> <th colspan="2">タブレット（学習用）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>石巻地区 8校：185台</td> <td>石巻地区 8校：25台</td> <td colspan="2">石巻地区 8校：52台</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>石巻地区 8校：232台</td> <td>石巻地区 8校：40台</td> <td colspan="2">石巻地区 8校：56台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>河北地区 3校：66台</td> <td>河北地区 3校：9台</td> <td colspan="2">河北地区 3校：21台</td> </tr> <tr> <td>桃生地区 3校：61台</td> <td>桃生地区 3校：9台</td> <td colspan="2">桃生地区 3校：21台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>河南地区 6校：127台</td> <td>河南地区 6校：21台</td> <td colspan="2">河南地区 6校：42台</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区 3校：32台</td> <td>牡鹿地区 3校：6台</td> <td colspan="2">牡鹿地区 3校：13台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>雄勝地区 1校：9台</td> <td>雄勝地区 1校：4台</td> <td colspan="2">雄勝地区 1校：6台</td> </tr> <tr> <td>北上地区 1校：24台</td> <td>北上地区 1校：8台</td> <td colspan="2">北上地区 1校：6台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成30年度については、以前に更新したり料金等の支払いのみ。 ※ 教育用コンピューター…PC室用PC、教材作成用PC、普通教室/特別教室用PC ※ 上記数量には、寄附等で整備した機器は含まない。</p>							整備年度	整備内容				教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（学習用）		H26	石巻地区 8校：185台	石巻地区 8校：25台	石巻地区 8校：52台		H27	石巻地区 8校：232台	石巻地区 8校：40台	石巻地区 8校：56台		H28	河北地区 3校：66台	河北地区 3校：9台	河北地区 3校：21台		桃生地区 3校：61台	桃生地区 3校：9台	桃生地区 3校：21台		H29	河南地区 6校：127台	河南地区 6校：21台	河南地区 6校：42台		牡鹿地区 3校：32台	牡鹿地区 3校：6台	牡鹿地区 3校：13台		R1	雄勝地区 1校：9台	雄勝地区 1校：4台	雄勝地区 1校：6台		北上地区 1校：24台	北上地区 1校：8台	北上地区 1校：6台	
整備年度	整備内容																																																					
	教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（学習用）																																																			
H26	石巻地区 8校：185台	石巻地区 8校：25台	石巻地区 8校：52台																																																			
H27	石巻地区 8校：232台	石巻地区 8校：40台	石巻地区 8校：56台																																																			
H28	河北地区 3校：66台	河北地区 3校：9台	河北地区 3校：21台																																																			
	桃生地区 3校：61台	桃生地区 3校：9台	桃生地区 3校：21台																																																			
H29	河南地区 6校：127台	河南地区 6校：21台	河南地区 6校：42台																																																			
	牡鹿地区 3校：32台	牡鹿地区 3校：6台	牡鹿地区 3校：13台																																																			
R1	雄勝地区 1校：9台	雄勝地区 1校：4台	雄勝地区 1校：6台																																																			
	北上地区 1校：24台	北上地区 1校：8台	北上地区 1校：6台																																																			
成 果		<ul style="list-style-type: none"> ・児童がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 ・平成25年度より教育用コンピューターの更新に合わせ、タブレットを整備している。 ・石巻市内の小学校は1クラス分の学習用コンピュータは平成29年度に配備済みとなっている。 																																																				
成果に係る評価		<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会に必要な知識を習得するため、これからの学習活動を支えるICT機器等[大型提示装置（電子黒板等）、学習者用コンピュータ（タブレット）等]や無線LAN環境の整備を進めてきたが、文部科学省が新たに策定した「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（平成30年度～令和4年度）」に基づき、タブレットの整備台数を増やす等、より一層整備を進める必要がある。 ・デジタル教科書の活用や電子黒板等の整備台数を増やしたことにより、多くの教員がICT機器を活用する機会が増え、ICT活用能力向上が図られた。 ・教育のICT化に向けた環境整備5か年計画の目標項目内にある「学習者用コンピュータ：3クラスに1クラス分程度の整備」の水準には達していないので、新たに進めることになる「GIGAスクール構想」と併せてICT環境の整備を充実させていく。 																																																				
（単位：円）																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
	82,116,000	81,204,250				81,204,250																																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																									
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																									
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																									
実施計画掲載ページ		P26	中 事 業	小学校教育振興援助費																																												
事業コード		002-001-003-00222	事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																																												
目的及び事業内容		経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者の経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成																																														
取組実績		<p>1 就学援助費 小学校：認定者数 713名 / 児童数 6,429名 (11.09%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>9,607,209 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>2,090,348 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>487,793 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>8,500 円</td></tr> <tr><td>新入学生用品費</td><td>1,315,600 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>5,259,180 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>2,487,113 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>27,672,393 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>666,440 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>49,594,576 円</td></tr> </table> <p>2 特別支援教育就学奨励費 小学校：認定者数 88名 / 児童数 6,429名 (1.37%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>329,130 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>36,792 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>11,951 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>278,464 円</td></tr> <tr><td>新入学生用品費</td><td>151,800 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>146,459 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>1,077,111 円</td></tr> <tr><td>交流学習交通費</td><td>11,674 円</td></tr> <tr><td>通級指導教室通学費</td><td>80,356 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,123,737 円</td></tr> </table>							学用品費	9,607,209 円	校外活動費（宿泊なし）	2,090,348 円	校外活動費（宿泊あり）	487,793 円	通学費	8,500 円	新入学生用品費	1,315,600 円	新入学準備金	5,259,180 円	修学旅行費	2,487,113 円	給食費	27,672,393 円	医療費	666,440 円	計	49,594,576 円	学用品費	329,130 円	校外活動費（宿泊なし）	36,792 円	校外活動費（宿泊あり）	11,951 円	通学費	278,464 円	新入学生用品費	151,800 円	修学旅行費	146,459 円	給食費	1,077,111 円	交流学習交通費	11,674 円	通級指導教室通学費	80,356 円	計	2,123,737 円
学用品費	9,607,209 円																																															
校外活動費（宿泊なし）	2,090,348 円																																															
校外活動費（宿泊あり）	487,793 円																																															
通学費	8,500 円																																															
新入学生用品費	1,315,600 円																																															
新入学準備金	5,259,180 円																																															
修学旅行費	2,487,113 円																																															
給食費	27,672,393 円																																															
医療費	666,440 円																																															
計	49,594,576 円																																															
学用品費	329,130 円																																															
校外活動費（宿泊なし）	36,792 円																																															
校外活動費（宿泊あり）	11,951 円																																															
通学費	278,464 円																																															
新入学生用品費	151,800 円																																															
修学旅行費	146,459 円																																															
給食費	1,077,111 円																																															
交流学習交通費	11,674 円																																															
通級指導教室通学費	80,356 円																																															
計	2,123,737 円																																															
成 果		経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 なお、平成29年度から実施している新入学準備金については、103名の児童の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。																																														
成果に係る評価		経済的な事情により就学が困難な児童や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての児童の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。																																														
（単位：円）																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	55,712,000	51,718,313	1,418,160			50,300,153																																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																																		
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																		
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																		
実施計画掲載ページ		P27	中 事 業	小学校図書整備事業費																																																					
事業コード	002-001-003-00239	事 業 名	学校図書整備事業（小学校）																																																						
目的及び事業内容		<p>文部科学省は、更なる学校図書館の整備充実のため、平成29年度から令和3年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備等5か年計画」として策定し、蔵書の計画的な更新を図ることとした。学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																							
取組実績		<p>市内全ての小学校において、平成29年度末に学校図書館図書標準に対する充足率を100%とすることを目標として整備してきた。令和元年度予算としては、充足率達成校には更新のために、未達成となっている学校には不足分購入のためとして加算配分し各学校の充足率の向上に努めた。</p> <p>令和元年度においては、前年度と比較して整備冊数は減ったものの、読書活動や学習活動を支援する図書を購入するなど質の向上を図ることができた。</p> <p>＜小学校図書の整備冊数＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>25,027冊</td> <td>19,974冊</td> <td>15,692冊</td> <td>24,499冊</td> <td>22,154冊</td> <td>19,722冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文科省で定めた公立の義務教育諸学校において学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>								H26	H27	H28	H29	H30	R1		25,027冊	19,974冊	15,692冊	24,499冊	22,154冊	19,722冊																																			
	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																			
	25,027冊	19,974冊	15,692冊	24,499冊	22,154冊	19,722冊																																																			
成 果		<p>学校図書の整備充実に努めたことにより、各学校の充足率の向上と児童の発達段階に応じた図書の整備ができ、読書活動や学習活動に積極的に活用され、児童が読書に親しみ楽しむことで感受性や考える力が育成された。</p> <p>＜小学校図書充足率達成状況＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成率</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>11校</td> <td>13校</td> <td>16校</td> <td>26校</td> <td>28校</td> <td>31校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>18校</td> <td>17校</td> <td>17校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>8校</td> <td>5校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>37校</td> <td>35校</td> <td>35校</td> <td>34校</td> <td>33校</td> <td>33校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>29.73%</td> <td>37.14%</td> <td>45.71%</td> <td>76.47%</td> <td>84.84%</td> <td>93.94%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度末時点</p>							達成率	H26	H27	H28	H29	H30	R1	100%以上（A）	11校	13校	16校	26校	28校	31校	75%以上-100%未満	18校	17校	17校	6校	5校	2校	50%以上-75%未満	8校	5校	2校	2校	0校	0校	50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	0校	合計(B)	37校	35校	35校	34校	33校	33校	100%以上達成校の割合（A/B）	29.73%	37.14%	45.71%	76.47%	84.84%	93.94%
達成率	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																			
100%以上（A）	11校	13校	16校	26校	28校	31校																																																			
75%以上-100%未満	18校	17校	17校	6校	5校	2校																																																			
50%以上-75%未満	8校	5校	2校	2校	0校	0校																																																			
50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	0校																																																			
合計(B)	37校	35校	35校	34校	33校	33校																																																			
100%以上達成校の割合（A/B）	29.73%	37.14%	45.71%	76.47%	84.84%	93.94%																																																			
成果に係る評価		<p>令和元年度は2校が充足率100%に満たなかったが、これは破損したり、老朽化した図書を整理したためである。</p> <p>充足率を達成した学校においても、長期間廃棄を行っていない学校が多く、蔵書のうち3~4割が更新の必要図書（平成29年度石巻市立小中学校調査結果）であると見込まれることから、今後は老朽化した図書や古い内容の図書について継続的・計画的に更新し、学校図書の一層の充実を図っていきたい。</p>																																																							
（単位：円）																																																									
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
		27,000,000	26,871,063			20,000,000	6,871,063																																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																																																																											
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																																																											
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																																																											
実施計画掲載ページ		P28	中 事 業	小学校施設老朽化対策事業費																																																																																														
事業コード	002-001-003-01027	事 業 名	小学校校舎老朽化対策事業																																																																																															
目的及び事業内容		<p>老朽化が著しく進行している学校施設について屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																																																																																
取組実績		<p>老朽化が著しく進行している小学校4校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。また、令和2年度以降の工事着手を予定している小学校2校の設計業務を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事 中里小学校、大街道小学校（平成30年度からの繰越事業） 福井小学校、鹿妻小学校（令和2年度へ繰越） (2) 設計（令和2年度以降工事着手予定） 釜小学校、真山小学校</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 （単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="2">R1予算額</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th colspan="2">R1事業費</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th colspan="2">R2繰越</th> </tr> <tr> <th></th> <th>繰越分</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>繰越分</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td></td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>33,000,000</td> <td>0</td> <td>33,000,000</td> <td></td> <td>33,000,000</td> <td>0</td> <td>33,000,000</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>30,400,000</td> <td>15,900,000</td> <td>14,500,000</td> <td></td> <td>12,462,120</td> <td>12,462,120</td> <td></td> <td>0</td> <td>14,500,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>768,170,000</td> <td>291,170,000</td> <td>477,000,000</td> <td></td> <td>483,018,280</td> <td>291,058,280</td> <td>191,960,000</td> <td></td> <td>285,040,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>831,620,000</td> <td>307,070,000</td> <td>524,550,000</td> <td></td> <td>528,530,400</td> <td>303,520,400</td> <td>225,010,000</td> <td></td> <td>299,540,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							費目	R1予算額		現年度分		R1事業費		繰越分		現年度分		R2繰越			繰越分				繰越分							消耗品費	50,000	0	50,000		50,000	0	50,000		0			0	設計	33,000,000	0	33,000,000		33,000,000	0	33,000,000		0			0	監理	30,400,000	15,900,000	14,500,000		12,462,120	12,462,120		0	14,500,000				工事	768,170,000	291,170,000	477,000,000		483,018,280	291,058,280	191,960,000		285,040,000				計	831,620,000	307,070,000	524,550,000		528,530,400	303,520,400	225,010,000		299,540,000			
費目	R1予算額		現年度分		R1事業費		繰越分			現年度分		R2繰越																																																																																						
		繰越分				繰越分																																																																																												
消耗品費	50,000	0	50,000		50,000	0	50,000		0			0																																																																																						
設計	33,000,000	0	33,000,000		33,000,000	0	33,000,000		0			0																																																																																						
監理	30,400,000	15,900,000	14,500,000		12,462,120	12,462,120		0	14,500,000																																																																																									
工事	768,170,000	291,170,000	477,000,000		483,018,280	291,058,280	191,960,000		285,040,000																																																																																									
計	831,620,000	307,070,000	524,550,000		528,530,400	303,520,400	225,010,000		299,540,000																																																																																									
成 果		<p>老朽化が著しく進行している小学校4校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。福井小学校及び鹿妻小学校については、補修作業に時間を要したこと等により、工期がやむを得ず延長となったが、令和2年度の早い時期に完成し、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。</p>																																																																																																
成果に係る評価		<p>令和元年度は小学校4校の工事を実施したことで、施設の延命化を図るとともに児童の教育環境の改善が図られた。市内の学校施設は老朽化が進んでおり、現在策定中の「学校施設整備保全計画」により、今後も引き続き事業を継続する必要がある。</p> <p>また、現状では主に屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施しているが、整備手法や費用について、適切な改修方法を検討しながら事業を行っていく。</p>																																																																																																
（単位：円）																																																																																																		
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																														
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																											
		532,080,000	528,530,400	56,000,000	448,800,000			23,730,400																																																																																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																													
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																													
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																													
実施計画掲載ページ		P 30	中 事 業	二俣小学校水泳プール改築事業費																																																
事業コード		002-001-003-00256	事 業 名	二俣小学校プール改築事業																																																
目的及び事業内容		二俣小学校の水泳プールは、施設の老朽化や給排水設備の腐食が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況であり、早急な改築が必要なことから、平成30年度から令和元年度にかけて改築工事を実施し、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。																																																		
取組実績		<p>平成30年度、令和元年度にかけて改築工事を行い、令和元年7月に完成した。</p> <p>1 全体事業 (1) 平成29年度 地質調査、実施設計 (2) 平成30年度、令和元年度 改築工事</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="2">R1予算額</th> <th colspan="2">R1事業費</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監理</td> <td>7,754,000</td> <td>2,320,000</td> <td>5,434,000</td> <td>5,434,000</td> <td>0</td> <td>5,434,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>184,807,000</td> <td>47,050,000</td> <td>137,757,000</td> <td>148,270,320</td> <td>10,514,000</td> <td>137,756,320</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>192,561,000</td> <td>49,370,000</td> <td>143,191,000</td> <td>153,704,320</td> <td>10,514,000</td> <td>143,190,320</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							費目	R1予算額		R1事業費		繰越分		現年度分		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	監理	7,754,000	2,320,000	5,434,000	5,434,000	0	5,434,000			工事	184,807,000	47,050,000	137,757,000	148,270,320	10,514,000	137,756,320			計	192,561,000	49,370,000	143,191,000	153,704,320	10,514,000	143,190,320		
費目	R1予算額		R1事業費		繰越分		現年度分																																													
	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																												
監理	7,754,000	2,320,000	5,434,000	5,434,000	0	5,434,000																																														
工事	184,807,000	47,050,000	137,757,000	148,270,320	10,514,000	137,756,320																																														
計	192,561,000	49,370,000	143,191,000	153,704,320	10,514,000	143,190,320																																														
成 果		老朽化の進んだ二俣小学校プールの工事については、スケジュールどおりに工事が進行し、令和元年7月に完成、供用を開始して教育環境の改善を図った。																																																		
成果に係る評価		石巻市内の水泳プールは整備後30年以上が経過しているものも多く、設備機器の老朽化も進行していることから、児童の教育環境の改善を図るため、計画的な整備を進める必要がある。また、事業の継続に際し、老朽化の進行具合だけでなく、学校の統廃合の状況等を考慮しながら、適切な整備方針の検討を続ける。																																																		
(単位：円)																																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	192,561,000		153,704,320			153,600,000		104,320																																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	2 項	小学校費		第 節			(1)	未来の人を育てる																														
	4 目	東日本大震災関係費		()			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																														
実施計画掲載ページ		P 209	中 事 業	被災児童通学支援事業費																																		
事業コード		004-101-001-00480	事 業 名	被災児童通学支援事業(小学校)																																		
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替え校スクールバスの運行 ・仮設住宅スクールバス等の運行 ・通学路安全対策スクールバス等の運行 																																				
取組実績		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>延べ学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス</td> <td>1 校</td> <td>36 人</td> <td>23,792,472 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>0 校</td> <td>0 人</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策バス等</td> <td>2 校</td> <td>47 人</td> <td>17,315,930 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3 校</td> <td>83 人</td> <td>41,108,402 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R1年度終了 ※H30年度終了</p> <p>(支援状況)</p> <p>代替え校スクールバス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北上小学校</td> <td>旧相川・旧吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>通学路安全対策バス等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊小学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>万石浦小学校</td> <td>通学路安全対策(祝田地区)のためスクールタクシー運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>※仮設住宅スクールバス等利用児童在籍校(H30参考) 中里小学校、二俣小学校、雄勝小学校、北上小学校</p>							区分	延べ学校数	対象人数	金額	代替え校スクールバス	1 校	36 人	23,792,472 円	仮設住宅スクールバス等	0 校	0 人	0 円	通学路安全対策バス等	2 校	47 人	17,315,930 円	計	3 校	83 人	41,108,402 円	学校名	状 況	北上小学校	旧相川・旧吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行	学校名	状 況	湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行	万石浦小学校	通学路安全対策(祝田地区)のためスクールタクシー運行
区分	延べ学校数	対象人数	金額																																			
代替え校スクールバス	1 校	36 人	23,792,472 円																																			
仮設住宅スクールバス等	0 校	0 人	0 円																																			
通学路安全対策バス等	2 校	47 人	17,315,930 円																																			
計	3 校	83 人	41,108,402 円																																			
学校名	状 況																																					
北上小学校	旧相川・旧吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行																																					
学校名	状 況																																					
湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行																																					
万石浦小学校	通学路安全対策(祝田地区)のためスクールタクシー運行																																					
成 果		東日本大震災により学校が被災したため、代替え校への通学が必要となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、利用状況に応じたスクールバス等の運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。																																				
成果に係る評価		東日本大震災により通学支援が必要となった生徒の安全・安心を図るために、継続が求められる事業である。被災した通学路の復旧については一部未完了であることから、その復旧状況を踏まえた事業実施を進める必要がある。																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	47,069,000		41,108,402		19,498,322			21,610,080																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																				
	2 項	小学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																				
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																				
実施計画掲載ページ	P209		中 事 業	被災児童就学支援事業費																							
事業コード	004-101-001-00481		事 業 名	被災児童就学支援事業（小学校）																							
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった児童の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、児童の就学の機会を確保する。</p> <p>(支給対象者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯 ・世帯収入が著しく減少した世帯 ・原子力発電所の事故により避難してきた世帯 																										
取組実績	<p>1 就学援助費 小学校：認定者数 1,618名 / 児童数 6,429名 (25.17%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>21,486,780 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>4,934,671 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>914,034 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>4,351,600 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>7,659,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>5,300,156 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>63,950,666 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>31,950 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>108,628,857 円</td></tr> </table>							学用品費	21,486,780 円	校外活動費(宿泊なし)	4,934,671 円	校外活動費(宿泊あり)	914,034 円	通学費	0 円	新入学学用品費	4,351,600 円	新入学準備金	7,659,000 円	修学旅行費	5,300,156 円	給食費	63,950,666 円	医療費	31,950 円	計	108,628,857 円
	学用品費	21,486,780 円																									
校外活動費(宿泊なし)	4,934,671 円																										
校外活動費(宿泊あり)	914,034 円																										
通学費	0 円																										
新入学学用品費	4,351,600 円																										
新入学準備金	7,659,000 円																										
修学旅行費	5,300,156 円																										
給食費	63,950,666 円																										
医療費	31,950 円																										
計	108,628,857 円																										
成 果	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった児童の保護者に対して就学援助費を支給することにより、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>平成29年度から実施している新入学準備金については、201名の児童の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。</p> <p>被災者の再建状況を踏まえ、被災児童就学援助費の認定基準について検討し、平成30年度より認定基準に所得要件を加え、均等な教育機会の提供ができるよう見直しを行った。</p>																										
成果に係る評価	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難な児童の就学機会を確保するため、これまで被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金及び被災児童生徒就学支援等事業交付金として支援を行ってきた。</p> <p>令和3年度以降の交付金については、交付対象地域を全国から被災3県に地域を限定し、継続される見通しとなったことから、財源確保について関係機関と調整しながら支援を継続していく必要がある。</p>																										
予算の執行状況	(単位：円)																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	114,800,000	108,628,857	108,628,857																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																		
	2 3 項	小学校費 中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																																																		
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																																		
実施計画掲載ページ	P210		中 事 業	小学校太陽光発電設備整備事業費 中学校太陽光発電設備整備事業費																																																					
事業コード	004-101-001-00478		事 業 名	学校施設太陽光発電設備整備事業																																																					
目的及び事業内容	<p>災害時に避難所となる学校施設について、自立的な電力供給を確保するため太陽光発電設備を導入し施設の防災機能を強化する。</p>																																																								
取組実績	<p>令和元年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>設置工事</td> <td>構造検討業務</td> </tr> <tr> <td>・広淵小学校</td> <td>・鮎川小学校</td> </tr> <tr> <td>・和淵小学校</td> <td>・大原小学校</td> </tr> <tr> <td>・中津山第一小学校</td> <td>・荻浜中学校</td> </tr> <tr> <td>・石巻中学校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飯野川中学校</td> <td></td> </tr> </table>							設置工事	構造検討業務	・広淵小学校	・鮎川小学校	・和淵小学校	・大原小学校	・中津山第一小学校	・荻浜中学校	・石巻中学校		・飯野川中学校																																							
	設置工事	構造検討業務																																																							
・広淵小学校	・鮎川小学校																																																								
・和淵小学校	・大原小学校																																																								
・中津山第一小学校	・荻浜中学校																																																								
・石巻中学校																																																									
・飯野川中学校																																																									
成 果	<p>令和元年度において、小学校3校、中学校2校に太陽光発電設備を整備した。</p> <p>これまでの整備状況 (単位：校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>								H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計	小学校	1	3	4	9	0	4	4	3	28	中学校	0	1	3	7	2	1	0	2	16	高等学校	0	0	1	0	0	0	0	0	1	合計	1	4	8	16	2	5	4	5	45
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計																																																
小学校	1	3	4	9	0	4	4	3	28																																																
中学校	0	1	3	7	2	1	0	2	16																																																
高等学校	0	0	1	0	0	0	0	0	1																																																
合計	1	4	8	16	2	5	4	5	45																																																
成果に係る評価	<p>災害時における自立的な電力供給を確保するため太陽光発電設備（発電パネル10kW、蓄電池15kWh、非常用照明、非常用コンセント）を導入し、施設の防災機能を強化した。</p> <p>このことにより、停電時においても防災行政無線の送受信、テレビの視聴、携帯電話の充電及び照明器具の使用等に一定の電力を確保することが可能となり、施設機能面から避難所運営を支援することができた。</p> <p>今後については、統廃合の状況等を考慮しながら、整備の検討をしていく。</p>																																																								
予算の執行状況	(単位：円)																																																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	234,256,000	204,293,530	4,778,000	188,500,000	10,915,530	100,000																																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 項	小学校費				(1)	未来の人を育てる
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P210	中 事 業	北上小学校移転新築事業費			
事業コード		004-101-001-00896	事 業 名	北上小学校移転新築事業〔復興交付金〕〔復興基金〕			
目的及び事業内容		<p>北上小学校は指定避難所となることから、災害時における自立的な電源の確保を図るため、次の設備を整備し、学校施設の防災機能強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネル10kW、蓄電池15kW設置 ・非常用照明、非常用コンセント設備 					
取 組 実 績		<p>平成26年度実績 ・北上小学校建設基本構想検討委員会を設置し、建設基本構想・基本計画を策定。</p> <p>平成29年度実績 ・北上小学校移転新築工事設計業務プロポーザル選定委員会を設置し、設計者を選定。 ・設計業務（太陽光発電設備 平成29年9月29日～平成30年9月30日）</p> <p>平成30年度実績 ・設計業務（太陽光発電設備 平成29年9月29日～平成30年9月30日）</p> <p>令和元年度実績 ・設置工事（太陽光発電設備 平成30年12月8日～令和2年2月28日）</p>					
成 果		平成30年12月に建設工事着工。令和2年2月28日に工事が完了した。					
成果に係る評価		計画どおり工事が完了し、令和2年4月から供用開始することができた。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	76,900,000	43,936,615			39,914,328	4,022,287	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																										
	2 項	小学校費				(1)	未来の人を育てる																																										
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																										
実施計画掲載ページ		P211	中 事 業	小学校防災機能強化事業費																																													
事業コード		004-101-001-00988	事 業 名	小学校防災機能強化事業																																													
目的及び事業内容		<p>屋内運動場等の吊り天井、照明器具等の落下防止のため、天井撤去、補強、落下防止策等の改修工事を実施し、生徒が安全・安心な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																															
取 組 実 績		<p>屋内運動場等の天井等の落下防止対策が必要な小学校1校1棟について、改修工事を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事（繰越事業） 渡波小学校（講堂）</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="3">R1予算額</th> <th colspan="3">R1事業費</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>1,000,000</td> <td>1,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>3,500,000</td> <td>3,500,000</td> <td>0</td> <td>3,495,800</td> <td>3,495,800</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>109,285,000</td> <td>109,285,000</td> <td>0</td> <td>102,550,800</td> <td>102,550,800</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>113,835,000</td> <td>113,835,000</td> <td>0</td> <td>106,096,600</td> <td>106,096,600</td> </tr> </tbody> </table>						費目	R1予算額			R1事業費			繰越分	現年度分	繰越分	繰越分	現年度分	消耗品費	50,000	50,000	0	50,000	50,000	手数料	1,000,000	1,000,000	0	0	0	監理	3,500,000	3,500,000	0	3,495,800	3,495,800	工事	109,285,000	109,285,000	0	102,550,800	102,550,800	計	113,835,000	113,835,000	0	106,096,600	106,096,600
費目	R1予算額			R1事業費																																													
	繰越分	現年度分	繰越分	繰越分	現年度分																																												
消耗品費	50,000	50,000	0	50,000	50,000																																												
手数料	1,000,000	1,000,000	0	0	0																																												
監理	3,500,000	3,500,000	0	3,495,800	3,495,800																																												
工事	109,285,000	109,285,000	0	102,550,800	102,550,800																																												
計	113,835,000	113,835,000	0	106,096,600	106,096,600																																												
成 果		<p>屋内運動場等の天井等の落下防止対策が必要な小学校1校について改修工事を実施し、生徒が安全・安心な環境で学習できるよう整備が図られた。</p> <p>屋内運動場等の吊り天井対策は、令和元年度で終了となった。</p>																																															
成果に係る評価		<p>日常時の学校生活において生徒の安全を守るため、さらには災害発生時において避難所としての機能を維持するため、学校施設の防災機能強化を継続していく必要がある。</p>																																															
(単位：円)																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	113,835,000	106,096,600	35,280,000	67,100,000		3,716,600																																											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()															
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()															
	1 目	学校管理費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()															
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業	中学校管理費（教育総務課）																		
事業コード	002-001-003-00217	事 業 名	遠距離通学支援事業（中学校）																			
目的及び事業内容	<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等を運行することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス等の運行 																					
取組実績	<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行を実施した。</p> <p>スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H30</td> <td>6校</td> <td>68人</td> <td>57,202,443 円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6校</td> <td>68人</td> <td>54,360,010 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（R1） 荻浜中学校、北上中学校、牡鹿中学校、雄勝中学校、河北中学校、万石浦中学校</p>								区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	H30	6校	68人	57,202,443 円	R1	6校	68人	54,360,010 円
	区分	年度	学校数	対象人数	事業費																	
スクールバス等	H30	6校	68人	57,202,443 円																		
	R1	6校	68人	54,360,010 円																		
成 果	<p>学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった生徒のため、スクールバス等の運行を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保が図られた。</p>																					
成果に係る評価	<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる生徒の安全・安心の確保を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要がある。</p>																					
（単位：円）																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																
	65,920,059	54,360,010	15,906,152			38,453,858																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																															
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P 21	中 事 業	中学校保健費																																		
事業コード	002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（中学校） 学校医・薬剤師配置事業（中学校）																																			
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																					
取組実績	<p>1 学校医の配置 中学校19校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校医の人数 <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>18 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>5 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>20 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 中学校19校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校薬剤師の人数 <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>17 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>1年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td>貧血・脂質検査</td> <td>2年生</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>								内 科 医	18 人	耳 鼻 科 医	5 人	眼 科 医	5 人	歯 科 医	20 人	薬 剤 師	17 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生	耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年	貧血・脂質検査	2年生
	内 科 医	18 人	耳 鼻 科 医	5 人																																		
眼 科 医	5 人	歯 科 医	20 人																																			
薬 剤 師	17 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生																																			
耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年	貧血・脂質検査	2年生																																			
成 果	<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断 中学生 3,403人 心臓病検診 1年生 1,110人</p> <p>2 飲料水水質検査 中学校 19校</p>																																					
成果に係る評価	<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、生徒に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、生徒の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。</p>																																					
（単位：円）																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																
	22,277,000	21,247,070	325,000			20,922,070																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																								
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																								
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																								
実施計画掲載ページ		P27	中 事 業	中学校教育用コンピューター関係費																																											
事業コード		002-001-003-00240	事 業 名	情報教育環境整備事業（中学校）																																											
目的及び事業内容		国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内中学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。																																													
取組実績		<p>中学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="3">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピューター</th> <th>電子黒板</th> <th>タブレット（指導者用）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>石巻地区 2校： 55台</td> <td>石巻地区 2校： 6台</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>河北地区 2校： 71台</td> <td>河北地区 2校： 9台</td> <td>河北地区 2校： 9台</td> </tr> <tr> <td>桃生地区 1校： 39台</td> <td>桃生地区 1校： 6台</td> <td>桃生地区 1校： 6台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>河南地区 2校： 82台</td> <td>河南地区 2校： 15台</td> <td>河南地区 2校： 15台</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区 1校： 19台</td> <td>牡鹿地区 1校： 3台</td> <td>牡鹿地区 1校： 3台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>石巻地区 7校： 278台</td> <td>石巻地区 7校： 68台</td> <td>石巻地区 7校： 68台</td> </tr> <tr> <td>石巻地区 2校： 88台</td> <td>石巻地区 2校： 22台</td> <td>石巻地区 2校： 82台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>雄勝地区 2校： 12台</td> <td>雄勝地区 1校： 4台</td> <td>雄勝地区 1校： 8台</td> </tr> <tr> <td>北上地区 1校： 24台</td> <td>北上地区 1校： 5台</td> <td>北上地区 1校： 21台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成27年度については、以前に更新したりリース料金等の支払いのみ。 ※ 教育用コンピューター…P C 室用 P C、教材作成用 P C、普通教室/特別教室用 P C ※ 上記数量には、寄附等で整備した機器は含まない。</p>							整備年度	整備内容			教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（指導者用）	H26	石巻地区 2校： 55台	石巻地区 2校： 6台	—	H28	河北地区 2校： 71台	河北地区 2校： 9台	河北地区 2校： 9台	桃生地区 1校： 39台	桃生地区 1校： 6台	桃生地区 1校： 6台	H29	河南地区 2校： 82台	河南地区 2校： 15台	河南地区 2校： 15台	牡鹿地区 1校： 19台	牡鹿地区 1校： 3台	牡鹿地区 1校： 3台	H30	石巻地区 7校： 278台	石巻地区 7校： 68台	石巻地区 7校： 68台	石巻地区 2校： 88台	石巻地区 2校： 22台	石巻地区 2校： 82台	R1	雄勝地区 2校： 12台	雄勝地区 1校： 4台	雄勝地区 1校： 8台	北上地区 1校： 24台	北上地区 1校： 5台	北上地区 1校： 21台
整備年度	整備内容																																														
	教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（指導者用）																																												
H26	石巻地区 2校： 55台	石巻地区 2校： 6台	—																																												
H28	河北地区 2校： 71台	河北地区 2校： 9台	河北地区 2校： 9台																																												
	桃生地区 1校： 39台	桃生地区 1校： 6台	桃生地区 1校： 6台																																												
H29	河南地区 2校： 82台	河南地区 2校： 15台	河南地区 2校： 15台																																												
	牡鹿地区 1校： 19台	牡鹿地区 1校： 3台	牡鹿地区 1校： 3台																																												
H30	石巻地区 7校： 278台	石巻地区 7校： 68台	石巻地区 7校： 68台																																												
	石巻地区 2校： 88台	石巻地区 2校： 22台	石巻地区 2校： 82台																																												
R1	雄勝地区 2校： 12台	雄勝地区 1校： 4台	雄勝地区 1校： 8台																																												
	北上地区 1校： 24台	北上地区 1校： 5台	北上地区 1校： 21台																																												
成 果		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が I C T の活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 平成28年度より教育用コンピューターの更新に合わせ、タブレットを整備している。 タブレットの整備を充実する事により、普通教室でも I C T 機器の活用が図られるようになってきた。 																																													
成果に係る評価		<ul style="list-style-type: none"> 情報化社会に必要な知識を習得するため、これからの学習活動を支える I C T 機器等[大型提示装置（電子黒板等）、学習者用コンピュータ（タブレット）等]や無線 L A N 環境の整備を進めてきたが、文部科学省が新たに策定した「教育の I C T 化に向けた環境整備5か年計画（平成30年度～令和4年度）」に基づき、タブレットの整備台数を増やす等、より一層整備を進める必要がある。 デジタル教科書の活用や電子黒板等の整備台数を増やしたことにより、多くの教員が I C T 機器を活用する機会が増え、I C T 活用能力向上が図られた。 教育の I C T 化に向けた環境整備5か年計画の目標項目内にある「学習者用コンピュータ：3クラスに1クラス分程度の整備」の水準には達していないので、新たに進めることになる「G I G A スクール構想」と併せて I C T 環境の整備を充実させていく。 																																													
（単位：円）																																															
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																								
		60,737,000	60,283,075				60,283,075																																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																									
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																									
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																									
実施計画掲載ページ		P26	中 事 業	中学校教育振興援助費																																												
事業コード		002-001-003-00222	事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																																												
目的及び事業内容		経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者の経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成																																														
取組実績		<p>1 就学援助費 中学校：認定者数 396名 / 生徒数 3,410名 (11.61%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>9,269,975 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>153,784 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>510,548 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>1,664,600 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>7,440,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>9,271,740 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>17,474,227 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>347,020 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>46,131,894 円</td></tr> </table> <p>2 特別支援教育就学奨励費 中学校：認定者数 50名 / 生徒数 3,410名 (1.47%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>325,460 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>3,309 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>27,708 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>212,631 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>287,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>316,537 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>612,326 円</td></tr> <tr><td>交流学習交通費</td><td>63,935 円</td></tr> <tr><td>職場実習交通費</td><td>4,914,135 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>6,763,041 円</td></tr> </table>							学用品費	9,269,975 円	校外活動費（宿泊なし）	153,784 円	校外活動費（宿泊あり）	510,548 円	通学費	0 円	新入学学用品費	1,664,600 円	新入学準備金	7,440,000 円	修学旅行費	9,271,740 円	給食費	17,474,227 円	医療費	347,020 円	計	46,131,894 円	学用品費	325,460 円	校外活動費（宿泊なし）	3,309 円	校外活動費（宿泊あり）	27,708 円	通学費	212,631 円	新入学学用品費	287,000 円	修学旅行費	316,537 円	給食費	612,326 円	交流学習交通費	63,935 円	職場実習交通費	4,914,135 円	計	6,763,041 円
学用品費	9,269,975 円																																															
校外活動費（宿泊なし）	153,784 円																																															
校外活動費（宿泊あり）	510,548 円																																															
通学費	0 円																																															
新入学学用品費	1,664,600 円																																															
新入学準備金	7,440,000 円																																															
修学旅行費	9,271,740 円																																															
給食費	17,474,227 円																																															
医療費	347,020 円																																															
計	46,131,894 円																																															
学用品費	325,460 円																																															
校外活動費（宿泊なし）	3,309 円																																															
校外活動費（宿泊あり）	27,708 円																																															
通学費	212,631 円																																															
新入学学用品費	287,000 円																																															
修学旅行費	316,537 円																																															
給食費	612,326 円																																															
交流学習交通費	63,935 円																																															
職場実習交通費	4,914,135 円																																															
計	6,763,041 円																																															
成 果		経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 なお、平成29年度から実施している新入学準備金については、124名の生徒の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。																																														
成果に係る評価		経済的な事情により就学が困難な生徒や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての生徒の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。																																														
（単位：円）																																																
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																									
		54,033,000	52,894,935	3,502,820			49,392,115																																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																																		
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																		
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																		
実施計画掲載ページ		P 27	中 事 業	中学校図書整備事業費																																																					
事業コード	002-001-003-00239	事 業 名	学校図書整備事業（中学校）																																																						
目的及び事業内容		<p>文部科学省は、更なる学校図書館の整備充実のため、平成29年度から令和3年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備等5か年計画」として策定し、蔵書の計画的な更新を図ることとした。学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人形格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																							
取組実績		<p>市内全ての中学校において、令和元年度末に学校図書館図書標準に対する充足率を100%とすることを目標として整備してきた。令和元年度予算としては、充足率達成校には更新のために、未達成となっている学校には不足分購入のためとして加算配分し、各学校の充足率の向上に努めた。</p> <p>令和元年度においては、前年度と比較して整備冊数は増え、生徒の読書活動や学習活動に役立つ充実した図書を購入することができた。</p> <p>＜中学校図書の整備冊数＞</p> <table border="1"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>12,477冊</td> <td>12,314冊</td> <td>9,523冊</td> <td>9,056冊</td> <td>11,950冊</td> <td>19,821冊</td> </tr> </table> <p>※ 寄贈含む。</p> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について</p> <p>平成5年に文科省で定めた公立の義務教育諸学校において学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>							H26	H27	H28	H29	H30	R1	12,477冊	12,314冊	9,523冊	9,056冊	11,950冊	19,821冊																																					
H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																				
12,477冊	12,314冊	9,523冊	9,056冊	11,950冊	19,821冊																																																				
成 果		<p>充足率の低い学校へ予算を重点的に配分した結果、各学校の充足率の向上と学習活動を支援する図書の整備ができ、充足率達成校が着実に増えた。</p> <p>整備した図書については、読書活動や学習活動に積極的に活用され、確かな学力と豊かな人間性を育成した。</p> <p>＜中学校図書充足率達成状況＞</p> <table border="1"> <tr> <td>達成率</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>3校</td> <td>2校</td> <td>6校</td> <td>7校</td> <td>11校</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>7校</td> <td>11校</td> <td>7校</td> <td>7校</td> <td>8校</td> <td>3校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>4校</td> <td>2校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>19校</td> <td>19校</td> <td>19校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>15.00%</td> <td>10.00%</td> <td>30.00%</td> <td>36.84%</td> <td>57.89%</td> <td>84.21%</td> </tr> </table> <p>※各年度末時点</p>							達成率	H26	H27	H28	H29	H30	R1	100%以上（A）	3校	2校	6校	7校	11校	16校	75%以上-100%未満	7校	11校	7校	7校	8校	3校	50%以上-75%未満	6校	5校	6校	5校	0校	0校	50%未満	4校	2校	1校	0校	0校	0校	合計(B)	20校	20校	20校	19校	19校	19校	100%以上達成校の割合（A/B）	15.00%	10.00%	30.00%	36.84%	57.89%	84.21%
達成率	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																			
100%以上（A）	3校	2校	6校	7校	11校	16校																																																			
75%以上-100%未満	7校	11校	7校	7校	8校	3校																																																			
50%以上-75%未満	6校	5校	6校	5校	0校	0校																																																			
50%未満	4校	2校	1校	0校	0校	0校																																																			
合計(B)	20校	20校	20校	19校	19校	19校																																																			
100%以上達成校の割合（A/B）	15.00%	10.00%	30.00%	36.84%	57.89%	84.21%																																																			
成果に係る評価		<p>令和元年度の目標であった充足率100%には届かなかったものの、着実に達成校は増えている。今後も中学校全体の充足率100%の達成を目指しながら、読書環境や学習環境について、質、量とも充実した学校図書の整備を図り、計画的な図書の更新を図っていきたい。</p>																																																							
（単位：円）																																																									
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
		36,000,000	35,543,926			22,000,000	13,543,926																																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																																							
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																							
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																							
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業	中学校施設老朽化対策事業費																																																										
事業コード	002-001-003-01028	事 業 名	中学校校舎老朽化対策事業																																																											
目的及び事業内容		<p>老朽化が著しく進行している学校施設について屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																																												
取組実績		<p>老朽化が著しく進行している中学校2校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。また、令和2年度の工事着手を予定している山下中学校の設計業務を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事 河北中学校（平成30年度からの繰越事業）、北上中学校（令和2年度へ繰越） ※北上中学校は、外壁補修箇所が想定以上に多く、改修期間が延びたことから工期を延長した。（令和2年5月完了）</p> <p>(2) 設計（令和2年度工事着手予定） 山下中学校</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 （単位：円）</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th rowspan="2">R1予算額</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th colspan="2">R2繰越</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>R1事業費</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>R2繰越</th> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>13,408,000</td> <td>0</td> <td>13,408,000</td> <td>13,407,900</td> <td>0</td> <td>13,407,900</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>12,100,000</td> <td>5,600,000</td> <td>6,500,000</td> <td>5,055,480</td> <td>5,055,480</td> <td>0</td> <td>6,500,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>286,470,000</td> <td>88,470,000</td> <td>198,000,000</td> <td>175,347,000</td> <td>86,567,000</td> <td>88,780,000</td> <td>109,220,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>312,028,000</td> <td>94,070,000</td> <td>217,958,000</td> <td>193,860,380</td> <td>91,622,480</td> <td>102,237,900</td> <td>115,720,000</td> </tr> </table>							費目	R1予算額	繰越分		現年度分		R2繰越		繰越分	現年度分	R1事業費	繰越分	現年度分	R2繰越	消耗品費	50,000	0	50,000	50,000	0	50,000	0	設計	13,408,000	0	13,408,000	13,407,900	0	13,407,900	0	監理	12,100,000	5,600,000	6,500,000	5,055,480	5,055,480	0	6,500,000	工事	286,470,000	88,470,000	198,000,000	175,347,000	86,567,000	88,780,000	109,220,000	計	312,028,000	94,070,000	217,958,000	193,860,380	91,622,480	102,237,900	115,720,000
費目	R1予算額	繰越分		現年度分		R2繰越																																																								
		繰越分	現年度分	R1事業費	繰越分	現年度分	R2繰越																																																							
消耗品費	50,000	0	50,000	50,000	0	50,000	0																																																							
設計	13,408,000	0	13,408,000	13,407,900	0	13,407,900	0																																																							
監理	12,100,000	5,600,000	6,500,000	5,055,480	5,055,480	0	6,500,000																																																							
工事	286,470,000	88,470,000	198,000,000	175,347,000	86,567,000	88,780,000	109,220,000																																																							
計	312,028,000	94,070,000	217,958,000	193,860,380	91,622,480	102,237,900	115,720,000																																																							
成 果		<p>老朽化が著しく進行している中学校2校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施したことにより、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。</p>																																																												
成果に係る評価		<p>令和元年度は中学校2校の工事を実施したことで、施設の延命化を図るとともに生徒の教育環境の改善が図られた。</p> <p>市内の学校施設は老朽化が進んでおり、現在策定中の「学校施設整備保全計画」により、今後も引き続き事業を継続する必要がある。</p> <p>また、現状では主に屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施しているが、整備手法や費用について適切な改修方法を検討しながら事業を行っていく。</p>																																																												
（単位：円）																																																														
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
		196,308,000	193,860,380	28,000,000	157,400,000		8,460,380																																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																					
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																					
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																					
実施計画掲載ページ		P 30	中 事 業	河南西中学校水泳プール改築事業費																								
事業コード		002-001-003-01080	事 業 名	河南西中学校プール改築事業																								
目的及び事業内容		河南西中学校の水泳プールは、施設の老朽化や給排水設備の腐食が進んでいるほか、震災以降地盤沈下も進行しているため、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況であり、早急な改築が必要なことから、令和元年度に改築工事を実施し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。																										
取組実績		平成30年度に地質調査、実施設計を行い、令和元年度はプール改築工事を行った。(令和2年度繰越)																										
		1 全体事業 (1) 平成30年度 地質調査、実施設計 (2) 令和元年度 改築工事 2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R1予算額</th> <th>R1事業費</th> <th>R2繰越</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品</td> <td>50,000</td> <td>40,870</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>8,700,000</td> <td></td> <td>8,700,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>298,100,000</td> <td>116,507,040</td> <td>181,592,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>306,850,000</td> <td>116,547,910</td> <td>190,292,000</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R1予算額	R1事業費	R2繰越	消耗品	50,000	40,870	0	監理	8,700,000		8,700,000	工事	298,100,000	116,507,040	181,592,000	合計	306,850,000	116,547,910	190,292,000
内訳	R1予算額	R1事業費	R2繰越																									
消耗品	50,000	40,870	0																									
監理	8,700,000		8,700,000																									
工事	298,100,000	116,507,040	181,592,000																									
合計	306,850,000	116,547,910	190,292,000																									
成 果		老朽化の進んだ河南西中学校プールについて、平成30年度は地質調査と設計業務を実施し、令和元年度は既存プールの解体とプール新設工事を行った。着工前、設計内容を再度精査したことにより想定より工期を要したが、令和2年6月に完了し、教育環境の改善を図った。																										
成果に係る評価		右巻市内の学校の水泳プールは整備後30年以上が経過しているものも多く、設備機器の老朽化も進行していることから、生徒の教育環境の改善を図るため、計画的な整備を進める必要がある。また、事業の継続に際し、老朽化の進行具合だけでなく、学校の統廃合の状況等を考慮しながら、適切な整備方針の検討を続ける。																										
予算の執行状況		(単位：円)																										
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
		116,558,000	116,547,910		110,600,000		5,947,910																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																
実施計画掲載ページ		P 209	中 事 業	被災生徒通学支援事業費																			
事業コード		004-101-001-00480	事 業 名	被災生徒通学支援事業(中学校)																			
目的及び事業内容		東日本大震災により学校が被災したため、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・仮設住宅スクールバス等の運行 ・通学路安全対策スクールバスの運行																					
取組実績		東日本大震災により学校が被災したため、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。																					
		(支援実績)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>延べ学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通学路安全対策バス</td> <td>1 校</td> <td>32 人</td> <td>20,504,272 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1 校</td> <td>32 人</td> <td>20,504,272 円</td> </tr> </tbody> </table> ※H30年度終了						区 分	延べ学校数	対象人数	金 額	通学路安全対策バス	1 校	32 人	20,504,272 円	仮設住宅スクールバス等	0	0	0 円	計	1 校	32 人	20,504,272 円
区 分	延べ学校数	対象人数	金 額																				
通学路安全対策バス	1 校	32 人	20,504,272 円																				
仮設住宅スクールバス等	0	0	0 円																				
計	1 校	32 人	20,504,272 円																				
		通学路安全対策バス <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊中学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table>						学校名	状 況	湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行												
学校名	状 況																						
湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行																						
		※仮設住宅スクールバス等利用生徒在籍校 (H30参考) 湊中学校、雄勝中学校、北上中学校																					
成 果		東日本大震災により被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、利用状況に応じたスクールバス等の運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。																					
成果に係る評価		東日本大震災により通学支援が必要となった生徒の安全・安心を図るために継続が求められる事業である。被災した通学路の復旧については一部未完了であることから、その復旧状況を踏まえた事業実施を進める必要がある。																					
予算の執行状況		(単位：円)																					
		予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
		22,575,000	20,504,272	13,895,996			6,608,276																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																				
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																				
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																				
実施計画掲載ページ		P209	中 事 業	被災生徒就学支援事業費																							
事業コード		004-101-001-00481	事 業 名	被災生徒就学支援事業（中学校）																							
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった生徒の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、生徒の就学の機会を確保する。 (支給対象者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯 世帯収入が著しく減少した世帯 原子力発電所の事故により避難してきた世帯 																									
取組実績		<p>1 就学援助費 中学校：認定者数 903名 / 生徒数 3,410名 (26.48%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>21,716,485 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>341,568 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>1,382,908 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>4,592,000 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>9,480,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>19,902,268 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>41,617,526 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>43,930 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>99,076,685 円</td></tr> </table>						学用品費	21,716,485 円	校外活動費(宿泊なし)	341,568 円	校外活動費(宿泊あり)	1,382,908 円	通学費	0 円	新入学学用品費	4,592,000 円	新入学準備金	9,480,000 円	修学旅行費	19,902,268 円	給食費	41,617,526 円	医療費	43,930 円	計	99,076,685 円
学用品費	21,716,485 円																										
校外活動費(宿泊なし)	341,568 円																										
校外活動費(宿泊あり)	1,382,908 円																										
通学費	0 円																										
新入学学用品費	4,592,000 円																										
新入学準備金	9,480,000 円																										
修学旅行費	19,902,268 円																										
給食費	41,617,526 円																										
医療費	43,930 円																										
計	99,076,685 円																										
成 果		<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった生徒の保護者に対して就学援助費を支給することにより、経済的な負担を軽減することができた。 平成29年度から実施している新入学準備金については、220名の生徒の保護者に助成を行い、就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。 被災者の再建状況を踏まえ、被災生徒就学援助費の認定基準について検討し、平成30年度より認定基準に所得要件を加え、均等な教育機会の提供ができるよう見直しを行った。</p>																									
成果に係る評価		<p>東日本大震災により被災し、就学が困難な生徒の就学機会を確保するため、これまで被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金及び被災児童生徒就学支援等事業交付金として支援を行ってきた。 令和3年度以降の交付金については、交付対象地域を全国から被災3県に地域を限定し、継続される見通しとなったことから、財源確保について関係機関と調整しながら支援を継続していく必要がある。</p>																									
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	105,500,000	99,076,685	99,076,685																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																																																
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																																
実施計画掲載ページ		P211	中 事 業	中学校防災機能強化事業費																																																			
事業コード		004-101-001-00989	事 業 名	中学校防災機能強化事業																																																			
目的及び事業内容		<p>屋内運動場等の吊り天井、照明器具等の落下防止のため、天井撤去、補強、落下防止策等の改修工事を実施し、生徒が安全・安心な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																																					
取組実績		<p>屋内運動場等の天井等の落下防止対策が必要な中学校1校1棟について、改修工事を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事(繰越事業) 湊中学校(武道場(1F部分)、講堂(2F部分))</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="3">R1予算額</th> <th colspan="3">R1事業費</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>1,000,000</td> <td>1,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>8,000,000</td> <td>8,000,000</td> <td>0</td> <td>5,280,000</td> <td>5,280,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>233,000,000</td> <td>233,000,000</td> <td>0</td> <td>178,643,300</td> <td>178,643,300</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>242,050,000</td> <td>242,050,000</td> <td>0</td> <td>183,973,300</td> <td>183,973,300</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>						費目	R1予算額			R1事業費			繰越分	現年度分	繰越分	繰越分	現年度分	繰越分	消耗品費	50,000	50,000	0	50,000	50,000	0	手数料	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	監理	8,000,000	8,000,000	0	5,280,000	5,280,000	0	工事	233,000,000	233,000,000	0	178,643,300	178,643,300	0	計	242,050,000	242,050,000	0	183,973,300	183,973,300	0
費目	R1予算額			R1事業費																																																			
	繰越分	現年度分	繰越分	繰越分	現年度分	繰越分																																																	
消耗品費	50,000	50,000	0	50,000	50,000	0																																																	
手数料	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0																																																	
監理	8,000,000	8,000,000	0	5,280,000	5,280,000	0																																																	
工事	233,000,000	233,000,000	0	178,643,300	178,643,300	0																																																	
計	242,050,000	242,050,000	0	183,973,300	183,973,300	0																																																	
成 果		<p>屋内運動場等の天井等の落下防止対策が必要な中学校1校について改修工事を実施し、生徒が安全・安心な環境で学習できるよう整備が図られた。 屋内運動場等の吊り天井対策は、令和元年度で終了となった。</p>																																																					
成果に係る評価		<p>日常時の学校生活において生徒の安全を守るため、さらには災害発生時において避難所としての機能を維持するため、学校施設の防災機能強化を継続していく必要がある。</p>																																																					
(単位：円)																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
	242,050,000	183,973,300	53,454,000	123,700,000			6,819,300																																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																															
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力はぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業	高等学校保健費																																		
事業コード	002-001-002-00219 002-001-002-00221	事業名	健康診断・検査等実施事業（高等学校） 学校医・薬剤師配置事業（高等学校）																																			
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、桜坂高等学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																					
取組実績	<p>1 学校医の配置 桜坂高等学校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>1 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>1 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>2 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 桜坂高等学校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>1 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>1年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 桜坂高等学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>								内 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	1 人	眼 科 医	1 人	歯 科 医	2 人	薬 剤 師	1 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生	耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年		
	内 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	1 人																																		
眼 科 医	1 人	歯 科 医	2 人																																			
薬 剤 師	1 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生																																			
耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年																																					
成 果	<p>各健康診断・検査を行い、保護者、桜坂高等学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断 全学年 480人 心臓病検診 1年生 139人</p> <p>2 飲料水水質検査 高等学校 1校</p>																																					
成果に係る評価	<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、生徒に対して的確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、生徒の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。</p>																																					
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	2,626,000	2,120,222				2,120,222																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																																											
	4 項	高等学校費		第 節			()																																											
	1 目	学校管理費		()			()																																											
実施計画掲載ページ			中 事 業	魅力ある学校づくり事業費																																														
事業コード		事業名	桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業																																															
目的及び事業内容	<p>【事業内容】 生徒の人間力を高め、一人一人の夢を実現させるために、桜坂高校が掲げる「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実施し、必要な事業を実施する。</p> <p>【事業目的】 県内唯一の公立女子高等学校として、特色ある教育活動に取り組むことで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指すとともに、桜坂高校の魅力を広くPRすることで募集定員を確保する。</p>																																																	
取組実績	<p>1 各種講座等</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 小笠原流礼法指導</td> <td>全学年</td> <td>各1回実施</td> </tr> <tr> <td>(2) 公務員試験講座</td> <td></td> <td>9回実施</td> </tr> <tr> <td>(3) 進学就職のための各種講座</td> <td>年間</td> <td>12回実施</td> </tr> <tr> <td>ア 模擬面接</td> <td></td> <td>8回実施</td> </tr> <tr> <td>イ ビジスマナー講座</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>ウ 社会人の常識とマナー</td> <td></td> <td>2回実施</td> </tr> <tr> <td>エ メイクアップ講座</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(4) 先輩の話を聞く会</td> <td>1、2年生</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(5) 親教育講話</td> <td>3年生</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(6) 桜坂タイム関連講座</td> <td>各学年</td> <td>年間 40回実施</td> </tr> <tr> <td>ア まちなかポスタープロジェクト</td> <td></td> <td>1学年12回</td> </tr> <tr> <td>イ さくらプロジェクト</td> <td></td> <td>2学年19回</td> </tr> <tr> <td>ウ 市役所プロジェクト</td> <td></td> <td>3学年 9回</td> </tr> <tr> <td>(7) 学力保証に係る事業</td> <td></td> <td>年間 4回実施</td> </tr> </table> <p>2 開校記念講話 講師 弁護士 菊間 千乃</p> <p>3 進路ガイダンス参加 オープンキャンパス、夢ナビライブ、就職説明会等</p>								(1) 小笠原流礼法指導	全学年	各1回実施	(2) 公務員試験講座		9回実施	(3) 進学就職のための各種講座	年間	12回実施	ア 模擬面接		8回実施	イ ビジスマナー講座		1回実施	ウ 社会人の常識とマナー		2回実施	エ メイクアップ講座		1回実施	(4) 先輩の話を聞く会	1、2年生	1回実施	(5) 親教育講話	3年生	1回実施	(6) 桜坂タイム関連講座	各学年	年間 40回実施	ア まちなかポスタープロジェクト		1学年12回	イ さくらプロジェクト		2学年19回	ウ 市役所プロジェクト		3学年 9回	(7) 学力保証に係る事業		年間 4回実施
	(1) 小笠原流礼法指導	全学年	各1回実施																																															
(2) 公務員試験講座		9回実施																																																
(3) 進学就職のための各種講座	年間	12回実施																																																
ア 模擬面接		8回実施																																																
イ ビジスマナー講座		1回実施																																																
ウ 社会人の常識とマナー		2回実施																																																
エ メイクアップ講座		1回実施																																																
(4) 先輩の話を聞く会	1、2年生	1回実施																																																
(5) 親教育講話	3年生	1回実施																																																
(6) 桜坂タイム関連講座	各学年	年間 40回実施																																																
ア まちなかポスタープロジェクト		1学年12回																																																
イ さくらプロジェクト		2学年19回																																																
ウ 市役所プロジェクト		3学年 9回																																																
(7) 学力保証に係る事業		年間 4回実施																																																
成 果	<p>1 各種講座等について 生徒の将来の夢の実現のため、各方面から講師を招いて講座等を実施した。 特に、礼法指導の基礎を学び、品格教育の充実が図られたことや、公務員を志望する生徒のための公務員試験講座や、コミュニケーション能力を高めるための講座などに加え、地域に貢献できる人材の育成を図るための事業として、総合的な学習の時間において「桜坂タイム」を全学年で実施し、成果をまとめたことは、魅力ある学校づくり事業の推進につながったと言える。</p> <p>2 開校記念講話について 元アナウンサーであり、現在は弁護士として活躍している講師が「自分らしい生き方とは」と題して講演した。生徒は、女性としての生き方についての実践的な話を聴き、夢の実現に向けて自ら考えることができた。</p> <p>3 進路ガイダンス参加について 大学のオープンキャンパスや進学、就職合同説明会等に参加することで、進路目標を具体的に考える良い機会となった。</p>																																																	
成果に係る評価	<p>本事業を実施し、「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践することにより「魅力ある学校づくり」を推進することができた。 令和2年度入学者選抜においては、学励探求コース・キャリア探求コースともに定員割れが続いている状況であるが、本事業の推進を図り、より一層、教育活動を充実させ「学校の魅力向上」を図るとともに、「学校の魅力発信」に努め、桜坂高校の魅力を石巻市内外に強力にPRし、定員の確保を図る必要がある。</p>																																																	
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	3,562,000	3,323,851				3,323,851																																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																
実施計画掲載ページ		P27	中 事 業		高等学校教育用コンピューター関係費																		
事業コード		002-001-003-00240	事 業 名		情報教育環境整備事業（高等学校）																		
目的及び事業内容		国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市立高等学校の教育用コンピューターや周辺機器の充実を図る。																					
取組実績		<p>高等学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="3">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピューター</th> <th>電子黒板</th> <th>タブレット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>市立女子商：86台</td> <td>市立女子高（桜坂高）：17台</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>桜坂高：3台</td> <td>桜坂高：2台</td> <td>桜坂高：123台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成26年度に市立女子商高へ整備したPC室用コンピューター86台は、平成27年3月に市立女子高（現桜坂高）へ移設。 ※ 電子黒板17台については、高等学校統合整備事業費（備品購入費）で整備。 ※ 平成28～30年度、令和元年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。</p>							整備年度	整備内容			教育用コンピューター	電子黒板	タブレット	H26	市立女子商：86台	市立女子高（桜坂高）：17台	—	H27	桜坂高：3台	桜坂高：2台	桜坂高：123台
整備年度	整備内容																						
	教育用コンピューター	電子黒板	タブレット																				
H26	市立女子商：86台	市立女子高（桜坂高）：17台	—																				
H27	桜坂高：3台	桜坂高：2台	桜坂高：123台																				
成 果		<ul style="list-style-type: none"> 生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報機器活用能力の育成が図られた。 情報化社会に参画する姿勢が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 タブレット、PC機器を充実させることで生徒へのICTにおけるより高度な教育が実現できた。 																					
成果に係る評価		<ul style="list-style-type: none"> 高等学校の教育用コンピューターについては、学校の教育課程に則した機器を検討・選定し、計画的に整備している。 多くの教員がICT機器に触れる機会が増え、活用能力の向上が図られた。 整備後年数が経過し、故障頻度が増加してくることから、授業に支障が生じないように機器の保守に努めていきたい。 新たに進めることになる「GIGAスクール構想」と併せてICT環境の整備を充実させていく。 																					
（単位：円）																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																		
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源															
	13,246,000		12,543,242					12,543,242															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																															
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業		幼稚園保健費																																	
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名		健康診断・検査等実施事業（幼稚園） 学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）																																	
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医等を配置し定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園医の配置 幼稚園薬剤師の配置 定期健康診断の実施 飲料水水質検査の実施 																																				
取組実績		<p>1 幼稚園医の配置 市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委嘱した幼稚園医の人数 <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>4 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>3 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>4 人</td> </tr> </table> <p>2 幼稚園薬剤師の配置 市立幼稚園及び湊こども園に薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委嘱した幼稚園薬剤師の人数 <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>5 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全幼児</td> <td>結核検診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全幼児</td> <td>尿検査</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>全幼児</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全幼児</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 市立幼稚園及び湊こども園の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>							内 科 医	4 人	耳 鼻 科 医	3 人	眼 科 医	3 人	歯 科 医	4 人	薬 剤 師	5 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全幼児	結核検診	全幼児	眼科健診	全幼児	尿検査	全幼児	耳鼻科健診	全幼児			歯科健診	全幼児		
内 科 医	4 人	耳 鼻 科 医	3 人																																			
眼 科 医	3 人	歯 科 医	4 人																																			
薬 剤 師	5 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全幼児	結核検診	全幼児																																			
眼科健診	全幼児	尿検査	全幼児																																			
耳鼻科健診	全幼児																																					
歯科健診	全幼児																																					
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、市立幼稚園及び湊こども園に対しての確な指導と助言が行われ、幼児の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、施設内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された施設環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断 園児 138人</p> <p>2 飲料水水質検査 幼稚園、こども園 5園</p>																																				
成果に係る評価		<p>市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、幼児に対しての確な疾病等の予防指導を行っていく上で重要である。今後も幼稚園医、市立幼稚園及び湊こども園、保護者等相互の連携を密にし、幼児の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。</p>																																				
（単位：円）																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																	
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																														
	3,208,000		2,950,435					2,950,435																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																		
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																		
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力はぐくむ		()																																		
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業		私立幼稚園就園奨励費																																				
事業コード		002-001-002-00223	事 業 名		私立幼稚園就園奨励費助成事業																																				
目的及び事業内容		私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い世帯、多子世帯及びひとり親等世帯の保護者を対象に、私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、義務教育就学前における幼児教育の振興を図る。 ・私立幼稚園就園奨励費の助成																																							
取組実績		市内に居住している園児の入園料、保育料の減免措置を行っている私立幼稚園に対し、一部国の補助を受け補助金を交付した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活保護世帯</td> <td>2人</td> <td>253,500円</td> </tr> <tr> <td>市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）</td> <td>30人</td> <td>3,630,100円</td> </tr> <tr> <td>市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）</td> <td>23人</td> <td>2,804,700円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）</td> <td>26人</td> <td>3,106,100円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）</td> <td>1人</td> <td>153,000円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）</td> <td>205人</td> <td>22,019,200円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）</td> <td>19人</td> <td>2,338,100円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額211,200円以下の世帯</td> <td>540人</td> <td>31,150,000円</td> </tr> <tr> <td>上記以外の世帯</td> <td>61人</td> <td>4,834,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>907人</td> <td>70,288,700円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	対象人数	補助金額	生活保護世帯	2人	253,500円	市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	30人	3,630,100円	市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）	23人	2,804,700円	市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	26人	3,106,100円	市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）	1人	153,000円	市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）	205人	22,019,200円	市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）	19人	2,338,100円	市民税所得割額211,200円以下の世帯	540人	31,150,000円	上記以外の世帯	61人	4,834,000円	合計	907人	70,288,700円
区分	対象人数	補助金額																																							
生活保護世帯	2人	253,500円																																							
市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	30人	3,630,100円																																							
市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）	23人	2,804,700円																																							
市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	26人	3,106,100円																																							
市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）	1人	153,000円																																							
市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）	205人	22,019,200円																																							
市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）	19人	2,338,100円																																							
市民税所得割額211,200円以下の世帯	540人	31,150,000円																																							
上記以外の世帯	61人	4,834,000円																																							
合計	907人	70,288,700円																																							
成 果		私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い世帯、多子世帯及びひとり親等世帯の保護者を対象に、私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、就園する幼児の保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学前における幼児教育の振興に資することができた。 <p>(補助内訳)</p> 就園奨励費補助金 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>970人</td> <td>139,723,500円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>944人</td> <td>143,175,650円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>907人</td> <td>70,288,700円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	対象人数	補助金額	H29	970人	139,723,500円	H30	944人	143,175,650円	R1	907人	70,288,700円																					
区分	対象人数	補助金額																																							
H29	970人	139,723,500円																																							
H30	944人	143,175,650円																																							
R1	907人	70,288,700円																																							
成果に係る評価		本市の幼児教育の普及充実と保護者の経済的負担を軽減するため本事業を継続してきたが、令和元年10月に「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」が施行され幼児教育の無償化が実施されたことにより、本事業は終了となった。																																							
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	72,505,000	70,288,700	34,538,900				35,749,800																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																		
	5 項	幼稚園費		第 節			()																																																		
	1 目	幼稚園費		()			()																																																		
実施計画掲載ページ			中 事 業		私立幼稚園施設等利用支援事業費																																																				
事業コード			事 業 名		私立幼稚園施設等利用支援事業																																																				
目的及び事業内容		「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」が令和元年10月1日から施行され、私立幼稚園（新制度未移行幼稚園）の保育料等が上限額まで無償となることに伴い、幼稚園又は保護者に対し利用料等を給付し、保護者の負担軽減を図るとともに、私立幼稚園の健全な運営に資する。 【一人あたり上限単価】 ・保育料 25,700円 ・預かり保育料 11,300円 ・副食費 4,500円																																																							
取組実績		私立幼稚園（新制度未移行幼稚園）及び保護者に対し給付を行った。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">保育料</th> <th colspan="2">副食費</th> </tr> <tr> <th>施設代理受領</th> <th>保護者へ償還払い</th> <th>施設代理受領</th> <th>保護者へ償還払い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>穀町幼稚園</td> <td>22,946,740円</td> <td>818,450円</td> <td>694,882円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>17,426,000円</td> <td>559,950円</td> <td>100,800円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻カトリック幼稚園</td> <td>17,903,780円</td> <td>1,057,400円</td> <td>396,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻みづほ幼稚園</td> <td>33,949,700円</td> <td>2,204,100円</td> <td>496,204円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>39,386,970円</td> <td>1,831,000円</td> <td>541,566円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>25,302,260円</td> <td>1,778,400円</td> <td>429,125円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広域（石巻市外）幼稚園</td> <td>3,710,320円</td> <td>83,700円</td> <td>36,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>160,625,770円</td> <td>8,333,000円</td> <td>2,694,577円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							区分	保育料		副食費		施設代理受領	保護者へ償還払い	施設代理受領	保護者へ償還払い	穀町幼稚園	22,946,740円	818,450円	694,882円		法山寺幼稚園	17,426,000円	559,950円	100,800円		石巻カトリック幼稚園	17,903,780円	1,057,400円	396,000円		石巻みづほ幼稚園	33,949,700円	2,204,100円	496,204円		ひばり幼稚園	39,386,970円	1,831,000円	541,566円		長浜幼稚園	25,302,260円	1,778,400円	429,125円		広域（石巻市外）幼稚園	3,710,320円	83,700円	36,000円		合計	160,625,770円	8,333,000円	2,694,577円	
区分	保育料		副食費																																																						
	施設代理受領	保護者へ償還払い	施設代理受領	保護者へ償還払い																																																					
穀町幼稚園	22,946,740円	818,450円	694,882円																																																						
法山寺幼稚園	17,426,000円	559,950円	100,800円																																																						
石巻カトリック幼稚園	17,903,780円	1,057,400円	396,000円																																																						
石巻みづほ幼稚園	33,949,700円	2,204,100円	496,204円																																																						
ひばり幼稚園	39,386,970円	1,831,000円	541,566円																																																						
長浜幼稚園	25,302,260円	1,778,400円	429,125円																																																						
広域（石巻市外）幼稚園	3,710,320円	83,700円	36,000円																																																						
合計	160,625,770円	8,333,000円	2,694,577円																																																						
成 果		義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。 <p>(給付内訳)</p> 施設等利用給付 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>保育料</th> <th>預かり保育料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1（10月～3月分）</td> <td>160,625,770円</td> <td>8,333,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>補足給付費補助金</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>副食費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1（10月～3月分）</td> <td>2,694,577円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	保育料	預かり保育料	R1（10月～3月分）	160,625,770円	8,333,000円	区分	副食費	R1（10月～3月分）	2,694,577円																																							
区分	保育料	預かり保育料																																																							
R1（10月～3月分）	160,625,770円	8,333,000円																																																							
区分	副食費																																																								
R1（10月～3月分）	2,694,577円																																																								
成果に係る評価		幼児教育・保育の無償化に伴い、私立幼稚園に対して保育料を給付することにより、安定した運営に寄与することができた。また、保護者に対して、預かり保育料や副食費を補助給付することにより、保護者の負担軽減が図られた。																																																							
(単位：円)																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	207,954,000	171,653,347	131,387,285				40,266,062																																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																	
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																	
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	私立幼稚園運営費助成費																				
事業コード		002-001-002-00224	事 業 名	私立幼稚園運営費助成事業																				
目的及び事業内容		<p>市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担軽減を図る。</p> <p>・私立幼稚園運営費の助成</p> <table border="1"> <tr> <td>幼稚園割</td> <td>1園</td> <td>160,000円</td> </tr> <tr> <td>職員割</td> <td>1人</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>園児割</td> <td>1人</td> <td>1,200円</td> </tr> </table>							幼稚園割	1園	160,000円	職員割	1人	30,000円	園児割	1人	1,200円							
幼稚園割	1園	160,000円																						
職員割	1人	30,000円																						
園児割	1人	1,200円																						
取組実績		<p>市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>穀町幼稚園</td> <td>836,800円</td> </tr> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>601,600円</td> </tr> <tr> <td>石巻カトリック幼稚園</td> <td>820,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻みづほ幼稚園</td> <td>1,031,200円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>1,175,200円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>720,400円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,185,200円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	運営費補助金	穀町幼稚園	836,800円	法山寺幼稚園	601,600円	石巻カトリック幼稚園	820,000円	石巻みづほ幼稚園	1,031,200円	ひばり幼稚園	1,175,200円	長浜幼稚園	720,400円	合計	5,185,200円
区分	運営費補助金																							
穀町幼稚園	836,800円																							
法山寺幼稚園	601,600円																							
石巻カトリック幼稚園	820,000円																							
石巻みづほ幼稚園	1,031,200円																							
ひばり幼稚園	1,175,200円																							
長浜幼稚園	720,400円																							
合計	5,185,200円																							
成 果		<p>義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。</p> <p>(助成内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> <th>園数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>5,453,200円</td> <td>7園</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5,232,000円</td> <td>6園</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5,185,200円</td> <td>6園</td> </tr> </tbody> </table>							区分	運営費補助金	園数	H29	5,453,200円	7園	H30	5,232,000円	6園	R1	5,185,200円	6園				
区分	運営費補助金	園数																						
H29	5,453,200円	7園																						
H30	5,232,000円	6園																						
R1	5,185,200円	6園																						
成果に係る評価		<p>私立幼稚園の健全な運営と施設の充実を図るとともに、幼児教育の質の向上を図るため、今後も継続して本事業を実施し、本市の義務教育就学前における幼児教育を推進する必要があるが、新制度に移行した園については、健全な運営を行うための適正な公定価格を設定し給付を受けていることから、補助金支給の有無を含めて検討する必要がある。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	5,326,000	5,185,200					5,185,200																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																																	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																																																	
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																																																	
実施計画掲載ページ		P 32	中 事 業	社会教育事務費																																																																				
事業コード		002-002-001-01255	事 業 名	家庭教育支援事業																																																																				
目的及び事業内容		<p>子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどの身近な人たちによる「家庭教育支援チーム」を組織し、孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者など、地域とのコミュニケーションや学習の機会等になかなか参加できない保護者や家庭に対する支援を行う。</p>																																																																						
取組実績		<p>1 親子参加型の活動（子育てサロン）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>H29.4～H30.3</td> <td>21回</td> <td>延べ 315組 751人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>H30.4～H31.3</td> <td>22回</td> <td>延べ 336組 771人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>H31.4～R2.3</td> <td>20回</td> <td>延べ 267組 624人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 親の学び講座（親対象）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>H29.5～H30.3</td> <td>24回</td> <td>延べ 152人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>H30.6～H30.11</td> <td>16回</td> <td>延べ 80人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>R1.5～R1.11</td> <td>16回</td> <td>延べ 104人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 「親のみちるべ」講座（平成27年度より開始）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>H29.7～H29.10</td> <td>3回</td> <td>延べ 31人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>H30.9～H30.10</td> <td>2回</td> <td>延べ 26人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>R1.9～R1.10</td> <td>2回</td> <td>延べ 24人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 子育てサポーター養成講座（平成26年度より開始）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>H29.5～H29.6</td> <td>4回</td> <td>延べ 13人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>H30.5～H30.6</td> <td>4回</td> <td>延べ 24人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>R1.5～R1.6</td> <td>4回</td> <td>延べ 20人</td> </tr> </tbody> </table>							年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H29	H29.4～H30.3	21回	延べ 315組 751人	H30	H30.4～H31.3	22回	延べ 336組 771人	R1	H31.4～R2.3	20回	延べ 267組 624人	年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H29	H29.5～H30.3	24回	延べ 152人	H30	H30.6～H30.11	16回	延べ 80人	R1	R1.5～R1.11	16回	延べ 104人	年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H29	H29.7～H29.10	3回	延べ 31人	H30	H30.9～H30.10	2回	延べ 26人	R1	R1.9～R1.10	2回	延べ 24人	年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H29	H29.5～H29.6	4回	延べ 13人	H30	H30.5～H30.6	4回	延べ 24人	R1	R1.5～R1.6	4回	延べ 20人
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																					
H29	H29.4～H30.3	21回	延べ 315組 751人																																																																					
H30	H30.4～H31.3	22回	延べ 336組 771人																																																																					
R1	H31.4～R2.3	20回	延べ 267組 624人																																																																					
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																					
H29	H29.5～H30.3	24回	延べ 152人																																																																					
H30	H30.6～H30.11	16回	延べ 80人																																																																					
R1	R1.5～R1.11	16回	延べ 104人																																																																					
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																					
H29	H29.7～H29.10	3回	延べ 31人																																																																					
H30	H30.9～H30.10	2回	延べ 26人																																																																					
R1	R1.9～R1.10	2回	延べ 24人																																																																					
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																					
H29	H29.5～H29.6	4回	延べ 13人																																																																					
H30	H30.5～H30.6	4回	延べ 24人																																																																					
R1	R1.5～R1.6	4回	延べ 20人																																																																					
成 果		<p>「子育てサロン」は、実施開始から9年が経過し、親子の交流及び心のケア、育児相談の場として定着している。家庭教育支援チーム員は研修等により遊びの方法などの知識を深め、自主的に企画・運営に関わろうとしているため、徐々に内容が充実してきている。</p> <p>「親の学び講座」は、2講座（1講座につき8回実施）開催しており、受講者が意欲的に参加している。気分転換のために簡単なゲームなどを行いつつ、お互いの悩みを相談しあうことにより、子育てのスキルアップや親同士のコミュニティ形成などの成果が見られる。</p> <p>「親のみちるべ講座」は、平成27年度より東部教育事務所からの協力依頼を受けて開催しており、小学校就学前における講座開催は、主にワークショップにより親同士のコミュニティ形成に役立っており、入学前の保護者の不安を取り除いている。</p> <p>「子育てサポーター養成講座」は、県教育委員会、東部教育事務所、石巻市教育委員会が共催で地元開催している。内容は、子育て支援の専門家の講話等になっており、参加者が子育ての喜びを改めて感じたり悩みの解決方法に気付くことが出来ている。</p>																																																																						
成果に係る評価		<p>家庭教育支援事業は、子育て世帯の孤立化解消や親子の心のケア、親同士のコミュニティ形成、次世代の子育て支援・家庭教育支援を担う人材の育成が図られており、家庭教育支援チーム員として、活動を始めるなどの成果が見られることから、市民にとって意義のある事業であるため、今後も継続が必要である。</p> <p><input type="checkbox"/></p>																																																																						
(単位：円)																																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																		
	708,114	475,312	475,312																																																																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																			
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																			
	1 目	社会教育総務費		(2)	青少年を健全に育成する		()																																			
実施計画掲載ページ		P 33	中 事 業	少年指導者育成費																																						
事業コード		002-002-002-00261	事 業 名	少年指導者育成事業																																						
目的及び事業内容		<p>子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。</p> <p>宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中高生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳を授与する。</p> <p>ジュニア・リーダーの資質向上のため、各種研修の機会を提供する。</p>																																								
取 組 実 績	1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援																																									
	(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>初級研修会</td> <td>7月26日(金)～28日(日)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table>								No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	初級研修会	7月26日(金)～28日(日)	花山青少年自然の家	15人																								
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																						
1	初級研修会	7月26日(金)～28日(日)	花山青少年自然の家	15人																																						
(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中級研修会</td> <td>8月16日(金)～17日(土)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>上級研修会</td> <td>12月24日(火)～26日(木)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>								No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	中級研修会	8月16日(金)～17日(土)	志津川自然の家	1人	2	上級研修会	12月24日(火)～26日(木)	志津川自然の家	3人																				
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																						
1	中級研修会	8月16日(金)～17日(土)	志津川自然の家	1人																																						
2	上級研修会	12月24日(火)～26日(木)	志津川自然の家	3人																																						
(3) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>初級研修会事前説明</td> <td>7月 6日(土)</td> <td>石巻中央公民館</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>初級研修会</td> <td>7月26日(金)～28日(日)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>中級研修会</td> <td>8月16日(金)～17日(土)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>秋季研修会</td> <td>11月4日(月)</td> <td>矢本西市民センター</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>みやぎジュニア・リーダー交流会</td> <td>12月 7日(土)～ 8日(日)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>上級研修会</td> <td>12月24日(火)～26日(木)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>								No.	事業名	開催日	実施場所	参加者	1	初級研修会事前説明	7月 6日(土)	石巻中央公民館	20人	2	初級研修会	7月26日(金)～28日(日)	花山青少年自然の家	22人	3	中級研修会	8月16日(金)～17日(土)	志津川自然の家	7人	4	秋季研修会	11月4日(月)	矢本西市民センター	8人	5	みやぎジュニア・リーダー交流会	12月 7日(土)～ 8日(日)	花山青少年自然の家	4人	6	上級研修会	12月24日(火)～26日(木)	志津川自然の家	3人
No.	事業名	開催日	実施場所	参加者																																						
1	初級研修会事前説明	7月 6日(土)	石巻中央公民館	20人																																						
2	初級研修会	7月26日(金)～28日(日)	花山青少年自然の家	22人																																						
3	中級研修会	8月16日(金)～17日(土)	志津川自然の家	7人																																						
4	秋季研修会	11月4日(月)	矢本西市民センター	8人																																						
5	みやぎジュニア・リーダー交流会	12月 7日(土)～ 8日(日)	花山青少年自然の家	4人																																						
6	上級研修会	12月24日(火)～26日(木)	志津川自然の家	3人																																						
2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援																																										
<p>各地区のサークルに所属するジュニア・リーダーは、市内子ども会育成会や各種団体等から派遣の要請を受け、子どもたちの指導を行っている。</p> <p>団体による申請数：60回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：170人 会員数：51人</p>																																										
3 ジュニア・リーダー会員の募集支援																																										
<p>市内全中学校の生徒に初級研修会の募集要項を配付し、会員によるロコミ活動を修了者に実施した。</p>																																										
成 果		<p>主催である初級研修会の目標受講者数を30人としたが、受講者15人とジュニア・リーダー会員7人の参加であった。初級研修会を修了した子どもたちが、ジュニア・リーダーサークルに所属し、子ども会や各種団体等による派遣要請に対応したことにより派遣先の活性化が図られた。</p> <p>秋季研修会は、受講の対象を東松島市・女川町まで広げて開催した。受講者の人数は、石巻市8人、東松島市6人、女川町2人であった。秋季研修会を受講したジュニア・リーダーは、各サークルのゲーム技術及びレクリエーション技術等を相互に学び合ったことにより、技術向上と活動意欲を高めることにつながった。また、交流を通して、会員相互の友情を深めることができた。</p>																																								
成果に係る評価		<p>ジュニア・リーダーは、子どもや地域の人たちと関わる様々な体験活動や研修等を通して、地域活動へ積極的に参加していく意欲と実践力を身に付けた。</p> <p>サークル会員の新規獲得を含め、各公民館ジュニア・リーダー担当者とは情報共有を図り、連携しながら事業実施に向けて支援を行う。また、令和2年度も石巻市・東松島市・女川町のジュニア・リーダーの交流を含めた活動を実施できるように、各市町の担当者とは連携を図っていく。</p> <p>これまでの積極的な取組が少しずつ市民に認識されるようになり、子どもたちの健全育成及び子ども会活動の活性化を図ることにつながっているため事業を継続する必要がある。</p>																																								
(単位：円)																																										
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
		689,505	392,262				392,262																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																								
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()																								
	1 目	社会教育総務費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		()																								
実施計画掲載ページ		P 122	中 事 業	芸術文化振興費																											
事業コード		005-003-001-00272	事 業 名	青少年文化芸術鑑賞事業																											
目的及び事業内容		<p>芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の児童・生徒に対し、優れた芸術を鑑賞、体験してもらうことにより、豊かな情操を養う。</p> <p>学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術を鑑賞し、体験する機会を提供することで芸術文化についての関心を高め、鑑賞する楽しさや表現する喜びを感じさせるとともに感性を磨き、児童・生徒の豊かな人間形成を図る。</p>																													
取 組 実 績	1 巡回小劇場																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月9日</td> <td>貞山小学校</td> <td>ピバ!ムジカと「よるこびの歌」を歌おう</td> <td>貞山小学校(児童172名)</td> </tr> <tr> <td>10月9日</td> <td>大街道小学校</td> <td>ピバ!ムジカと「よるこびの歌」を歌おう</td> <td>大街道小学校(児童192人)</td> </tr> </tbody> </table>								開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	10月9日	貞山小学校	ピバ!ムジカと「よるこびの歌」を歌おう	貞山小学校(児童172名)	10月9日	大街道小学校	ピバ!ムジカと「よるこびの歌」を歌おう	大街道小学校(児童192人)											
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																											
10月9日	貞山小学校	ピバ!ムジカと「よるこびの歌」を歌おう	貞山小学校(児童172名)																												
10月9日	大街道小学校	ピバ!ムジカと「よるこびの歌」を歌おう	大街道小学校(児童192人)																												
2 青少年劇場小公演																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月28日</td> <td>東浜小学校</td> <td>「落語」</td> <td>東浜小学校(児童9人)</td> </tr> <tr> <td>5月28日</td> <td>牡鹿中学校</td> <td>「落語」</td> <td>牡鹿中学校(生徒25人)</td> </tr> <tr> <td>10月4日</td> <td>大原小学校</td> <td>「落語」</td> <td>大原小学校(児童16人)</td> </tr> <tr> <td>10月4日</td> <td>万石浦小学校</td> <td>「落語」</td> <td>万石浦小学校(児童100人)</td> </tr> <tr> <td>10月9日</td> <td>北上中学校</td> <td>「となりの国の打楽器と踊り」</td> <td>北上中学校(生徒47人)</td> </tr> </tbody> </table>								開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	5月28日	東浜小学校	「落語」	東浜小学校(児童9人)	5月28日	牡鹿中学校	「落語」	牡鹿中学校(生徒25人)	10月4日	大原小学校	「落語」	大原小学校(児童16人)	10月4日	万石浦小学校	「落語」	万石浦小学校(児童100人)	10月9日	北上中学校	「となりの国の打楽器と踊り」	北上中学校(生徒47人)
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																												
5月28日	東浜小学校	「落語」	東浜小学校(児童9人)																												
5月28日	牡鹿中学校	「落語」	牡鹿中学校(生徒25人)																												
10月4日	大原小学校	「落語」	大原小学校(児童16人)																												
10月4日	万石浦小学校	「落語」	万石浦小学校(児童100人)																												
10月9日	北上中学校	「となりの国の打楽器と踊り」	北上中学校(生徒47人)																												
3 文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月5日</td> <td>青葉中学校</td> <td>仙台フィルハーモニー管弦楽団 ブッチーニ：歌劇</td> <td>青葉中学校(生徒143人)</td> </tr> <tr> <td>10月1日</td> <td>貞山小学校</td> <td>劇団ポブラ ミュージカル「オズの魔法使い」</td> <td>貞山小学校(児童172人)</td> </tr> <tr> <td>12月5日</td> <td>大原小学校</td> <td>太鼓芸能集団演舞 太鼓演奏、太鼓体験等</td> <td>大原小学校、寄磯小学校 (児童24人)</td> </tr> </tbody> </table>								開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	7月5日	青葉中学校	仙台フィルハーモニー管弦楽団 ブッチーニ：歌劇	青葉中学校(生徒143人)	10月1日	貞山小学校	劇団ポブラ ミュージカル「オズの魔法使い」	貞山小学校(児童172人)	12月5日	大原小学校	太鼓芸能集団演舞 太鼓演奏、太鼓体験等	大原小学校、寄磯小学校 (児童24人)								
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																												
7月5日	青葉中学校	仙台フィルハーモニー管弦楽団 ブッチーニ：歌劇	青葉中学校(生徒143人)																												
10月1日	貞山小学校	劇団ポブラ ミュージカル「オズの魔法使い」	貞山小学校(児童172人)																												
12月5日	大原小学校	太鼓芸能集団演舞 太鼓演奏、太鼓体験等	大原小学校、寄磯小学校 (児童24人)																												
4 文化芸術による子供の育成事業(芸術家派遣事業)																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月25日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9月13日</td> <td>須江小学校</td> <td>茂木寿哉「陶芸」</td> <td>須江小学校(児童42人)</td> </tr> <tr> <td>11月1日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月5日</td> <td>荻浜中学校</td> <td>尾田大幸「音楽(弦楽器)」</td> <td>荻浜中学校(生徒4人)</td> </tr> </tbody> </table>								開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	6月25日				9月13日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」	須江小学校(児童42人)	11月1日				11月5日	荻浜中学校	尾田大幸「音楽(弦楽器)」	荻浜中学校(生徒4人)				
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																												
6月25日																															
9月13日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」	須江小学校(児童42人)																												
11月1日																															
11月5日	荻浜中学校	尾田大幸「音楽(弦楽器)」	荻浜中学校(生徒4人)																												
成 果		<p>優れた文化芸術を生で鑑賞する機会を提供することにより、児童・生徒が鑑賞する楽しさや表現することの喜びを体験し、豊かな情操を育むことができた。</p>																													
成果に係る評価		<p>関係団体と連携を図りながら、巡回小劇場、青少年劇場小公演、文化芸術による子供の育成事業において、質の高い文化芸術を児童・生徒に提供することができた。今後も関係団体等と連携し、質の高い文化芸術に触れる機会を児童・生徒に提供していきたい。</p>																													
(単位：円)																															
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
		1,508,000	1,256,200			1,003,000	253,200																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																															
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()																															
	1 目	社会教育総務費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		()																															
実施計画掲載ページ		P121	中 事 業	芸術文化振興費																																		
事業コード		005-003-001-00271	事 業 名	市美術展実施事業																																		
目的及び事業内容		美術をととして、芸術文化の向上と市民の教養を高めるため、県内外から作品を公募する美術展を開催する。																																				
取組実績		<p>1 震災以降の石巻市美術展について 会場であった石巻市文化センターが震災による津波被災のため解体されたことから、平成23、24年度は中止としたが、平成25年度以降は河北総合センター「ビッグバン」に会場を移し、平成26年度から公募を再開した。なお、平成25年度は実行委員の作品のみを展示し、公募はしなかった。平成29年度からは友好都市である山形県河北町で毎年開催される美術展と相互に実行委員による作品を貸し借りし、展示している。</p> <p>2 第35回石巻市美術展の開催 (1) 開催期間 令和元年10月6日～10月11日 (2) 開催場所 河北総合センター「ビッグバン」 (3) 出品点数 237点（一般142点 高校生25点 無鑑査28点 招待3点 実行委員25点 審査員14点） (4) 観覧者数 912人 (5) 受賞者 47人 (6) 授賞式 令和元年10月6日</p> <p>3 過去5年間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出品点数</td> <td>246点</td> <td>239点</td> <td>252点</td> <td>273点</td> <td>237点</td> </tr> <tr> <td>観覧者数</td> <td>1,150人</td> <td>1,113人</td> <td>1,472人</td> <td>1,271人</td> <td>912人</td> </tr> <tr> <td>開催日数</td> <td>9日</td> <td>9日</td> <td>9日</td> <td>9日</td> <td>6日</td> </tr> <tr> <td>一日平均</td> <td>128人</td> <td>124人</td> <td>163人</td> <td>141人</td> <td>101人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※10月6日から14日までの開催予定であったが、台風19号による避難所対応のため、10月12日から14日まで臨時休館とした。</p>								H27	H28	H29	H30	R1	出品点数	246点	239点	252点	273点	237点	観覧者数	1,150人	1,113人	1,472人	1,271人	912人	開催日数	9日	9日	9日	9日	6日	一日平均	128人	124人	163人	141人	101人
	H27	H28	H29	H30	R1																																	
出品点数	246点	239点	252点	273点	237点																																	
観覧者数	1,150人	1,113人	1,472人	1,271人	912人																																	
開催日数	9日	9日	9日	9日	6日																																	
一日平均	128人	124人	163人	141人	101人																																	
成 果		<p>平成30年度までは出品数と観覧者数は増加傾向にあったが、令和元年度は若年層ならびに高齢層からの出品が減少した影響により、出品数と観覧者数が平成26年度以降公募を再開してから最小となった。出品数と観覧者数が減少している点は次年度以降の課題である。なお、来場者数の減少については、台風19号の影響により会場を臨時休館した影響もあると考えられる。</p>																																				
成果に係る評価		<p>出品点数の減少については、若年層の出品が少ないことが例年課題に挙げられていたことから、高等学校の書道部、美術部に出品を呼びかける広報を行ったが、令和元年度は昨年度より成果がみられなかったため、広報活動の見直しが必要と考えられる。また、観覧者数の減少については、会場へのアクセスが不便なこともアンケート結果に散見されたことから、令和3年度オープン予定の複合文化施設を次の会場とすることとし、会場を移すことによって課題解決を考えていきたい。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	360,000		360,000					360,000																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																					
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																					
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																					
実施計画掲載ページ		P32	中 事 業	家庭教育学級開設費																																								
事業コード		002-002-001-00278	事 業 名	家庭教育学級開設事業																																								
目的及び事業内容		<p>保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。</p> <p>実施機関（幼稚園、保育所・学校単位）ごとに、中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。</p>																																										
取組実績		<p>実施機関のPTA等と協力しながら、地域性や親のニーズに合わせた様々な学習内容により開催されており、また、多くの保護者が集まる効果的な機会を活用して学習の場を提供した。</p> <p>1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園（私立含む）、保育所（私立含む）、小学校、中学校 3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開設機関区分</th> <th>実施機関数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>39 機関</td> <td>79 回</td> <td>4,701 人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>9 機関</td> <td>19 回</td> <td>1,243 人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>3 機関</td> <td>5 回</td> <td>157 人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>16 機関</td> <td>28 回</td> <td>2,121 人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>6 機関</td> <td>12 回</td> <td>865 人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>4 機関</td> <td>9 回</td> <td>476 人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>5 機関</td> <td>10 回</td> <td>350 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>82 機関</td> <td>162 回</td> <td>9,913 人</td> </tr> </tbody> </table>							開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数	石巻地区	39 機関	79 回	4,701 人	河北地区	9 機関	19 回	1,243 人	雄勝地区	3 機関	5 回	157 人	河南地区	16 機関	28 回	2,121 人	桃生地区	6 機関	12 回	865 人	北上地区	4 機関	9 回	476 人	牡鹿地区	5 機関	10 回	350 人	計	82 機関	162 回	9,913 人
開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数																																									
石巻地区	39 機関	79 回	4,701 人																																									
河北地区	9 機関	19 回	1,243 人																																									
雄勝地区	3 機関	5 回	157 人																																									
河南地区	16 機関	28 回	2,121 人																																									
桃生地区	6 機関	12 回	865 人																																									
北上地区	4 機関	9 回	476 人																																									
牡鹿地区	5 機関	10 回	350 人																																									
計	82 機関	162 回	9,913 人																																									
成 果		<p>家庭教育の必要性について啓発を行った結果、実施機関数が昨年度より1機関増加した。また、受講生の評価ポイントも若干であるが増加傾向が見られ、実施機関において、それぞれ工夫しながら学習会を設定し、身近な地域における家庭教育支援の基盤が確立された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">活動指標（実施機関数）</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>80機関</td> <td>81機関</td> <td>101.2%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>82機関</td> <td>82機関</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標（受講生評価ポイント）</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>94ポイント</td> <td>92ポイント</td> <td>97.8%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>94ポイント</td> <td>93ポイント</td> <td>98.9%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	活動指標（実施機関数）		達成率等	目標値	実績等	H30	80機関	81機関	101.2%	R1	82機関	82機関	100.0%	区分	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率等	目標値	実績等	H30	94ポイント	92ポイント	97.8%	R1	94ポイント	93ポイント	98.9%								
区分	活動指標（実施機関数）		達成率等																																									
	目標値	実績等																																										
H30	80機関	81機関	101.2%																																									
R1	82機関	82機関	100.0%																																									
区分	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率等																																									
	目標値	実績等																																										
H30	94ポイント	92ポイント	97.8%																																									
R1	94ポイント	93ポイント	98.9%																																									
成果に係る評価		<p>活動指標の実施機関数を増加していくためには、未開設の公立保育所及び私立幼稚園・保育園への開設に向けた働き掛けを行っていく必要がある。</p> <p>実施機関では年間行事を踏まえ、それぞれ工夫しながら学習会を実施しており、また、学習内容や学習方法もより多様になってきており、各実施機関での更なる工夫を働き掛けることが必要である。</p> <p>成果指標の受講生評価においては、昨年度比で約1ポイントの増であり、受講生の満足度が若干ではあるが増加傾向が見られ、着実に学習内容の工夫が進んでいると考えられる。また、学習会を通して、子育て・家庭教育のあり方についての理解が広がっており、受講した保護者の満足度は概ね良好である。</p>																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	980,000		765,000		765,000																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																	
	6 項	社会教育費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	1 目	社会教育総務費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																	
実施計画掲載ページ		P25	中 事業		子ども読書活動推進費																			
事業コード		002-001-002-00259	事業名		ブックスタート事業																			
目的及び事業内容																								
<p>乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、乳幼児期に絵本との出会いの機会を創出し、さらには絵本の選び方や読み聞かせの方法について保護者へ啓発を行う。</p>																								
取組実績																								
<p>健康推進課で行っている3・4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、ボランティアが読み聞かせを行い、ブックスタートバックを配付した。 また、読み聞かせボランティア等を対象として年3回研修会を行った。</p> <p>3・4か月児健診 対象者数 739人 " 受診者数 729人 ブックスタートバック配付者数 729人 ブックスタートバック配付率(対象者) 98% ブックスタートバック配付率(対受診者) 100% 読み聞かせボランティア会員数 21人 読み聞かせボランティア延べ参加者数 126人</p> <p>◇ 研修会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>内容</th> <th>場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月26日(土)</td> <td>石巻市子ども読書推進研修会 ・講義「朝読講座」 講師：杉山秀子</td> <td>石巻市総合体育館</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>11月30日(土)</td> <td>ブックスタートボランティア研修会 ・施設見学、情報交換等</td> <td>女川つながる図書館</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>12月7日(土)</td> <td>石巻市読み聞かせボランティア研修会 ・講義「石巻絵本とおはなしの会の『お話の時間』」 講師：石巻絵本とおはなしの会の会員</td> <td>向陽地区コミュニティセンター</td> <td>26名</td> </tr> </tbody> </table>									日時	内容	場所	参加者	10月26日(土)	石巻市子ども読書推進研修会 ・講義「朝読講座」 講師：杉山秀子	石巻市総合体育館	28名	11月30日(土)	ブックスタートボランティア研修会 ・施設見学、情報交換等	女川つながる図書館	13名	12月7日(土)	石巻市読み聞かせボランティア研修会 ・講義「石巻絵本とおはなしの会の『お話の時間』」 講師：石巻絵本とおはなしの会の会員	向陽地区コミュニティセンター	26名
日時	内容	場所	参加者																					
10月26日(土)	石巻市子ども読書推進研修会 ・講義「朝読講座」 講師：杉山秀子	石巻市総合体育館	28名																					
11月30日(土)	ブックスタートボランティア研修会 ・施設見学、情報交換等	女川つながる図書館	13名																					
12月7日(土)	石巻市読み聞かせボランティア研修会 ・講義「石巻絵本とおはなしの会の『お話の時間』」 講師：石巻絵本とおはなしの会の会員	向陽地区コミュニティセンター	26名																					
成 果																								
<p>ボランティアの協力があり、円滑に事業を推進することができた。保護者も快くボランティアの説明や読み聞かせを受け入れている。乳児に絵本を読み聞かせると、絵本を目で追って反応を示したり、笑顔で反応したりする。その子どもの様子に、保護者も読み聞かせの効果を実感している様子が見られた。読み聞かせを受けた子どもが大きくなり、弟や妹に絵本の読み聞かせをしているという話もあり、継続した取組が読書活動推進の一助となっている。</p> <p>また、読み聞かせボランティア等を対象とした研修会の実施を通して、読み聞かせの技能向上や参加者同士の交流を図ることができた。参加者の中にはブックスタート事業に興味をもち、令和元年度途中から新たにボランティアとして活動に参加した方が1名いた。</p>																								
成果に係る評価																								
<p>ブックスタート事業は平成22年度から実施し、経験のある母親から伝え聞いて、少しずつその認知も広がっている。また、ボランティアの協力もあり、円滑に事業が展開している。</p> <p>今後読み聞かせボランティアに対する研修会を行い、ボランティアのスキルアップを図り事業の充実に努めていきたい。</p>																								
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	2,200,000		2,122,545		105,000		1,000,000	1,017,545																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																					
	6 項	社会教育費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																					
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()																																					
実施計画掲載ページ		P36	中 事業		協働教育推進事業費																																							
事業コード		002-003-002-00262	事業名		ふるさと子どもカレッジ事業																																							
目的及び事業内容																																												
<p>地域の教育力を活用し、子どもたちに郷土の自然、文化を体験的に学ばせることにより豊かな心を育む教育活動を推進することを目的とし、市内小学校高学年の子どもを対象に参加者を募集し、月1回程度市内全地区及び周辺地域を活動場所に体験活動を実施する。</p>																																												
取組実績																																												
1 活動実績																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>活動内容</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>・開校式 ・雄勝ローズファクトリーガーデン「見学、押し花はがき製作」 ・雄勝硯生産販売共同組合「硯石コースター製作」</td> <td>6月22日</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>・武山文衛氏「北上歴史講座及び筆ペン製作」 ・新古里農園「藍の生葉染め体験」 (会場：川のビンターセンター)</td> <td>7月23日</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>・水と緑の環境フォーラム「川遊び体験」 (北上川巨大いかだで川くんだり、流しそーめん)</td> <td>8月3日</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>・牡鹿グラウンドゴルフ協会「初級グラウンドゴルフ体験」 (休憩地：牡鹿 清優館)</td> <td>9月28日</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>・三輪田窯 亀山英児氏「陶芸体験」 (会場：河北総合センタービッグバン)</td> <td>10月5日</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>・齋藤氏庭園「縄文資料館・博物館見学、洞窟探検」 ・河南ジュニアリーダー「交流会」(会場：遊楽館)</td> <td>11月9日</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>・奥島島縄文村歴史資料館「展示解説員の館内ツアー、映画鑑賞、まが玉製作」 ・陶芸作品の配布</td> <td>12月14日</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>・サン・ファン館「見学、VRシアター鑑賞、ワークショップ」 ・開校式</td> <td>2月8日</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">延べ110人</p>										活動内容	開催日	参加者数	1	・開校式 ・雄勝ローズファクトリーガーデン「見学、押し花はがき製作」 ・雄勝硯生産販売共同組合「硯石コースター製作」	6月22日	8人	2	・武山文衛氏「北上歴史講座及び筆ペン製作」 ・新古里農園「藍の生葉染め体験」 (会場：川のビンターセンター)	7月23日	19人	3	・水と緑の環境フォーラム「川遊び体験」 (北上川巨大いかだで川くんだり、流しそーめん)	8月3日	10人	4	・牡鹿グラウンドゴルフ協会「初級グラウンドゴルフ体験」 (休憩地：牡鹿 清優館)	9月28日	16人	5	・三輪田窯 亀山英児氏「陶芸体験」 (会場：河北総合センタービッグバン)	10月5日	17人	6	・齋藤氏庭園「縄文資料館・博物館見学、洞窟探検」 ・河南ジュニアリーダー「交流会」(会場：遊楽館)	11月9日	11人	7	・奥島島縄文村歴史資料館「展示解説員の館内ツアー、映画鑑賞、まが玉製作」 ・陶芸作品の配布	12月14日	11人	8	・サン・ファン館「見学、VRシアター鑑賞、ワークショップ」 ・開校式	2月8日	18人
	活動内容	開催日	参加者数																																									
1	・開校式 ・雄勝ローズファクトリーガーデン「見学、押し花はがき製作」 ・雄勝硯生産販売共同組合「硯石コースター製作」	6月22日	8人																																									
2	・武山文衛氏「北上歴史講座及び筆ペン製作」 ・新古里農園「藍の生葉染め体験」 (会場：川のビンターセンター)	7月23日	19人																																									
3	・水と緑の環境フォーラム「川遊び体験」 (北上川巨大いかだで川くんだり、流しそーめん)	8月3日	10人																																									
4	・牡鹿グラウンドゴルフ協会「初級グラウンドゴルフ体験」 (休憩地：牡鹿 清優館)	9月28日	16人																																									
5	・三輪田窯 亀山英児氏「陶芸体験」 (会場：河北総合センタービッグバン)	10月5日	17人																																									
6	・齋藤氏庭園「縄文資料館・博物館見学、洞窟探検」 ・河南ジュニアリーダー「交流会」(会場：遊楽館)	11月9日	11人																																									
7	・奥島島縄文村歴史資料館「展示解説員の館内ツアー、映画鑑賞、まが玉製作」 ・陶芸作品の配布	12月14日	11人																																									
8	・サン・ファン館「見学、VRシアター鑑賞、ワークショップ」 ・開校式	2月8日	18人																																									
2 地区別参加者数(実)																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>石巻</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>10人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>									地区名	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	人数	10人	1人	0人	4人	4人	0人	0人	19人																		
地区名	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
人数	10人	1人	0人	4人	4人	0人	0人	19人																																				
成 果																																												
<p>活動内容についてアンケートを徴したところ、参加者全員から好評を得ている。しかし、参加者数の増加に向けて、活動内容をできる限り講義スタイルから体験型への内容とし、実施時間も夕方の習い事等を考慮した設定にするほか、募集チラシも目を引くデザインにするなどの工夫を行ったものの、平成30年度より参加者数は少なく、参加者のいない地区もあった。</p>																																												
成果に係る評価																																												
<p>当事業は、短時間ながらも親元を離れ、普段交流する機会が少ない他の地区の子どもたちとの交流を図りながら、石巻のことについて実際に見て、触れて、楽しみながら学ぶことのできる貴重な機会の提供の場であるため、今後も事業を継続していく必要があると考える。</p> <p>なお、今後は集合時間や開催地域、実施内容の工夫に加え、募集の形態を初回のみ募集ではなく、随時募集型にするなど、どの地域からでも参加しやすい状況を確認していくことが必要である。</p>																																												
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	119,000		70,054		70,054																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ		P 37	中 事 業	まちなか実験室事業費				
事業コード		002-003-002-00264	事 業 名	まちなか実験室事業				
目的及び事業内容 子ども達を対象に、科学実験や自然観察、模擬発明、工作等の「遊びや体験の場」として参加型学習教室を開催し、「学ぶ楽しさ・知る喜び」を実感させ、科学に対する興味・関心を高めることにより、創造性と思いやりのある心豊かな子ども達を育成することを目的とする。								
取組実績								
1 活動実績								
		開催場所	開催日	講座内容	参加人数	満足度／アンケート回答者数		
1		河南地区-友遊村	10月19日	フィルム管ロケット	9人	100.0%/3人		
2		河南地区-和 کوچکクラブ	11月7日	水ロケット／シャボン玉	52人	97.3%/37人		
3		桃生地区-桃生芸能祭り	12月1日	びゅんびゅんごまを作って回そう！／プラトンを飛ばそう！／紙コップでコケッココー／ふわふわスノーマンでクリスマス！	25人	100.0%/5人		
4		雄勝地区-雄勝小学校	12月4日	空気砲＋ロケット／水蒸気の実験	16人	90.9%/11人		
5		牡鹿地区-牡鹿半島はまっこ市	12月21日	空気砲＋ロケット／シャボン玉	40人	100.0%/4人		
6			12月22日					
7		北上地区-北上小学校	1月14日	テキスト「もしも原子が見えたなら」を使った授業／空気中の分子10種類の1億倍模型の製作	28人	96.3%/27人		
8		河北地区-亀ヶ森冒険遊び場	1月19日	シャボン玉／水ロケット／フィルム管ロケット	40人	100.0%/14人		
9		石巻地区-げろっばまつり	2月22日	びゅんびゅんごまを作って回そう！／プラトンを飛ばそう！／紙コップでコケッココー／すっとびストローでロケット発射！／<大道仮説実験>静電気実験「びりりん」	20人	100.0%/5人		
					延べ	230人	98.1%	106人
※令和元年度も平成30年度に引き続き、講師・指導者となる団体又は企業への委託事業として実施した。								
成 果 平成30年度の課題であった、イベント会場や空き店舗等の場所を活用しての活動について、各地区のイベント主催者との調整を図りながら、ほぼ全地区で達成することができた。参加者についても、幼児から小学生までと幅広い年代の子ども達に気軽に科学に触れてもらう目的を達成できた。								
成果に係る評価 シャボン玉やプラトンのような身近な道具を使った遊びをとおした実験や、静電気実験や空気砲などなかなか体験できないような本格的な実験をイベント会場などの誰でも気軽に参加できる環境で行うことで、より多くの子ども達に科学のおもしろさを実感してもらえらる機会を提供できたと考えられるため、今後も事業を継続していきたい。 しかし、より多くの子ども達に機会を提供するために、事前の宣伝活動について工夫が必要であると考える。								
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		600,000	373,540				373,540	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()	
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()	
実施計画掲載ページ		P 31	中 事 業	放課後子ども教室推進事業費				
事業コード		002-002-001-00617	事 業 名	放課後子ども教室推進事業				
目的及び事業内容 市内小学校区において、公共施設等を活用し、子ども達の安全・安心な活動拠点（居場所）を設ける。地域の方々の参画を得て、子ども達とともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施することにより、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。								
取組実績								
1 放課後子ども教室推進事業								
①「和 کوچکクラブ」（河南地域住民自治協議会和渚地区部会へ運営を依頼） ・登録児童数：39人 ・登録ボランティア数：26人								
②「上釜子ども教室」（上釜町内会、NPO法人にじいるクレヨンへ運営を依頼） ・対象児童：上釜子ども会（自由参加） ・登録ボランティア数：15人								
③「放課後子ども教室Bremen」（放課後児童クラブBremenへ運営を依頼） ・対象児童：石巻小学校区児童（自由参加） ・登録ボランティア数：13人								
2 放課後子ども教室の活動実績								
		活動内容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数			
①和 کوچکクラブ（伝統遊び、農作業、創作活動など）			32日	1,089人	365人			
②上釜子ども教室（植栽活動、創作活動など）			9日	148人	46人			
③放課後子ども教室Bremen（創作活動、体験活動など）			24日	264人	86人			
					計	1,501人	497人	
3 今後の方針 令和元年度末、2つの団体から放課後子ども教室について相談があり、そのうち1つの団体と今後の教室開設に向けて話し合いを進めるところである。今後の事業拡大に向けては、社会教育委員会議やいしのまき人財・地域創生会議等において、教室運営に資する人材や団体についての情報提供を求めている。								
成 果 和 کوچکクラブは、毎週木曜日の放課後に活動している。和渚小学校1年生から3年生を対象とし、その7割以上の児童が参加している。ボランティアとともに様々なプログラムを体験し、楽しく活動に取り組むことができた。縦割りでグループを編成することで、上級生がリーダーシップを発揮したり、下級生の面倒を見たりしながら活動に取り組むことができている。地域ボランティアの方々も活動を楽しみにし、子ども達とのふれあいを喜んでいる。 上釜子ども教室は、地域の子どもの育成という考えのもと、ボランティアの方々も、地域の行事などに向けて熱心に活動している。地域素材を活用し地域に密着した活動を多く取り入れ、地域を愛する子どもの育成につながっている。 放課後子ども教室Bremenは、放課後児童クラブBremenのスタッフを中心に子ども達の安全、安心な居場所作りを行っている。多種多様なジャンルの方を講師として招き、子ども達に様々な活動の場を提供している。								
成果に係る評価 地域の人々の参画を得て、放課後や休日を活用した学習活動や体験活動、異年齢交流などを行いながら、子ども達が安心して過ごせる居場所を確保することができた。地域の方々が提供する様々な活動に子ども達が意欲をもって取り組み、異年齢交流をとおして思いやりの気持ちが育つなど子ども達の姿に変容が見られる。 地域の人々も、子ども達の教育に協力を惜まず、子ども達とともに放課後子ども教室に参画すること生きがいを見出しており、地域の教育力の向上にもつながっている。 他の地域での子ども教室の開設についても検討し、子ども達の安全・安心な居場所を広げていきたい。								
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		1,500,000	949,526	945,638			3,888	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手を大きくむま	復興計画	()																																																																						
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																																																						
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																																																						
実施計画掲載ページ		P 31	中 事 業	協働教育推進事業費																																																																									
事業コード		002-002-001-00260	事 業 名	協働教育推進事業																																																																									
<p>目的及び事業内容</p> <p>「子どもたちの抱えるいじめ、不登校、学力や体力の低下等の諸問題の解決」並びに「生きる力をはぐくむ教育活動の充実・改善」という課題解決に向けて、「学校・地域・家庭が、それぞれの機能を果たしながら協働し、社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体ではぐくむ協働教育」を推進する。 学校・地域・家庭をつなぐ仕組みづくり、協働した教育活動を展開する。</p>																																																																													
<p>取組実績</p> <p>○ 協働教育推進事業 活動実績（市内15小学校区推進協議会で実施）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区名</th> <th>事業内容</th> <th>事業回数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 東浜小学校区</td><td>獅子風流地区回り、漁業体験学習等</td><td>9回</td><td>108人</td></tr> <tr><td>2 大谷地小学校区</td><td>田植え・稲刈り体験、みそ作り体験等</td><td>68回</td><td>123人</td></tr> <tr><td>3 北上小学校区</td><td>ヨシ紙卒業証書作り、地域交流等</td><td>10回</td><td>67人</td></tr> <tr><td>4 青葉中学校区</td><td>スポーツ笑顔教室、出前授業等</td><td>22回</td><td>332人</td></tr> <tr><td>5 杜鹿中学校区</td><td>地域貢献活動、地域体験学習等</td><td>8回</td><td>553人</td></tr> <tr><td>6 開北小学校区</td><td>子どもししふり、北上川の講話等</td><td>60回</td><td>775人</td></tr> <tr><td>7 大街道小学校区</td><td>大街道の未来を考える、昔遊び等</td><td>70回</td><td>519人</td></tr> <tr><td>8 雄勝小学校区</td><td>体験活動、雄勝法印神楽等</td><td>37回</td><td>355人</td></tr> <tr><td>9 中津山第一小学校区</td><td>はねこ踊り、豆腐づくり等</td><td>78回</td><td>265人</td></tr> <tr><td>10 石巻中学校区</td><td>早朝清掃、全校百人一首大会等</td><td>13回</td><td>44人</td></tr> <tr><td>11 釜小学校区</td><td>卒業生講話、まちづくり（取材）等</td><td>35回</td><td>490人</td></tr> <tr><td>12 鹿又小学校区</td><td>鹿又音頭、鹿又の歴史を聞く学習等</td><td>47回</td><td>536人</td></tr> <tr><td>13 大原小学校区</td><td>獅子風流、漁業体験活動等</td><td>9回</td><td>82人</td></tr> <tr><td>14 万石浦中学校区</td><td>獅子風流、地域貢献活動等</td><td>30回</td><td>864人</td></tr> <tr><td>15 河南東中学校区</td><td>職場体験、30周年記念事業等</td><td>26回</td><td>1,065人</td></tr> <tr><td colspan="2"></td><td>合計</td><td>522回</td><td>6,178人</td></tr> </tbody> </table> <p>○ 協働教育コーディネーターとして、市内全小学校の教職員を対象に計33人を委嘱。（各校1人ずつ） ○ 学校支援地域コーディネーターとして、市内各小・中学校区の地域住民等を対象に計17人を委嘱。（平成30年度15人）</p>									学校区名	事業内容	事業回数	参加ボランティア延べ人数	1 東浜小学校区	獅子風流地区回り、漁業体験学習等	9回	108人	2 大谷地小学校区	田植え・稲刈り体験、みそ作り体験等	68回	123人	3 北上小学校区	ヨシ紙卒業証書作り、地域交流等	10回	67人	4 青葉中学校区	スポーツ笑顔教室、出前授業等	22回	332人	5 杜鹿中学校区	地域貢献活動、地域体験学習等	8回	553人	6 開北小学校区	子どもししふり、北上川の講話等	60回	775人	7 大街道小学校区	大街道の未来を考える、昔遊び等	70回	519人	8 雄勝小学校区	体験活動、雄勝法印神楽等	37回	355人	9 中津山第一小学校区	はねこ踊り、豆腐づくり等	78回	265人	10 石巻中学校区	早朝清掃、全校百人一首大会等	13回	44人	11 釜小学校区	卒業生講話、まちづくり（取材）等	35回	490人	12 鹿又小学校区	鹿又音頭、鹿又の歴史を聞く学習等	47回	536人	13 大原小学校区	獅子風流、漁業体験活動等	9回	82人	14 万石浦中学校区	獅子風流、地域貢献活動等	30回	864人	15 河南東中学校区	職場体験、30周年記念事業等	26回	1,065人			合計	522回	6,178人
学校区名	事業内容	事業回数	参加ボランティア延べ人数																																																																										
1 東浜小学校区	獅子風流地区回り、漁業体験学習等	9回	108人																																																																										
2 大谷地小学校区	田植え・稲刈り体験、みそ作り体験等	68回	123人																																																																										
3 北上小学校区	ヨシ紙卒業証書作り、地域交流等	10回	67人																																																																										
4 青葉中学校区	スポーツ笑顔教室、出前授業等	22回	332人																																																																										
5 杜鹿中学校区	地域貢献活動、地域体験学習等	8回	553人																																																																										
6 開北小学校区	子どもししふり、北上川の講話等	60回	775人																																																																										
7 大街道小学校区	大街道の未来を考える、昔遊び等	70回	519人																																																																										
8 雄勝小学校区	体験活動、雄勝法印神楽等	37回	355人																																																																										
9 中津山第一小学校区	はねこ踊り、豆腐づくり等	78回	265人																																																																										
10 石巻中学校区	早朝清掃、全校百人一首大会等	13回	44人																																																																										
11 釜小学校区	卒業生講話、まちづくり（取材）等	35回	490人																																																																										
12 鹿又小学校区	鹿又音頭、鹿又の歴史を聞く学習等	47回	536人																																																																										
13 大原小学校区	獅子風流、漁業体験活動等	9回	82人																																																																										
14 万石浦中学校区	獅子風流、地域貢献活動等	30回	864人																																																																										
15 河南東中学校区	職場体験、30周年記念事業等	26回	1,065人																																																																										
		合計	522回	6,178人																																																																									
<p>成 果</p> <p>令和元年度は新たに5校の新規実施校を加え、合計15校の小・中学校に事業を委託することができた。各実施校では、地域の住民や企業等と協働した教育が行われ、児童生徒にとっては、郷土芸能や地場産業などの理解を深める有意義な活動になった。 協働教育コーディネーターから実践報告を受け、冊子にして市内小・中学校に配付したことにより、協働教育の機運向上を図ることができた。 学校支援地域コーディネーターの主な活動内容は下記のとおりである。 ・北上小と熊谷産産をコーディネートして実施したヨシ刈り体験学習。 ・渡波小と獅子風流保存会をコーディネートして実施した獅子風流体験学習。 ・開北小と石巻信用金庫をコーディネートして実施した信金マネースクール。 ・雄勝中と声楽家をコーディネートして実施した音楽会。 ・自社への見学、職場体験の受け入れ及び各学校への出前講座の実施。</p>																																																																													
<p>成果に係る評価</p> <p>実施校15校の成果報告から学校と地域が連携・協働して、地域全体の子どもたちの成長を支えていることがうかがえた。 学校支援地域コーディネーターについては、人数の増加により活動範囲を広げることになり、人材の入れ替わりにより、活動内容を更に充実させることにつながった。 各小・中学校区で実践されている協働教育の取組については、より多くの方々に理解してもらい、協力を得られるように、今後も継続して情報を発信していく。 今後も学校と地域が連携・協働して、地域全体の子どもたちの成長を支えていくためにも事業を継続する必要がある。</p>																																																																													
（単位：円）																																																																													
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																								
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																					
	3,684,000		2,404,106		2,404,106																																																																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																									
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を生かして輝ける機会をつくる		()																									
	4 目	図書館費		(1)	市民の主体的な学習活動を支援する		()																									
実施計画掲載ページ		P 124	中 事 業	図書館活動費																												
事業コード		005-004-001-00276	事 業 名	読書環境整備事業																												
<p>目的及び事業内容</p> <p>図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し市民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、市民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的としている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるため、魅力ある図書資料や情報の収集・提供に努め、図書館サービスを推進する。</p>																																
<p>取組実績</p> <p>1 図書の整備 新刊書・児童書・郷土関係資料を中心に、図書館で選定した図書を購入するとともに、市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、利用に供した。自館の資料で対応できないリクエストには、宮城県図書館等他館から借受けて対応した。また、古くなり利用の無くなった図書を除籍して、譲渡会を実施した。 2 調査相談（レファレンス） 利用者の相談や調査研究を援助する業務を行い、関連資料の貸出を行った。 3 子どもの読書推進事業 本館・河北分館・桃生分館において、ボランティアとの協働により「おはなし会」を実施した。また、子育て支援センター等各施設において読み聞かせをするとともに、保護者に対して絵本の選び方や読み方を指導し、読書習慣の重要性を周知した。 4 学校支援事業 学級貸出、学習支援貸出を実施した。また、学校図書室との連携強化のため、学校訪問により学校図書室が抱える問題等の相談を受けた。加えて、学校図書室の充実に向け、学校司書の研修を行った。 5 講座・教室・企画展の実施 郷土史講座・手作り絵本教室・企画展等を行い、生涯学習機会の提供及び読書の推進を図った。</p>																																
<p>成 果</p> <p>・平成21年度には357,021冊を数えた貸出冊数は、震災の影響により平成23年度には167,048冊まで激減した。その後、回復傾向にあったが令和元年度は258,645冊となっている。 ・図書の購入については、新刊、話題の図書及び児童書を中心に購入するとともに、郷土資料の収集に努め、市民からのリクエスト図書は購入や他館からの借受けて対応した。 ・東日本大震災に関する郷土資料を収集し、市民へ提供するとともに、後世に伝えられるように整備を行った。 ・館内でのレファレンスサービス提供により、市民の利便性向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>6,761冊</td> <td>6,738冊</td> <td>6,634冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>280,433冊</td> <td>290,726冊</td> <td>258,645冊</td> </tr> <tr> <td>（うち移動図書館車）</td> <td>(7,762冊)</td> <td>(3,581冊)</td> <td>(766冊)</td> </tr> <tr> <td>リクエスト処理件数</td> <td>10,844件</td> <td>14,071件</td> <td>13,109件</td> </tr> <tr> <td>調査相談サービス</td> <td>1,945件</td> <td>2,880件</td> <td>3,250件</td> </tr> </tbody> </table>									主な指標項目	H29	H30	R1	図書購入冊数	6,761冊	6,738冊	6,634冊	貸出冊数	280,433冊	290,726冊	258,645冊	（うち移動図書館車）	(7,762冊)	(3,581冊)	(766冊)	リクエスト処理件数	10,844件	14,071件	13,109件	調査相談サービス	1,945件	2,880件	3,250件
主な指標項目	H29	H30	R1																													
図書購入冊数	6,761冊	6,738冊	6,634冊																													
貸出冊数	280,433冊	290,726冊	258,645冊																													
（うち移動図書館車）	(7,762冊)	(3,581冊)	(766冊)																													
リクエスト処理件数	10,844件	14,071件	13,109件																													
調査相談サービス	1,945件	2,880件	3,250件																													
<p>成果に係る評価</p> <p>・令和元年度の貸出冊数については前年度より減少しているが、新型コロナウイルス感染症予防に伴う休館、仮設住宅供与終了に伴う移動図書館の巡回終了の影響と思われる。新型コロナウイルスの影響が今後も見込まれるが、引き続き利用推進が必要である。 ・各種事業をとおして、読書習慣の重要性を周知することができた。 ・学校司書研修での図書館の基本的実務研修、読み聞かせ実技研修などにより、学校司書のスキルアップ及び学校図書室との連携を強化できた。</p>																																
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	12,000,000		12,000,000					12,000,000																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																		
	6 項	社会教育費		第 節			()																																																		
	10 目	河北総合センター費		()			()																																																		
実施計画掲載ページ			中 事 業	河北総合センター管理費																																																					
事業コード			事 業 名	河北総合センター管理運営事業																																																					
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																							
取 組 実 績		<p>指定管理者による管理運営を実施した。</p> <p>1 施設管理者による施設運営事業</p> <p>(1) 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団</p> <p>(2) 指定管理料 89,702,000円(令和元年度)</p> <p>(3) 指定期間 平成31年4月1日から令和3年3月31日(2年間)</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <p>(1) 利用者のサービス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ並びにSNSを活用し、施設の利用案内や利用状況、利用手続きに係る様式、芸術文化活動の開催情報の閲覧など手軽に情報を得られるよう内容の充実を図った。 遠隔地の利用者への配慮も充実させ、FAXやEメールなどによる手続きにおける負担軽減に努めた。 <p>(2) 快適な施設環境の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕・改修による利用者の利便性の向上、安全確保を図った。 河北警察署等と連携し防犯に努め、保護者の同伴していない小中学生には、17時以降の施設利用を制限し、帰宅を促すことを徹底した。 災害状況によっては、避難場所となることが想定されることから、避難所運営における協力及び災害物品などの管理を徹底した。 <p>3 指定管理開始以降の利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール(楽屋含む)</td> <td>33,312人</td> <td>23,149人</td> <td>30,598人</td> <td>27,685人</td> <td>25,101人</td> <td>21,811人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>29,082人</td> <td>39,207人</td> <td>35,578人</td> <td>35,062人</td> <td>30,161人</td> <td>26,740人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>4,430人</td> <td>4,171人</td> <td>3,780人</td> <td>5,390人</td> <td>4,695人</td> <td>3,664人</td> </tr> <tr> <td>柔剣道場</td> <td>8,770人</td> <td>8,985人</td> <td>8,619人</td> <td>8,446人</td> <td>6,898人</td> <td>6,934人</td> </tr> <tr> <td>会議室等その他の部屋</td> <td>40,143人</td> <td>53,140人</td> <td>48,698人</td> <td>49,330人</td> <td>50,391人</td> <td>41,783人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>115,737人</td> <td>128,652人</td> <td>127,273人</td> <td>125,913人</td> <td>117,246人</td> <td>100,932人</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年3月から新型コロナウイルスの感染拡大防止のため一時休館した。</p>							区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	ホール(楽屋含む)	33,312人	23,149人	30,598人	27,685人	25,101人	21,811人	アリーナ	29,082人	39,207人	35,578人	35,062人	30,161人	26,740人	トレーニング室	4,430人	4,171人	3,780人	5,390人	4,695人	3,664人	柔剣道場	8,770人	8,985人	8,619人	8,446人	6,898人	6,934人	会議室等その他の部屋	40,143人	53,140人	48,698人	49,330人	50,391人	41,783人	合計	115,737人	128,652人	127,273人	125,913人	117,246人	100,932人
区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																			
ホール(楽屋含む)	33,312人	23,149人	30,598人	27,685人	25,101人	21,811人																																																			
アリーナ	29,082人	39,207人	35,578人	35,062人	30,161人	26,740人																																																			
トレーニング室	4,430人	4,171人	3,780人	5,390人	4,695人	3,664人																																																			
柔剣道場	8,770人	8,985人	8,619人	8,446人	6,898人	6,934人																																																			
会議室等その他の部屋	40,143人	53,140人	48,698人	49,330人	50,391人	41,783人																																																			
合計	115,737人	128,652人	127,273人	125,913人	117,246人	100,932人																																																			
成 果		指定管理者による施設管理運営を行い、スポーツ・文化等の交流活動や地域の各種イベントに対する施設の提供、人的協力により、地域に貢献できる施設として、約10万人の利用があった。3月のイベントは全て中止となり、その影響で利用者が昨年度から減少した。																																																							
成果に係る評価		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及・振興、市民の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、指定管理者による施設管理及び運営が適正に行われた。市民が利用しやすい環境、雰囲気作りを心がけ、利用者の満足度を高めている。																																																							
(単位:円)																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	89,702,000	89,702,000				89,702,000																																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																													
	6 項	社会教育費		第 節			()																																																													
	11 目	遊楽館費		()			()																																																													
実施計画掲載ページ			中 事 業	遊楽館管理費																																																																
事業コード			事 業 名	遊楽館管理運営事業																																																																
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																																		
取 組 実 績		<p>1 指定管理者による施設管理運営事業</p> <p>(1) 遊楽館 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団</p> <p>指定管理料 98,500,000円(令和元年度)</p> <p>指定期間 平成31年4月1日から令和3年3月31日まで(2年間)</p> <p>(2) 河南室内プール 指定管理者 石巻市スポーツ協会・ミズノグループ</p> <p>指定管理料 18,686,500円(令和元年度)</p> <p>指定期間 平成29年4月1日から令和4年3月31日まで</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <p>(1) 遊楽館</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ並びにSNSに、施設の利用案内や利用状況、利用手続きに係る様式、芸術文化活動の開催情報等を掲載し、手軽に情報を得られるよう内容の充実を図った。また、デジタルサネージを利用し、来館者への祭事や利用の案内と併せて地域の天気、防災情報などを提供している。 職員の緊急配備・連絡体制の強化により、勤務時間内外を問わず即座に施設状況の確認及び関係機関と連携し、安全安心な施設運営を行った。 <p>(2) 河南室内プール</p> <ul style="list-style-type: none"> スクール事業の実施など自主事業の宣伝告知に努め、より良いサービスの提供を実施した。 様々な運動プログラムを提供し、利用者のニーズに合わせた健康増進を図った。 <p>3 指定管理開始以降の利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">遊楽館</td> <td>ホール(楽屋・リハ室含む)</td> <td>27,626人</td> <td>30,328人</td> <td>24,460人</td> <td>32,846人</td> <td>28,306人</td> <td>26,312人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>24,710人</td> <td>28,410人</td> <td>32,065人</td> <td>26,174人</td> <td>25,833人</td> <td>22,874人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>5,591人</td> <td>5,849人</td> <td>6,278人</td> <td>6,425人</td> <td>6,842人</td> <td>6,494人</td> </tr> <tr> <td>会議室・和室</td> <td>26,120人</td> <td>24,322人</td> <td>22,721人</td> <td>22,115人</td> <td>21,272人</td> <td>21,632人</td> </tr> <tr> <td>その他(調理室・多目的室等)</td> <td>7,441人</td> <td>9,374人</td> <td>10,514人</td> <td>8,007人</td> <td>11,354人</td> <td>11,700人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>91,488人</td> <td>98,283人</td> <td>96,038人</td> <td>95,567人</td> <td>93,607人</td> <td>89,012人</td> </tr> <tr> <td>河南室内プール</td> <td>プール</td> <td>28,176人</td> <td>30,358人</td> <td>33,427人</td> <td>33,819人</td> <td>31,027人</td> <td>30,335人</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年3月から新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一時休館した</p> <p>指定管理者による施設管理運営を行い、市民のニーズを最大限に反映しつつ堅実な運営が維持できた。地域に貢献できる施設となっており、遊楽館で8.9万人超、河南室内プールでは3万人超の利用があった。3月のイベントは全て中止となり、その影響で遊楽館、室内プールともに利用者が昨年度から減少した。</p>							施設名	区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	遊楽館	ホール(楽屋・リハ室含む)	27,626人	30,328人	24,460人	32,846人	28,306人	26,312人	アリーナ	24,710人	28,410人	32,065人	26,174人	25,833人	22,874人	トレーニング室	5,591人	5,849人	6,278人	6,425人	6,842人	6,494人	会議室・和室	26,120人	24,322人	22,721人	22,115人	21,272人	21,632人	その他(調理室・多目的室等)	7,441人	9,374人	10,514人	8,007人	11,354人	11,700人	合計		91,488人	98,283人	96,038人	95,567人	93,607人	89,012人	河南室内プール	プール	28,176人	30,358人	33,427人	33,819人	31,027人	30,335人
施設名	区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																																													
遊楽館	ホール(楽屋・リハ室含む)	27,626人	30,328人	24,460人	32,846人	28,306人	26,312人																																																													
	アリーナ	24,710人	28,410人	32,065人	26,174人	25,833人	22,874人																																																													
	トレーニング室	5,591人	5,849人	6,278人	6,425人	6,842人	6,494人																																																													
	会議室・和室	26,120人	24,322人	22,721人	22,115人	21,272人	21,632人																																																													
	その他(調理室・多目的室等)	7,441人	9,374人	10,514人	8,007人	11,354人	11,700人																																																													
合計		91,488人	98,283人	96,038人	95,567人	93,607人	89,012人																																																													
河南室内プール	プール	28,176人	30,358人	33,427人	33,819人	31,027人	30,335人																																																													
成 果		指定管理者による施設管理運営を行い、市民のニーズを最大限に反映しつつ堅実な運営が維持できた。地域に貢献できる施設となっており、遊楽館で8.9万人超、河南室内プールでは3万人超の利用があった。3月のイベントは全て中止となり、その影響で遊楽館、室内プールともに利用者が昨年度から減少した。																																																																		
成果に係る評価		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及・振興、市民の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、指定管理者による施設管理及び運営が適正に行われた。市民が利用しやすい環境、雰囲気作りを心がけ、利用者の満足度を高めている。																																																																		
(単位:円)																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	117,186,500	117,186,500				117,186,500																																																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 節			()	
	11 目	遊楽館費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	かなんパークゴルフ場運営費				
事業コード			事 業 名	かなんパークゴルフ場管理運営事業				
目的及び事業内容		市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさとふれあいの場を提供し、体力向上や健康増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営を実施する。						
取 組 実 績	1 年間利用状況							
	年度	利用人数	開館日数					
	H25	32,338人	231日	※芝張替えのため約2か月休場				
	H26	44,227人	271日					
	H27	49,944人	286日					
	H28	52,970人	287日					
	H29	46,033人	271日					
	H30	44,140人	292日					
	R1	30,577人	266日	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月休場				
	2 指定管理者による管理運営							
	(1) 指定管理者	有限会社ふれあいパーク						
	(2) 指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日						
	(3) 指定管理料	12,006,000円(令和元年度)						
	(4) 実施事業	ア 初心者への指導、講習会(随時) イ 各種大会の開催 ウ 快適なゴルフ場を目指すための施設整備(芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理)						
	令和元年度の利用者数は、近隣にパークゴルフ場がオープンしたことによる影響及び令和2年3月から新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、休場したことにより利用者数が伸び悩み、前年比13,563人減の30,577人となった。							
成 果	震災以降、運動不足解消や心のリフレッシュ、新たなコミュニティ形成及び交流の場に活用されてきている。利用者数は、県内に類似施設がオープンしたことにより減少しているが、県北施設管理者連絡協議会との情報交換や利用者の生の声を聞き取るため、アンケート調査を年2回実施し、ニーズの把握に努め、サービス向上やコースの維持管理へ反映させるよう積極的に取り組んだ。							
成果に係る評価	指定管理者主催の初心者講習や各種大会などの事業を実施した。民間事業者の創意工夫を活かしながら、利用者ニーズの変化に柔軟に対応し、細部に配慮したサービスを行った。小学生を対象とした夏休みイベントなどを通じ、利用者の拡大を図っている。また、新たなコミュニティ形成の場として活用されている。							
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	13,609,607	13,609,607				13,609,607		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りを育む		(1)	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P123, P213	中 事 業	震災復興芸術文化事業費				
事業コード		005-003-001-01310 004-101-004-00514	事 業 名	文化芸術事業				
目的及び事業内容		石巻市芸術文化振興財団への委託により、オーケストラメンバーによるクラシックコンサートなど被災者対象芸術鑑賞事業、パイプオルガン体験講座などの被災者対象芸術参加型事業、演劇の移動鑑賞と児童生徒を対象としたアウトリーチ事業など、一般市民対象の復興をテーマにした文化芸術鑑賞等の文化活動を提供し、文化芸術振興を図る。						
取 組 実 績	本市の文化芸術事業を牽引し、そのノウハウに長けた石巻市芸術文化事業団に委託して実施							
	事業名	内容	件数	回数	参加人数			
	1 被災者を対象とした芸術鑑賞事業	クラシックコンサート等	3件	3回	815人			
	2 被災者を対象とした文化芸術参加型事業	市民参加ファッションショー等	3件	9回	339人			
	3 一般市民を対象とした復興をテーマとした文化芸術事業							
	(1) 市内の体育施設等を利用した大型事業	ミュージカル等						
	(2) 市内の小ホール等を利用した事業	ジャズコンサート等	9件	20回	3,906人			
	(3) 市外への移動鑑賞ツアー	歌舞伎等鑑賞ツアー						
	(4) 小中学校等でのアウトリーチ事業	交響楽団員等の演奏会						
	合 計		15件	32回	5,060人			
成 果	事業の実施実績は下記のとおり							
	事業の実施回数							
	区分	成果指標		達成率				
		目標値	実績等					
	H27	50回	68回	136.0%				
	H28	50回	56回	112.0%				
	H29	50回	48回	96.0%				
	H30	50回	45回	90.0%				
	R1	50回	33回	66.0%				
成果に係る評価	全33回実施のうち、被災者を対象とした芸術鑑賞事業は3回実施し、参加人数(入場者数)815人、同じく文化芸術参加型事業は9回339人、一般市民を対象とした復興をテーマとした文化芸術事業20回3,906人となったが、例年仮設住宅集会所等で実施していた事業が、当該施設が解消されたことで、参加人数や入場者数も減少した。さらに、新型コロナウイルス感染拡大対策のため、大型事業が中止あるいは延期となったことも影響している。しかし、当事業の推進により市民の文化芸術活動への参加を促し、心の豊かさの育成に寄与してきたことと評価できる。							
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	14,300,000	9,756,859				9,756,859		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																													
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		(1)	未来の人を育てる																													
	13 目	東日本大震災関係費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																													
実施計画掲載ページ		P 123, P 213		中 事 業	震災復興芸術文化事業費																																
事業コード		005-003-001-01311 004-101-004-00515		事 業 名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業【復興基金】																																
目的及び事業内容																																					
<p>市民の心の拠り所となる文化芸術の復興は、真の復興に繋がるという考えから、旧1市6町の伝統文化の継承、文化活動の振興、文化創造の推進、市民の文化芸術の向上を図ることを目的として、文化芸術活動を実施する石巻市文化協会への補助金を交付し、活動をサポートし、運営をバックアップする。</p>																																					
取組実績	<p>1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的により設立した石巻市文化協会の運営を支援した。 (1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。 (2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。 (3) 内外の優れた芸術団体の交流。 (4) 歴史・伝統・文化を活かした街づくりの推進に寄与する。</p>																																				
	<p>2 石巻市文化協会の概要</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>設立趣意</th> </tr> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上</td> </tr> </table>								名称	設立年月日	設立趣意	石巻市文化協会	平成17年6月18日	石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上																							
	名称	設立年月日	設立趣意																																		
	石巻市文化協会	平成17年6月18日	石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上																																		
	<p>3 令和元年年会員現況（令和2年3月現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>団体数</th> <th>会員数</th> <th>地区</th> <th>団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻文化協会</td> <td>57団体</td> <td>1,591人</td> <td>河北文化協会</td> <td>29団体</td> <td>252人</td> </tr> <tr> <td>雄勝文化協会</td> <td>9団体</td> <td>93人</td> <td>河南文化協会</td> <td>28団体</td> <td>380人</td> </tr> <tr> <td>桃生文化協会</td> <td>22団体</td> <td>286人</td> <td>北上文化協会</td> <td>8団体</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿文化協会</td> <td>5団体</td> <td>78人</td> <td>計</td> <td>158団体</td> <td>2,721人</td> </tr> </tbody> </table>								地区	団体数	会員数	地区	団体数	会員数	石巻文化協会	57団体	1,591人	河北文化協会	29団体	252人	雄勝文化協会	9団体	93人	河南文化協会	28団体	380人	桃生文化協会	22団体	286人	北上文化協会	8団体	41人	牡鹿文化協会	5団体	78人	計	158団体
地区	団体数	会員数	地区	団体数	会員数																																
石巻文化協会	57団体	1,591人	河北文化協会	29団体	252人																																
雄勝文化協会	9団体	93人	河南文化協会	28団体	380人																																
桃生文化協会	22団体	286人	北上文化協会	8団体	41人																																
牡鹿文化協会	5団体	78人	計	158団体	2,721人																																
<p>4 事業</p> <p>5月22日 宮城県文化協会連絡協議会定期総会 5月26日 サン・ファン祭り（協賛） 6月1日 石巻市文化協会定期総会 6月22日 石巻地区文化協会連絡協議会定期総会 10月6日～14日 石巻市美術展（協賛） 10月26・27日 第23回「みやぎ県民文化祭」（於白石市） 11月2日～4日 第12回「石巻市合同文化祭」（於河北総合センター） 12月5日・6日 宮城県文化協会連絡協議会第40回「研修会」 ほか 各地区文化共催主催事業の文化祭・芸能祭 等 第24回「みやぎ県民文化祭」（開催予定地：石巻市）実行委員会準備会</p>																																					
<p>成果</p> <p>石巻市文化協会の運営を支援することで、石巻圏域の芸術文化活動、芸術文化の発展を推進し、適正かつ円滑な実施が図られ、芸術文化の普及、振興と向上に寄与することができた。</p>																																					
成果に係る評価																																					
<p>各地区における定期的活動と、各地区合同で開催する芸術祭の参加により交流活動が図られた。ただし、団体数、会員数及び会員の高齢化と後継者不足という課題が残る。文化協会の所属にとらわれず、積極的な文化芸術活動を展開している団体に働きかけて交流を図り、本市の文化芸術の振興・向上のために文化協会の役割の周知に努め、加盟団体及び会員数を増やす努力が必要となる。</p>																																					
（単位：円）																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	1,645,000		1,645,000				1,645,000																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																																																																
	6 項	社会教育費		第 節			(1)	未来の人を育てる																																																																																																
	13 目	東日本大震災関係費		()			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																																																																																
実施計画掲載ページ		P 213		中 事 業	齋藤氏庭園修復整備事業費																																																																																																			
事業コード		004-101-003-00510		事 業 名	国指定名勝齋藤氏庭園復旧事業																																																																																																			
目的及び事業内容																																																																																																								
<p>国指定名勝として永く保存活用を図るために、宮城県北部連続地震及び東日本大震災によって損傷した庭園・建物の復旧事業を実施する。</p>																																																																																																								
取組実績	<p>齋藤氏庭園保存修理工事を実施した。</p> <p>1 前土蔵・後土蔵に関する工事 (1)半壊体修理（左官工事、大屋根棟積、雑工事等）</p>																																																																																																							
	<p>2 味噌蔵に関する工事 (1)屋根瓦葺き替え (2)外壁部分修理</p>																																																																																																							
	<p>3 前倉庫に関する工事 (1)屋根瓦葺き替え (2)外壁部分修理</p>																																																																																																							
	<p>4 後倉庫に関する工事 (1)外壁部分修理</p>																																																																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建物名</th> <th colspan="7">年 度</th> <th rowspan="2">工事費計 (千円)</th> </tr> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前土蔵</td> <td>52,500</td> <td>77,550</td> <td>45,800</td> <td>40,750</td> <td>25,560</td> <td>37,700</td> <td>40,400</td> <td>320,260</td> </tr> <tr> <td>後土蔵</td> <td>52,422</td> <td>70,386</td> <td>44,472</td> <td>11,800</td> <td>18,160</td> <td>42,900</td> <td>57,400</td> <td>297,540</td> </tr> <tr> <td>味噌蔵</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19,200</td> <td>22,460</td> <td>24,800</td> <td>完了</td> <td>66,460</td> </tr> <tr> <td>前倉庫</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19,000</td> <td>完了</td> <td>19,000</td> </tr> <tr> <td>後倉庫</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,300</td> <td>完了</td> <td>4,300</td> </tr> <tr> <td>住 宅</td> <td></td> <td>1,998</td> <td>36,431</td> <td>53,400</td> <td>60,180</td> <td>完了</td> <td></td> <td>152,009</td> </tr> <tr> <td>広 間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,241</td> <td></td> <td></td> <td>21,800</td> <td>23,041</td> </tr> <tr> <td>木小屋</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,400</td> <td>4,400</td> </tr> <tr> <td>中 門</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,638</td> <td>4,638</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H23～H25に調査・応急修理を実施（133,624千円）</p>								建物名	年 度							工事費計 (千円)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	前土蔵	52,500	77,550	45,800	40,750	25,560	37,700	40,400	320,260	後土蔵	52,422	70,386	44,472	11,800	18,160	42,900	57,400	297,540	味噌蔵				19,200	22,460	24,800	完了	66,460	前倉庫						19,000	完了	19,000	後倉庫						4,300	完了	4,300	住 宅		1,998	36,431	53,400	60,180	完了		152,009	広 間				1,241			21,800	23,041	木小屋							4,400	4,400	中 門							4,638
建物名	年 度							工事費計 (千円)																																																																																																
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																	
前土蔵	52,500	77,550	45,800	40,750	25,560	37,700	40,400	320,260																																																																																																
後土蔵	52,422	70,386	44,472	11,800	18,160	42,900	57,400	297,540																																																																																																
味噌蔵				19,200	22,460	24,800	完了	66,460																																																																																																
前倉庫						19,000	完了	19,000																																																																																																
後倉庫						4,300	完了	4,300																																																																																																
住 宅		1,998	36,431	53,400	60,180	完了		152,009																																																																																																
広 間				1,241			21,800	23,041																																																																																																
木小屋							4,400	4,400																																																																																																
中 門							4,638	4,638																																																																																																
成果																																																																																																								
<p>令和元年度は平成30年度に引き続き、前土蔵・後土蔵の解体修復工事を実施した。工事の一環として土蔵の土壁塗り及び斑直し、大屋根棟積みを実施した。 また、味噌蔵に関しては、令和元年度で葺き替えを完了した。更に外壁の部分修復を実施した。前倉庫については、屋根葺き替え及び外壁の部分修理を実施し、後倉庫についても、外壁の部分修理を実施した。</p>																																																																																																								
成果に係る評価																																																																																																								
<p>令和元年度工事のうち、味噌蔵、前倉庫、後倉庫は屋根葺き替えと外壁の部分修理は、年度内に終了することができたが、平成30年度より引き続き補修工事を行っている前土蔵と後土蔵については、台風被害や天候不順で工期が2ヶ月延長になった。台風19号では、工事現場への道路が崩壊して機材の搬入が困難になり、天候不順では、前土蔵・後土蔵の土壁に乾燥の遅れが生じたが、工程の短縮に努めた。</p>																																																																																																								
（単位：円）																																																																																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																
	59,857,000		59,400,000					59,400,000																																																																																																

予算科目	10 11 款	教育費 災害復旧費	総 計 画	第 章	復興 計 画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、 人・新たな産業を育てる
	6 3 項	社会教育費 文教施設災害復旧費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	13 2 目	東日本大震災関係費 社会教育施設災害復旧費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画 掲載ページ		P212	中 事 業	複合文化施設整備事業			
事業コード		004-101-002-00509	事 業 名	複合文化施設整備事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し解体した石巻文化センターと石巻市民会館の再建にあたり、博物館機能と文化ホール機能を併せ持つ複合文化施設として建設し、石巻市の芸術文化活動の拠点整備を図る。					
取 組 実 績		<ul style="list-style-type: none"> ・複合文化施設建設工事（本体工事）を実施 工事期間 平成30年9月8日～令和3年1月29日 工事の進捗 実施出来高 57.83%（令和2年3月末現在） 合わせて複合文化施設建設電気設備・機械設備・舞台設備工事を実施 ・複合文化施設展示工事に着手 工事期間 令和元年6月8日～令和3年3月31日 工事の場所 石巻市複合文化施設内石巻市博物館常設・企画展示室 工事内容 建築工事（展示造作工事、グラフィック工事、造形工事） 電気設備工事（電灯設備工事、映像・音響ハード工事、映像・音響ソフト工事） ・石巻市複合文化施設管理運営計画（ホールゾーン・生涯学習ゾーン）、同（博物館ゾーン）の策定 ・石巻市複合文化施設条例の制定 ・指定管理者の指定 指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日 					
成 果		平成30年度に着手した複合文化施設建設工事（本体工事）及び各設備工事の進捗管理のほか、新たに展示工事を着手した。 また、複合文化施設の管理運営にかかる方向性を定める管理運営計画を策定した。 それを受け、複合文化施設条例を制定、指定管理者の指定を行い、施設整備の進捗が図られた。					
成果に係る評価		<p>本体工事は、杭基礎工事において当初設計と現状の違いから工事内容の変更が必要となり、工期を延長する変更契約を行ったが、平成31年3月末の実施出来高9.20%から令和2年3月末の57.83%までと、年度内にほぼ予定通りとなる48.63ポイントの進捗となった。 博物館整備に係る展示工事に着手し、複合文化施設整備に関する全ての工事に着手することができた。 令和2年度は、使用料規則等の策定、愛称・ネーミングライツの導入等、開館に向けて遅滞なく業務を進める必要がある。</p>					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,620,733,760	3,618,407,573		1,299,300,000	750,755,270	1,568,352,303	

予算科目	10 款	教育費	総 計 画	第 5 章	復興 計 画	()																															
	7 項	保健体育費		第 4 節		市民が個性を活かして 輝ける機会をつくる	()																														
	1 4 目	保健体育総務費 体育館費		(2)		市民の主体的なスポ ーツ活動を支援する	()																														
実施計画 掲載ページ		P125	中 事 業	体育奨励費、体育館管理費																																	
事業コード		005-004-002-00268	事 業 名	スポーツ振興事業																																	
目的及び事業内容		<p>市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、いしのまき復興マラソン、いしのまき市民スポーツフェスタ、いしのまきキッズ交流大会兼石巻市スポーツ少年団交流大会、キッズバラエティスポーツ教室、体育館スポーツ教室を実施している。</p> <p>以下の4事業を、石巻市とNPO法人石巻市スポーツ協会が「協働体制」により実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> いしのまき復興マラソン 全国に向けて復興した石巻市の姿を発信するために、第5回いしのまき復興マラソンを開催した。セイホクパーク石巻を会場に、年齢・性別などに応じて、2km・3km・5km・10km・ハーフの計32種目で実施し、参加者の意欲を高めるため、前年度よりも競技種目の細分化を図った。 いしのまき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通じ、市民の健康づくりと交流、生涯スポーツ社会の実現と軽運動での健康の後押しを図った。平成24年度からNPO法人石巻市スポーツ協会への委託事業として実施している。 キッズバラエティスポーツ教室 スポーツをしたいが、何をしたら良いかわからないという小学校低学年を対象として、多種目のスポーツ体験の場を提供するため、平成24年度からNPO法人石巻市スポーツ協会への委託事業として実施している。子どもたちが自分に合った種目を見つけ出すことで、スポーツに取り組む機会の創出を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった。 体育館スポーツ教室 総合体育館で一般市民を対象として、バドミントン・卓球教室を平成25年度からNPO法人石巻市スポーツ協会への委託事業として実施している。楽しみながら基本的な技術を習得するとともに、運動する喜びを感じながら心身ともに健康な体づくりを目指す受講生相互のコミュニティが形成された。また、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった。 <p>〇いしのまきキッズ交流大会及び石巻市スポーツ少年団交流大会 スポーツを通じた青少年の健全育成、子ども達の体力・運動能力の向上を目指し、令和2年3月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p>																																			
成 果		<p>・一大イベントであるいしのまき復興マラソンを継続して開催できた。 ・キッズバラエティスポーツ教室は昨年度同様、12種類のスポーツを2回ずつ行ったが、閉講式及びヘキサスロンについては中止となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標項目</th> <th>復興マラソン</th> <th>スポーツフェスタ</th> <th>小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流</th> <th>キッズバラエティ</th> <th>体育館教室</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td rowspan="3">参加者数</td> <td>1,316人</td> <td>73人</td> <td>353人</td> <td>1,382人</td> <td>1,399人</td> <td>4,523人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,701人</td> <td>96人</td> <td>353人</td> <td>1,131人</td> <td>2,396人</td> <td>5,677人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,941人</td> <td>103人</td> <td>中止</td> <td>899人</td> <td>2,494人</td> <td>5,437人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	指標項目	復興マラソン	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計	H29	参加者数	1,316人	73人	353人	1,382人	1,399人	4,523人	H30	1,701人	96人	353人	1,131人	2,396人	5,677人	R1	1,941人	103人	中止	899人	2,494人	5,437人
年度	指標項目	復興マラソン	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計																														
H29	参加者数	1,316人	73人	353人	1,382人	1,399人	4,523人																														
H30		1,701人	96人	353人	1,131人	2,396人	5,677人																														
R1		1,941人	103人	中止	899人	2,494人	5,437人																														
成果に係る評価		<p>いしのまき復興マラソンは、スポーツ振興事業の目玉と位置付け、震災時に寄せられた多くの支援への感謝と復興状況を全国に伝えるべく実施している。令和元年度においては、ゲストランナーに谷川真理さんを迎えたほか、笹かまぼこ無料配布コーナーや復興パネル展、更には健康ブースや観光ブースを設けることで、県外参加者へPRを行った。今後も内容の充実化を図るため、実行委員会との協議を密にしながら一層の工夫に取り組んでいきたい。 今後とも、NPO法人石巻市スポーツ協会との協働体制を継続しつつ、行政主導から民間主導への移行を図るとともに、「成人のスポーツ実施率の向上」や「子どもたちの体力と運動能力の向上」を目標に掲げ、子どもから高齢者まで多くの市民が参加しやすい環境の整備や参加意識の向上に努めたい。</p>																																			
（単位：円）																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																															
	5,214,000	5,214,000				5,214,000																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																																																																																									
	7 項	保健体育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																																																																																									
	3 目	学校給食費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																																																																																																																									
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業		学校給食センター運営費、賄材料費																																																																																																																											
事業コード		002-001-002-00243	事 業 名		学校給食センター運営事業																																																																																																																											
目的及び事業内容		<p>児童生徒に豊かで栄養バランスのとれた学校給食を提供し、心身の健全な育成に資する。子どもたちに学校給食を通じて望ましい食生活・食習慣の基盤形成を促すとともに、豊かな人間関係を構築する機会を提供する。</p> <p>地場産物を使用し地域の特色を生かした学校給食を提供することにより、地域の産業や食文化に対する理解を深め、郷土を愛し尊重する心を育む。</p>																																																																																																																														
取 組 実 績		<p>学校給食実施状況（令和2年2月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> <th>給食形態</th> <th>調理場方式</th> <th>給食実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>33校</td> <td>6,425人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>19校</td> <td>3,407人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>2園</td> <td>113人</td> <td>完全給食</td> <td>共同調理場方式</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分 センター名</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">幼稚園</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>対象校数</th> <th>児童数</th> <th>対象校数</th> <th>生徒数</th> <th>対象園数</th> <th>園児数</th> <th>対象校・園数</th> <th>児童・生徒・園児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住吉学校給食センター</td> <td>3校</td> <td>791人</td> <td>3校</td> <td>716人</td> <td></td> <td></td> <td>6校</td> <td>1,507人</td> </tr> <tr> <td>東学校給食センター</td> <td>16校</td> <td>3,752人</td> <td>9校</td> <td>1,760人</td> <td></td> <td></td> <td>25校</td> <td>5,512人</td> </tr> <tr> <td>河北学校給食センター</td> <td>8校</td> <td>841人</td> <td>5校</td> <td>472人</td> <td>2園</td> <td>113人</td> <td>15校・園</td> <td>1,426人</td> </tr> <tr> <td>河南学校給食センター</td> <td>6校</td> <td>1,041人</td> <td>2校</td> <td>459人</td> <td></td> <td></td> <td>8校</td> <td>1,500人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33校</td> <td>6,425人</td> <td>19校</td> <td>3,407人</td> <td>2園</td> <td>113人</td> <td>54校・園</td> <td>9,945人</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 学校給食に鯨肉等の地場産物を取り入れ、郷土食や行事食を提供することができた。 アレルギー対応給食について、対応品目拡大に向け検討をし、実施に至った。 滞納対策を強化するため、滞納者に対し市長と学校長連名による共同催告を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">現年度分</th> <th colspan="3">過年度分</th> </tr> <tr> <th>滞納校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> <th>滞納校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>16校</td> <td>60人</td> <td>2,338,141円</td> <td>35校</td> <td>323人</td> <td>28,026,652円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>13校</td> <td>53人</td> <td>2,121,671円</td> <td>35校</td> <td>349人</td> <td>29,188,905円</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>△ 3校</td> <td>△ 7人</td> <td>△ 216,470円</td> <td>0校</td> <td>26人</td> <td>1,162,253円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※滞納者数は保護者の人数</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業に伴い、3月2日から24日まで15日間給食止めを行った。（東センター受配校（小学校）のみ16日間）</p>							区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率	小学校	33校	6,425人	完全給食	共同調理場方式	100%	中学校	19校	3,407人	完全給食	共同調理場方式	100%	幼稚園	2園	113人	完全給食	共同調理場方式	100%	区分 センター名	小学校		中学校		幼稚園		計		対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数	住吉学校給食センター	3校	791人	3校	716人			6校	1,507人	東学校給食センター	16校	3,752人	9校	1,760人			25校	5,512人	河北学校給食センター	8校	841人	5校	472人	2園	113人	15校・園	1,426人	河南学校給食センター	6校	1,041人	2校	459人			8校	1,500人	計	33校	6,425人	19校	3,407人	2園	113人	54校・園	9,945人	年度	現年度分			過年度分			滞納校数	滞納者数	滞納繰越額	滞納校数	滞納者数	滞納繰越額	H30	16校	60人	2,338,141円	35校	323人	28,026,652円	R1	13校	53人	2,121,671円	35校	349人	29,188,905円	比較増減	△ 3校	△ 7人	△ 216,470円	0校	26人	1,162,253円
区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率																																																																																																																											
小学校	33校	6,425人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																																																											
中学校	19校	3,407人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																																																											
幼稚園	2園	113人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																																																											
区分 センター名	小学校		中学校		幼稚園		計																																																																																																																									
	対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数																																																																																																																								
住吉学校給食センター	3校	791人	3校	716人			6校	1,507人																																																																																																																								
東学校給食センター	16校	3,752人	9校	1,760人			25校	5,512人																																																																																																																								
河北学校給食センター	8校	841人	5校	472人	2園	113人	15校・園	1,426人																																																																																																																								
河南学校給食センター	6校	1,041人	2校	459人			8校	1,500人																																																																																																																								
計	33校	6,425人	19校	3,407人	2園	113人	54校・園	9,945人																																																																																																																								
年度	現年度分			過年度分																																																																																																																												
	滞納校数	滞納者数	滞納繰越額	滞納校数	滞納者数	滞納繰越額																																																																																																																										
H30	16校	60人	2,338,141円	35校	323人	28,026,652円																																																																																																																										
R1	13校	53人	2,121,671円	35校	349人	29,188,905円																																																																																																																										
比較増減	△ 3校	△ 7人	△ 216,470円	0校	26人	1,162,253円																																																																																																																										
成 果		<ol style="list-style-type: none"> 地場産物や郷土食等を学校給食に取り入れることで、地域の産業や伝統、食文化に対する理解と関心を深めることができた。 アレルギー対応給食については、対応品目を2品から15品に拡大し、令和元年度当初から提供することとした。 平成30年度の学校給食費に未納がある卒業生の保護者に対し、督促状を送付した。その結果、納付の約束等をとることができた。 																																																																																																																														
成果に係る評価		<ol style="list-style-type: none"> 学校給食に地場産物や郷土食等を取り入れる取り組みは、児童生徒から好評であり、今後も継続したい。 アレルギー対応給食の実施により、食物アレルギーのある児童生徒が、学校給食を通じて食事の楽しさや喜びを学ぶ環境を整えることができたことから、今後も継続したい。 滞納整理は継続的な取り組みが重要であることから、継続可能な配置体制に向け、組織強化を図る必要がある。 																																																																																																																														
（単位：円）																																																																																																																																
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																												
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																									
		1,083,628,000	932,605,884			467,018,678	465,587,206																																																																																																																									